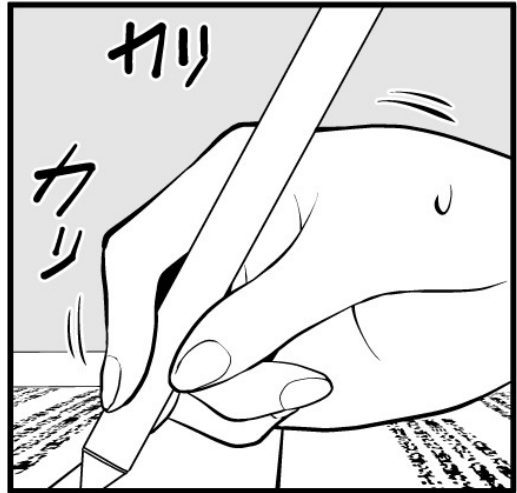
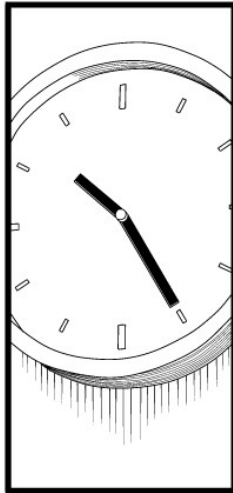
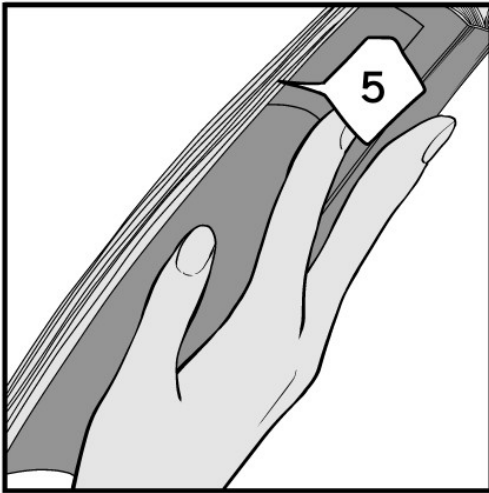


近寄るな！

ク
ン
オ
ヤ
ン
ジ
!!







うん

タイムギタング
ホント!?
良かった!

これだけ解けたら
多分大丈夫よ



……………
どうでしょうか?



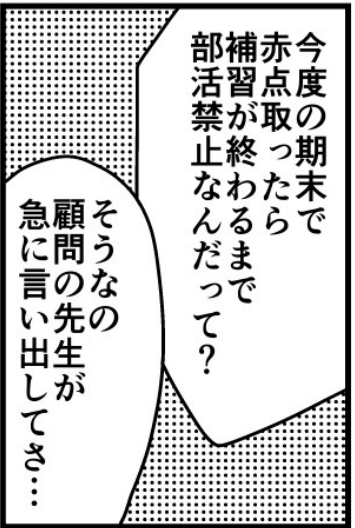
え~~~~~
そこは否定してよー

天は
二物を与えず

……………雪はその分
運動が得意でしょ



はあ……
双子なのに何で私だけ
頭悪いんだろ



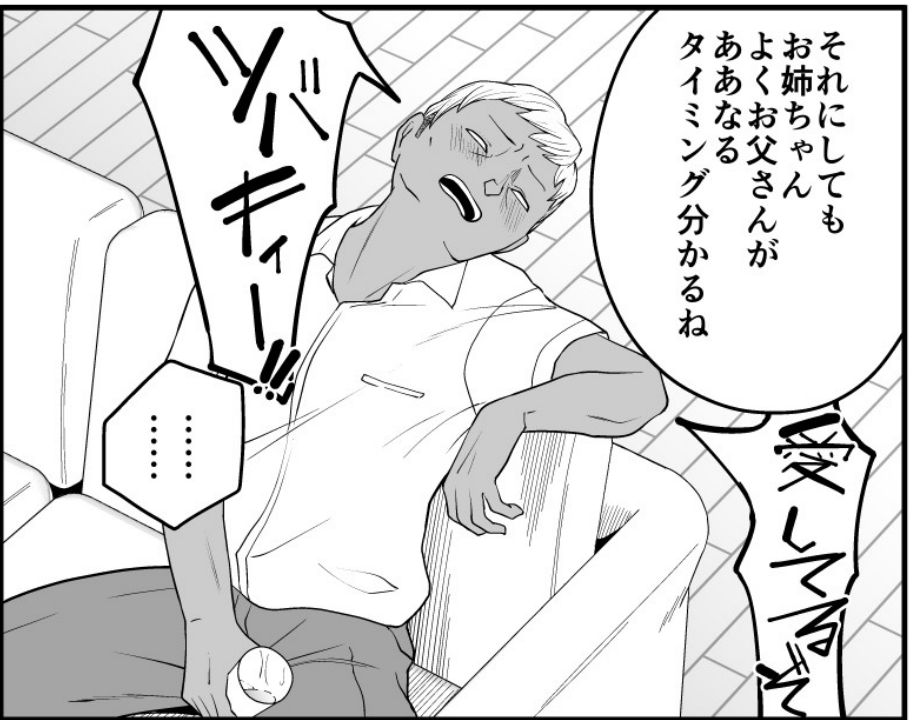
そんなの
顧問の先生が
急に言い出してさ……

今度の期末で
赤点取ったら
補習が終わるまで
部活禁止なんだって?



もう10年になるんだっけ

お母さんが
亡くなって



ツバキイー!!

それにしても
お姉ちゃん
よくお父さんが
ああなる
タイミング分かるね

愛してる



再婚とか
しないのかな？

お父さんは
今でも
お母さんのことが
大好きなんだね

私は
殆ど覚えてないけど

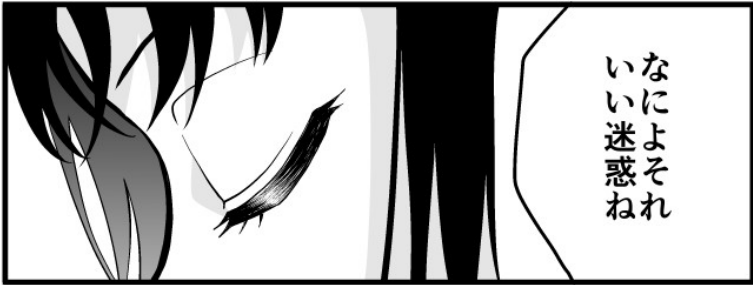


まったく…
いくら言っても
お酒飲むの
止めてくれないし

ビール



このザマじゃ
できるわけないでしょ



なによそれ
いい迷惑ね



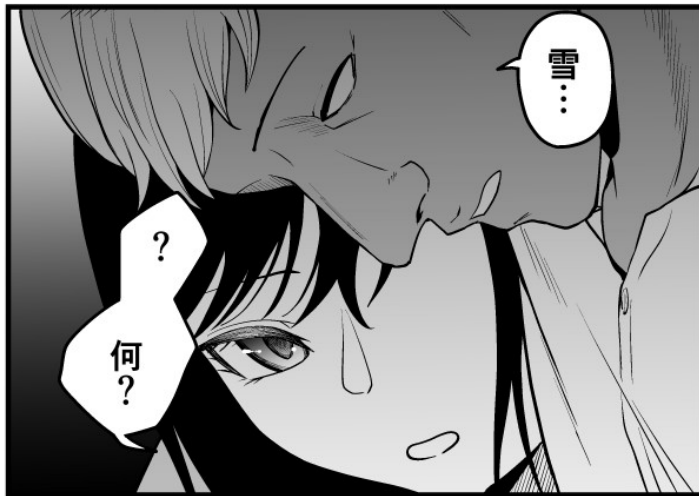
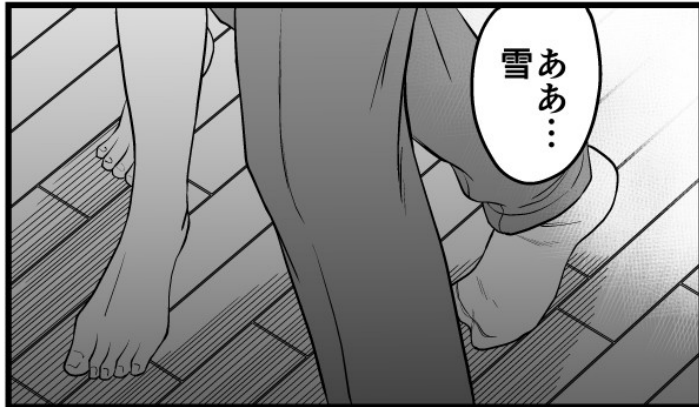
でも外では
飲まないんでしょう？

多分ね
家にはお姉ちゃんがいるから
安心して飲めるんだと思うよ



お姉ちゃんも
何だかんだ言って
お父さんの世話するの
好きでしょ？

馬鹿言っていないで
私はお父さんを
寝かせるから
片付けお願いね







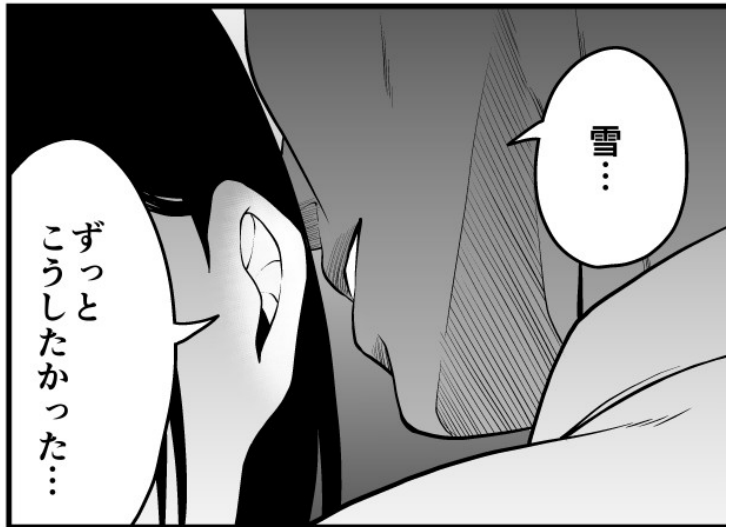
違う……!!



酔いで
足がもつれて…?

ハグのつもり…

またお母さんと
間違えて…



雪…

ずっと
こうしたかった…



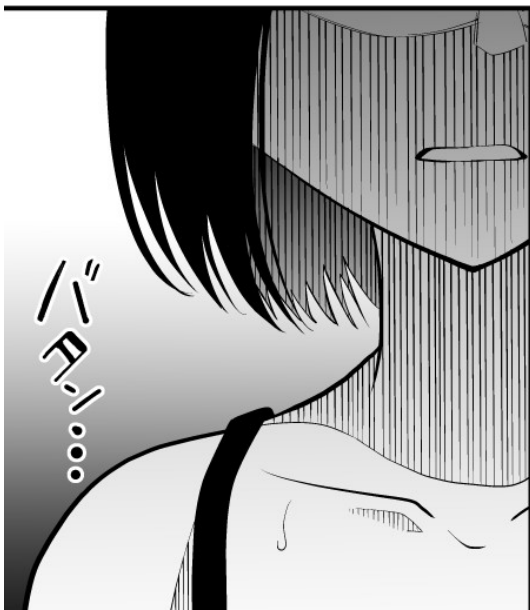
コレ……

この手つきは…

明らかに…

トッ

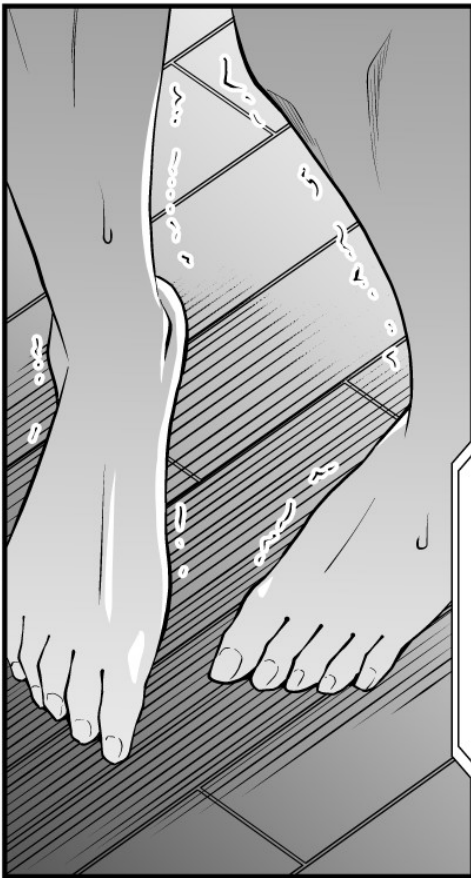
トッ





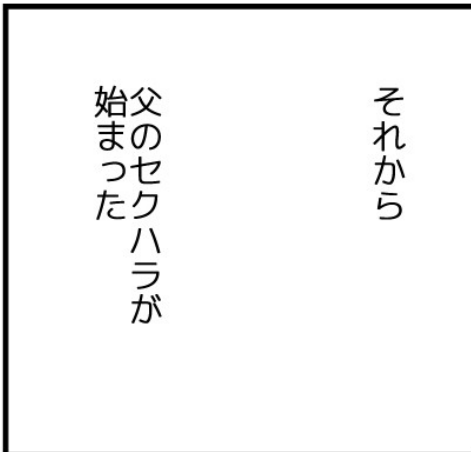
中学生の娘に
性的暴行を加えたとして

父親が逮捕されました



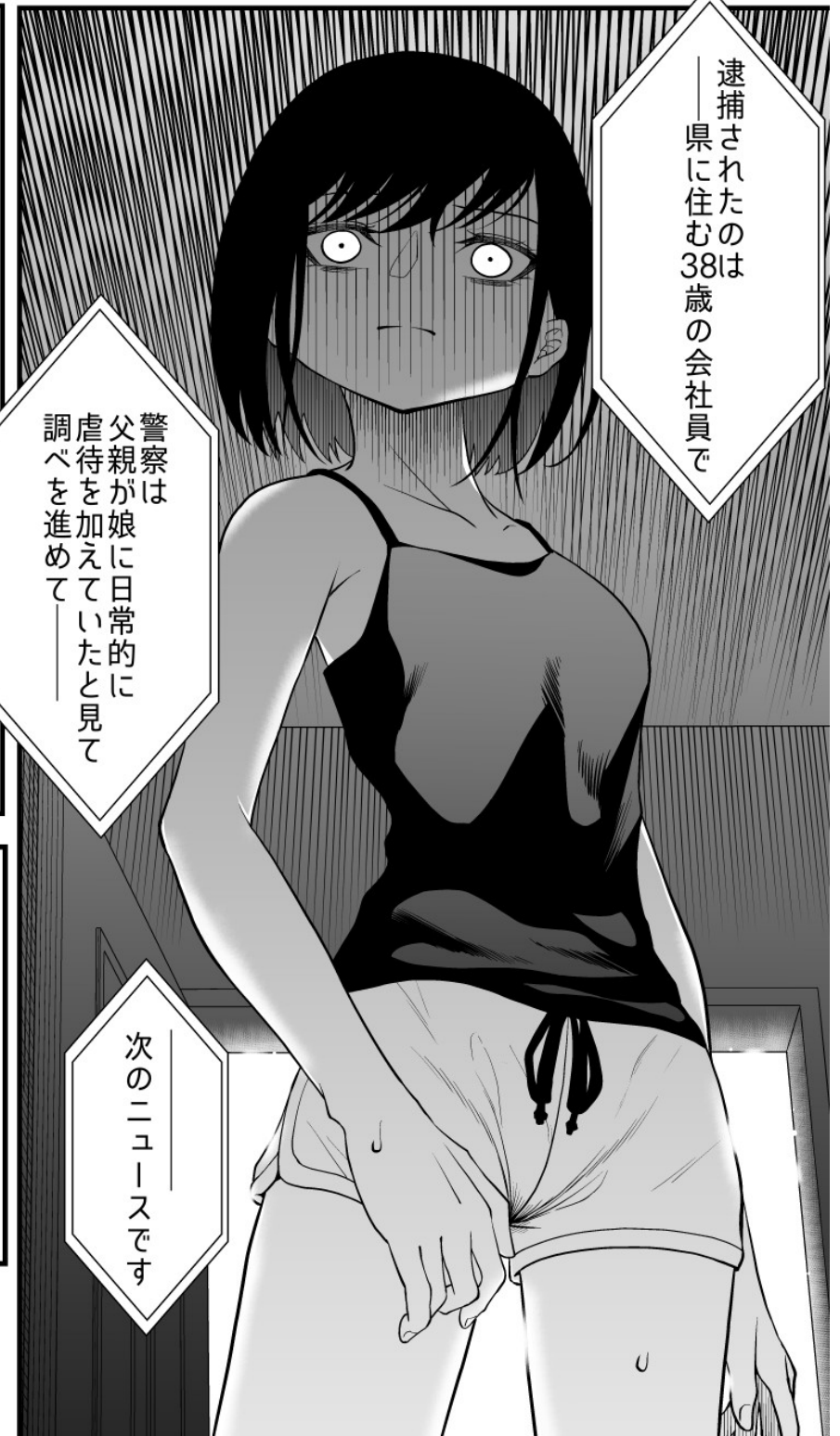
警察は
父親が娘に日常的に
虐待を加えていたと見て
調べを進めて

逮捕されたのは
県に住む38歳の会社員で

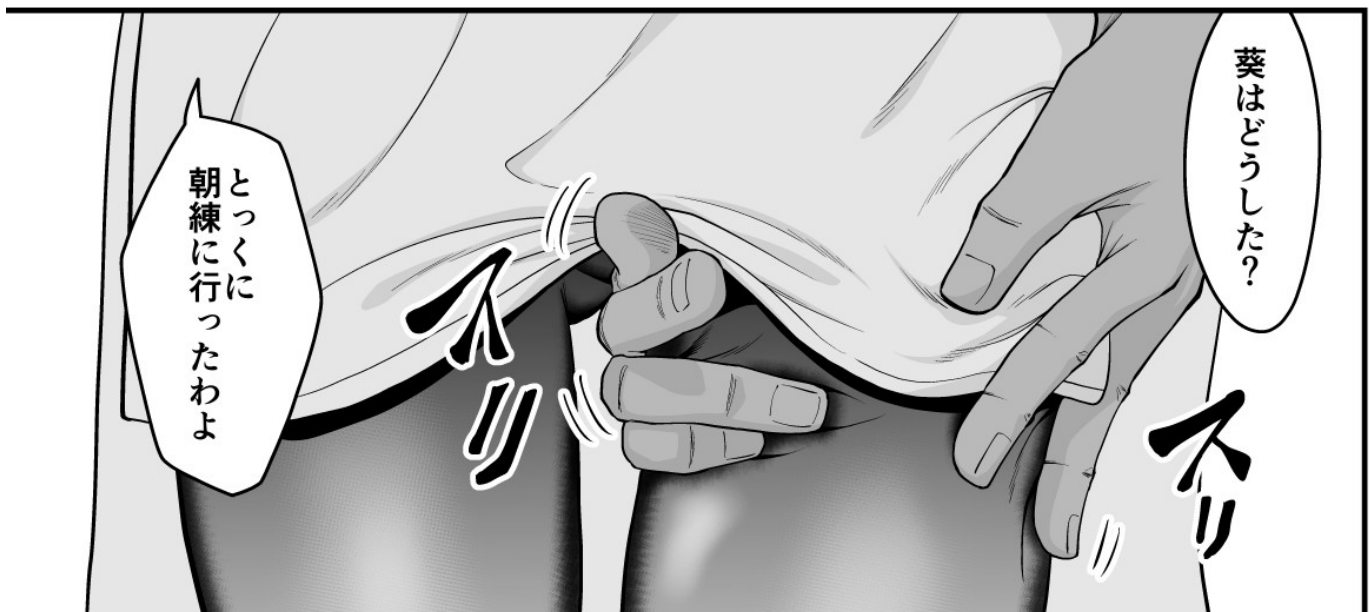


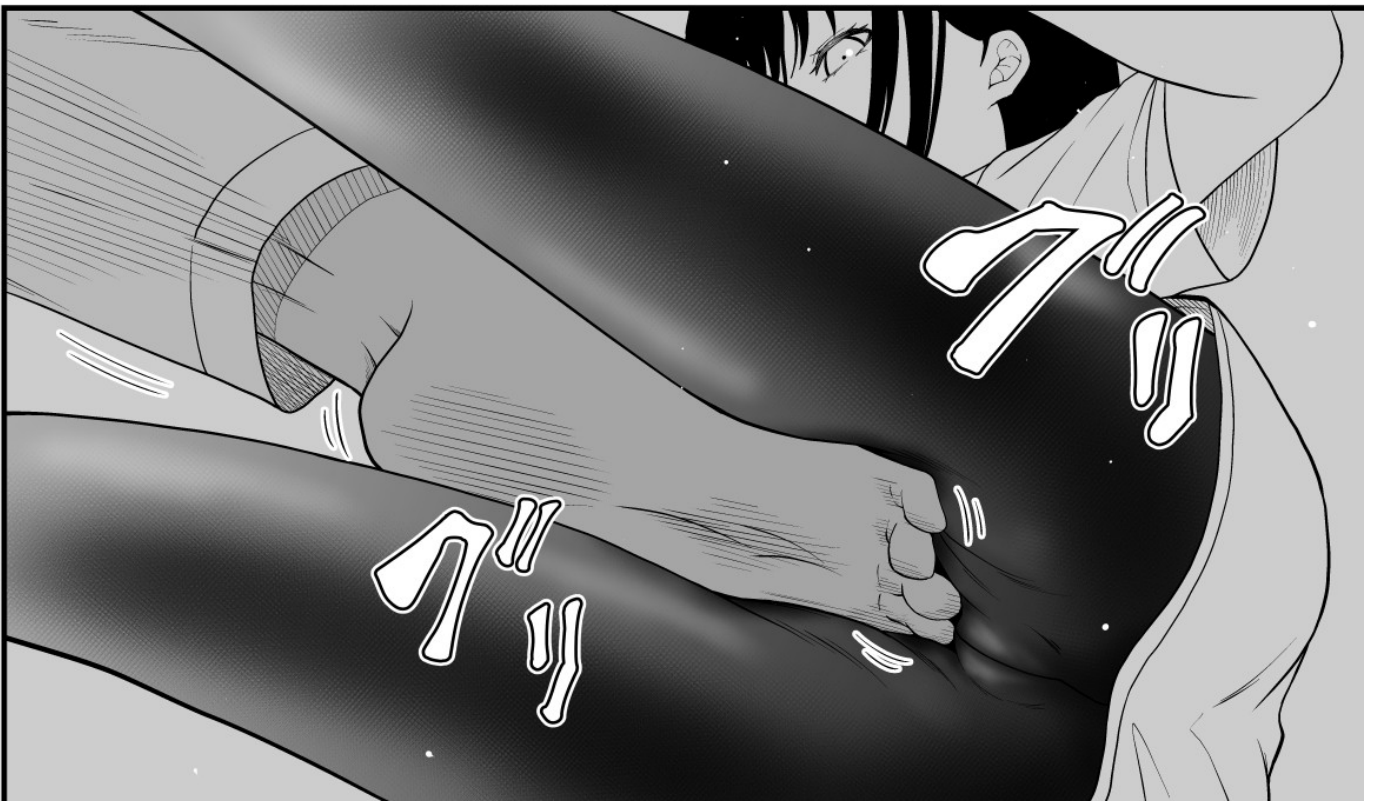
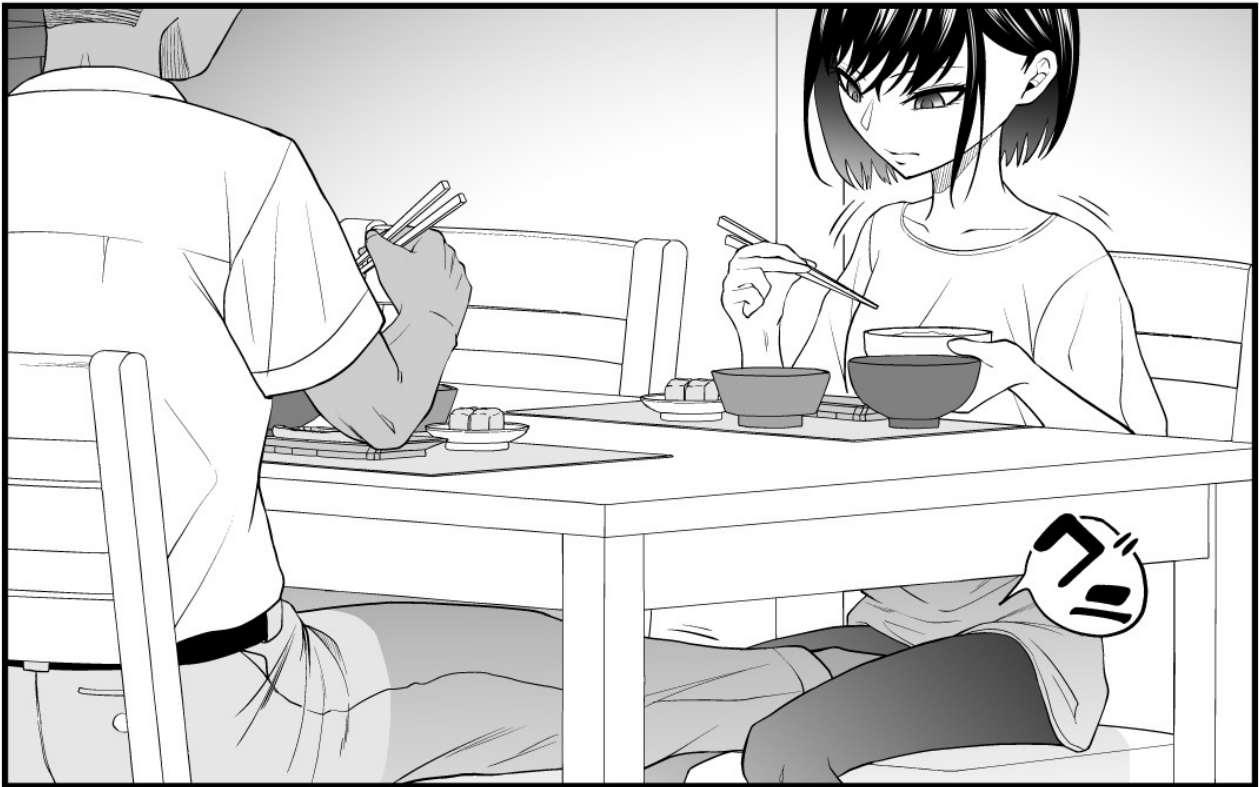
父のセクハラが
始まった

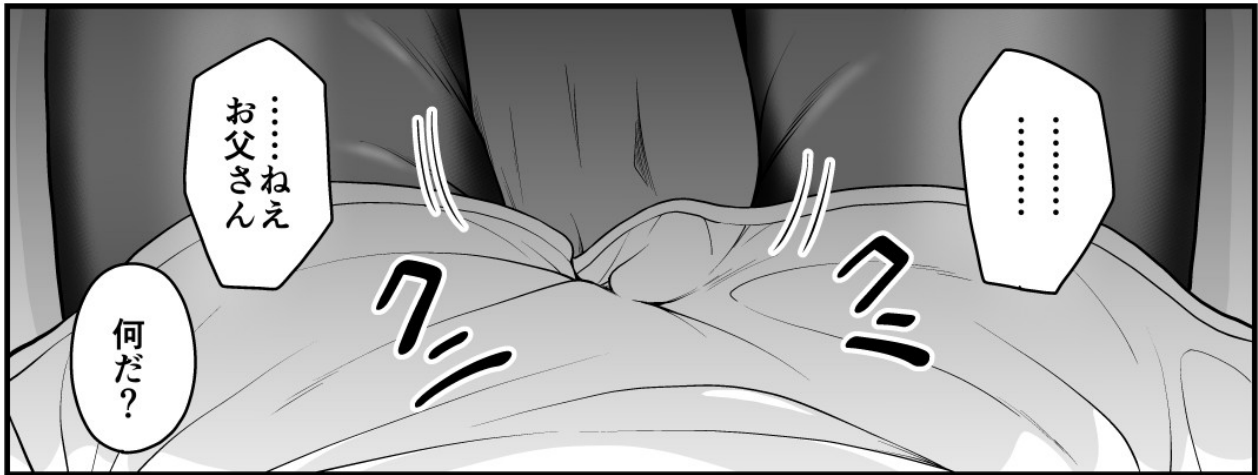
それから

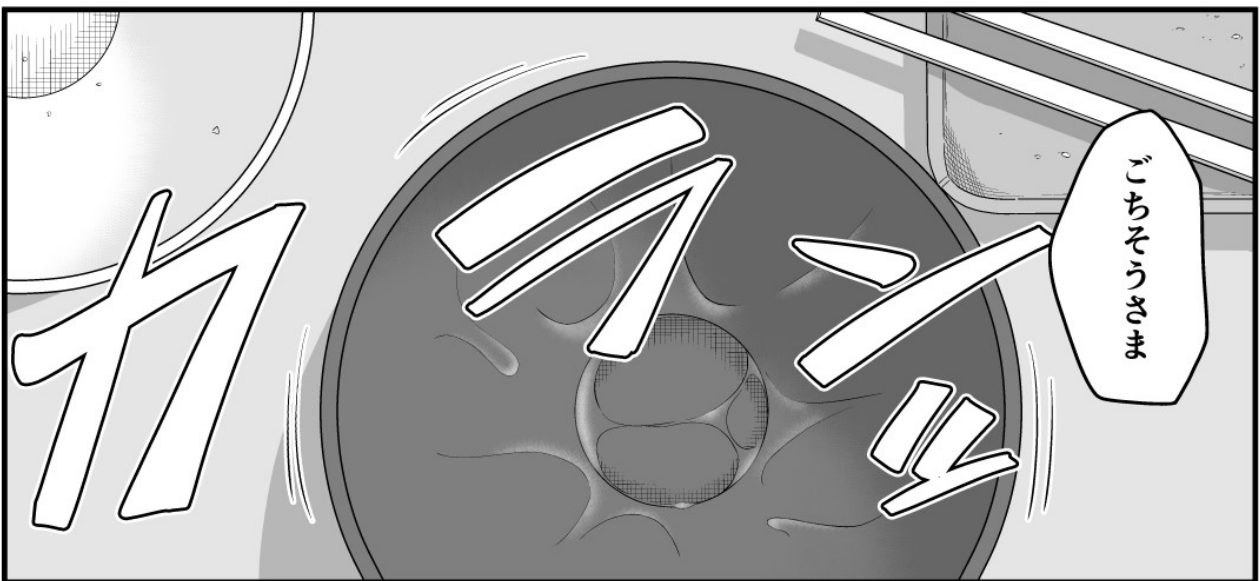
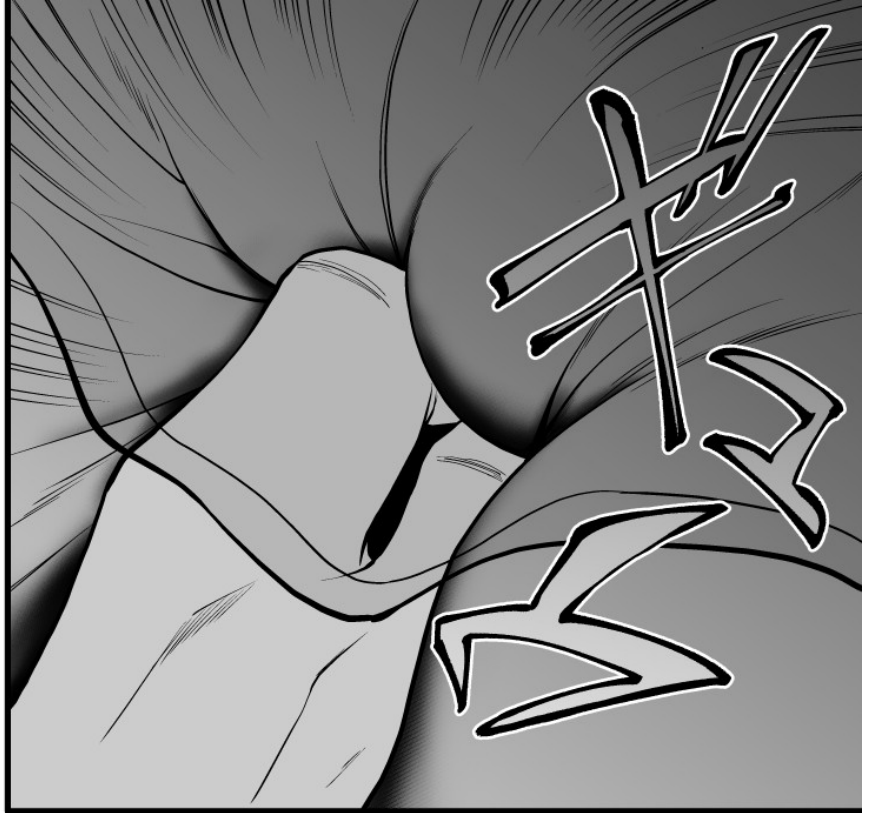


次のニュースです











お父さんが
何を考えてるのか
分からない

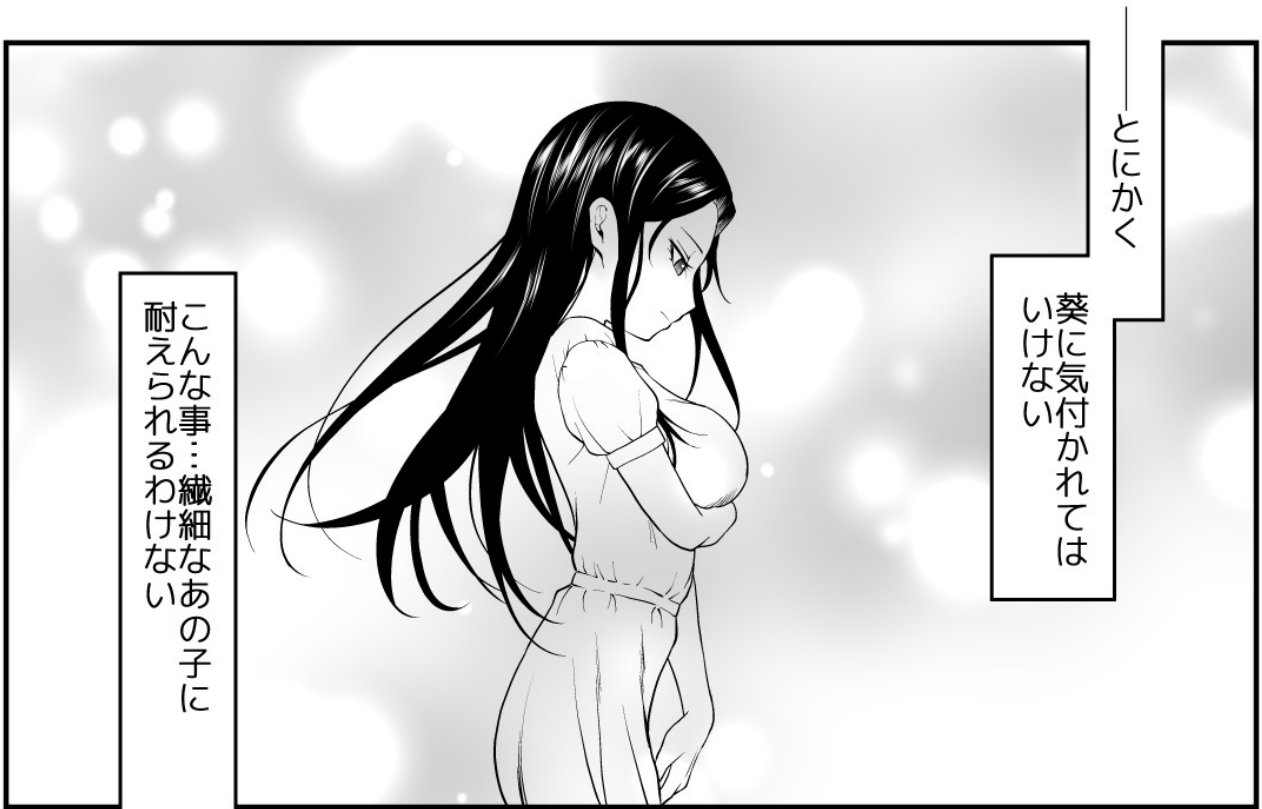
男の人の性欲が
強いのは知ってるけど

発散する方法は
他にもあるでしょう？

何故こんな
馬鹿な事をするのか

こんな...
家族が壊れかねない事を





とにかく

葵に気付かれては
いけない

こんな事…繊細なあの子に
耐えられるわけない



一番怖いのは

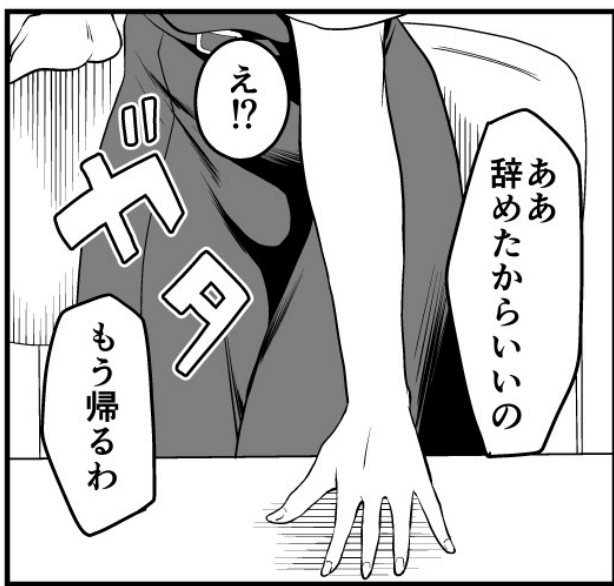
私が下手に
抵抗して

父の標的が
葵に移る事

それだけは
避けたいと…

雪…?

雪!!



え!?

ああ
辞めたからいいの

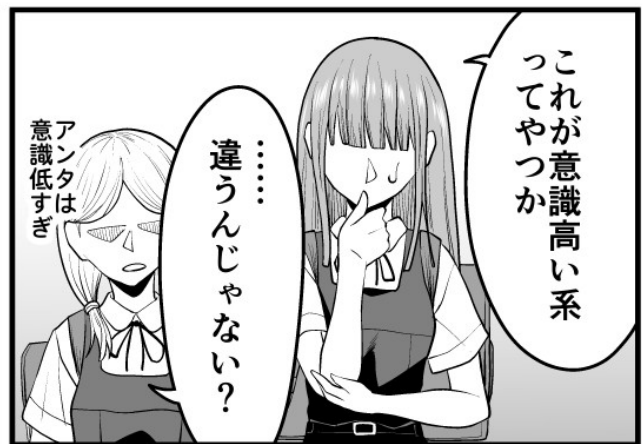
もう帰るわ

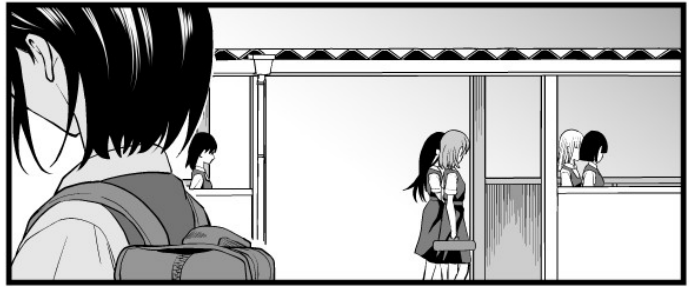
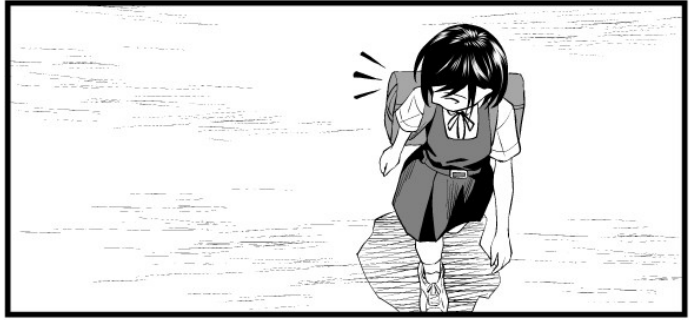
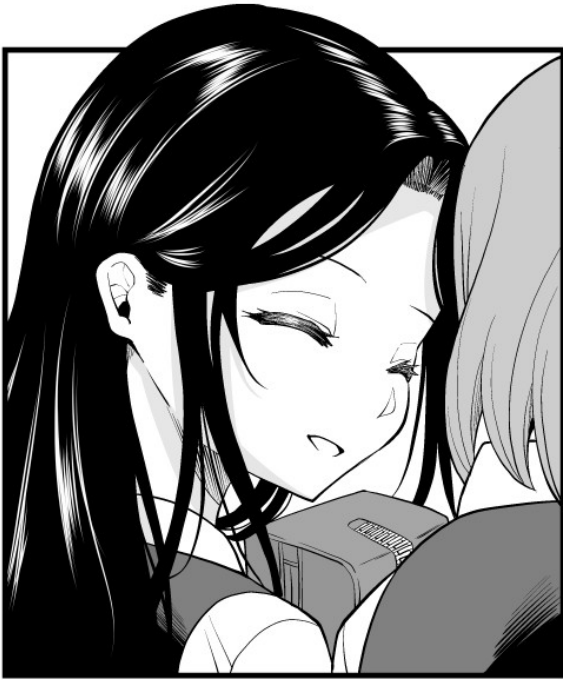


私らは
部活行くけど
雪は委員会行かないの?

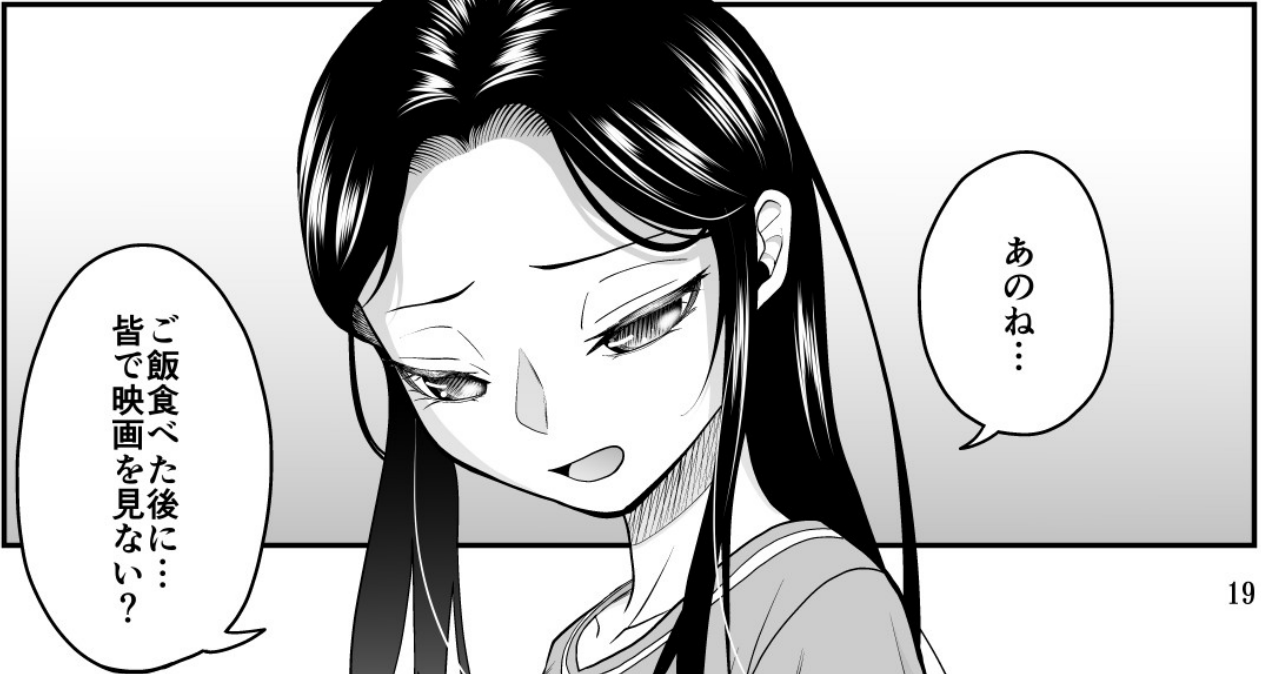
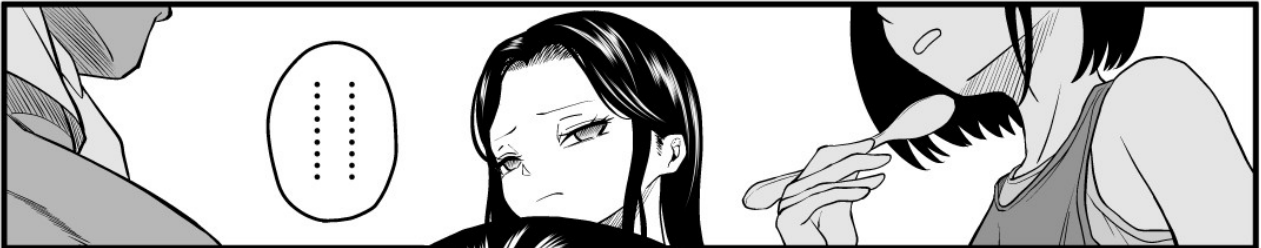
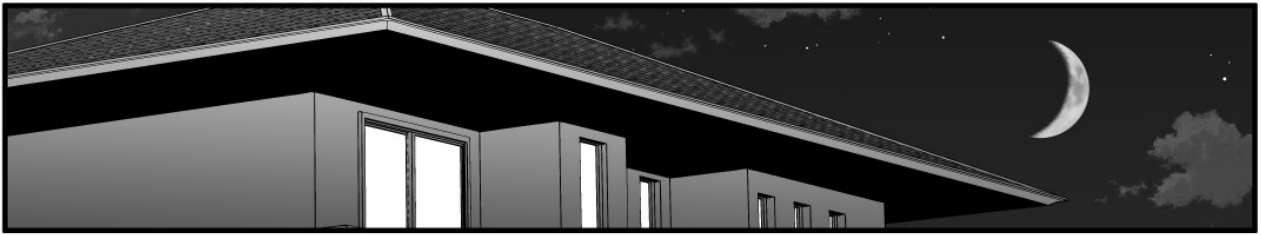
大丈夫?

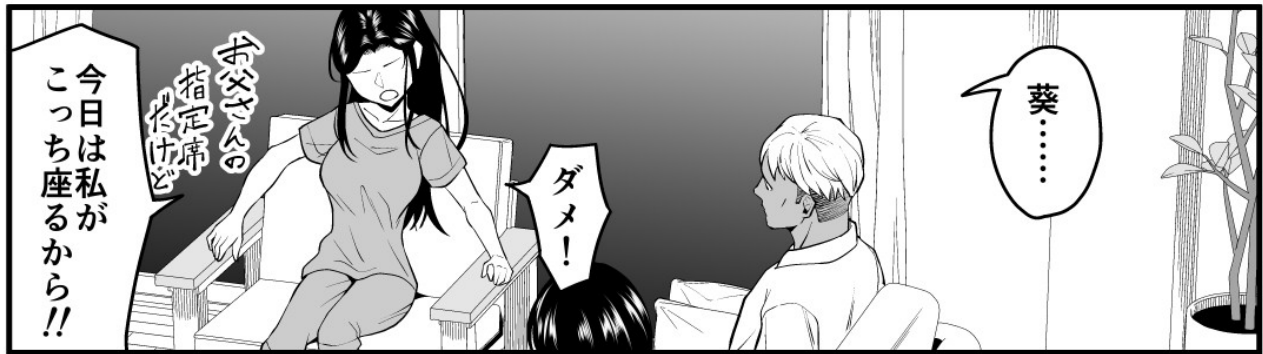
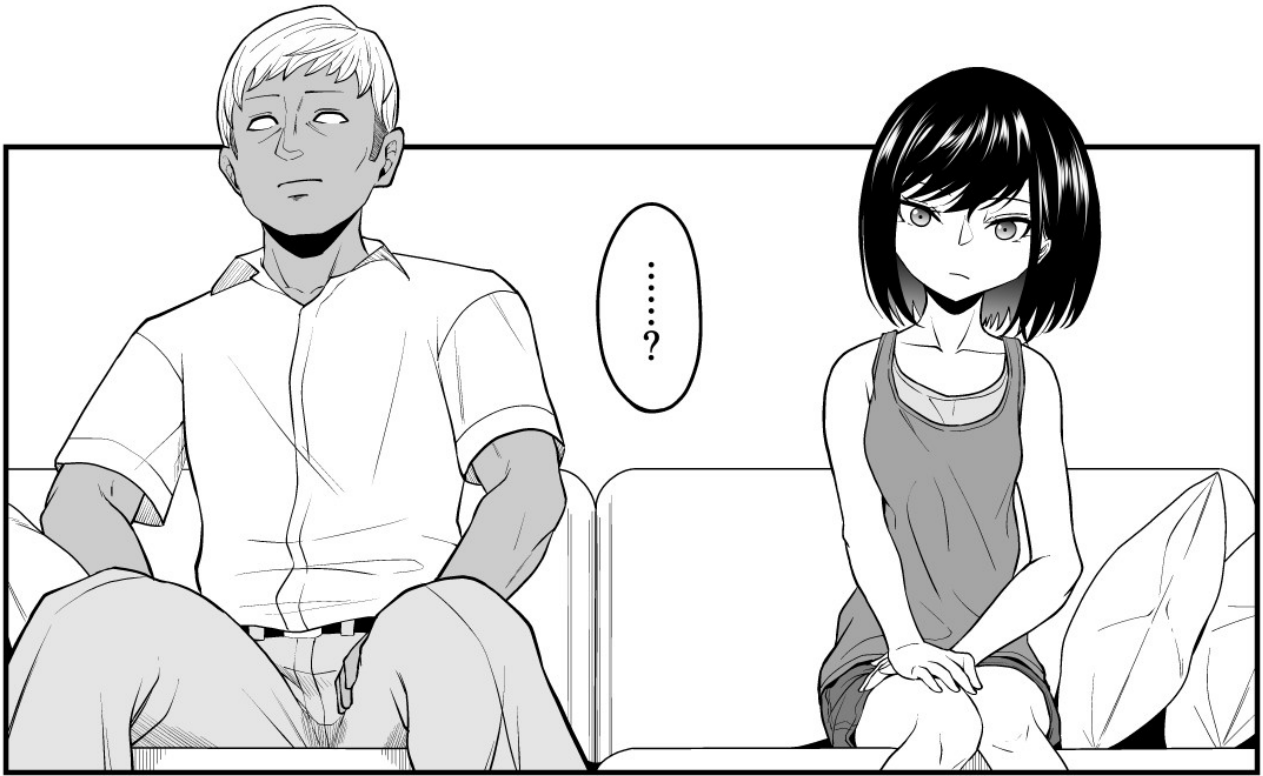
あ、ゴメン…

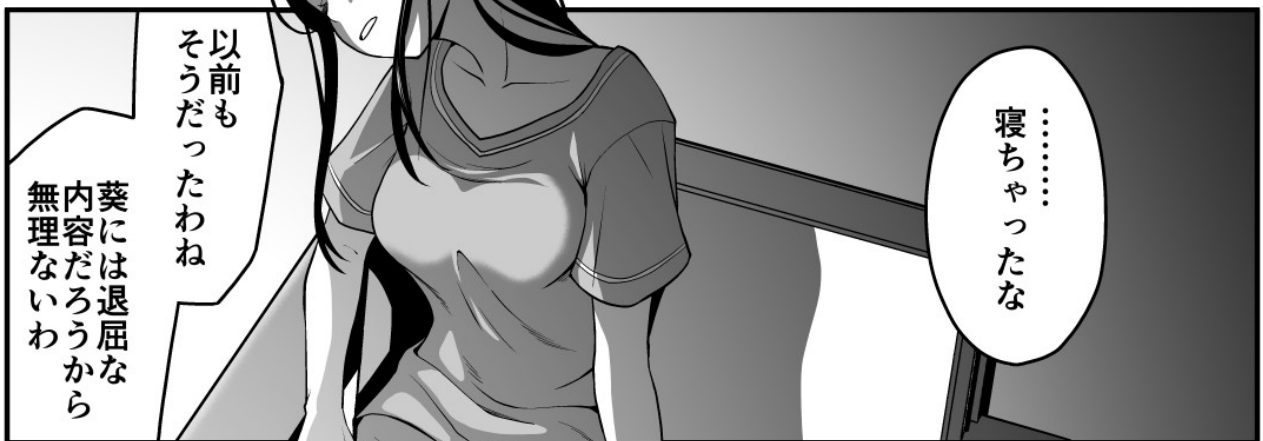


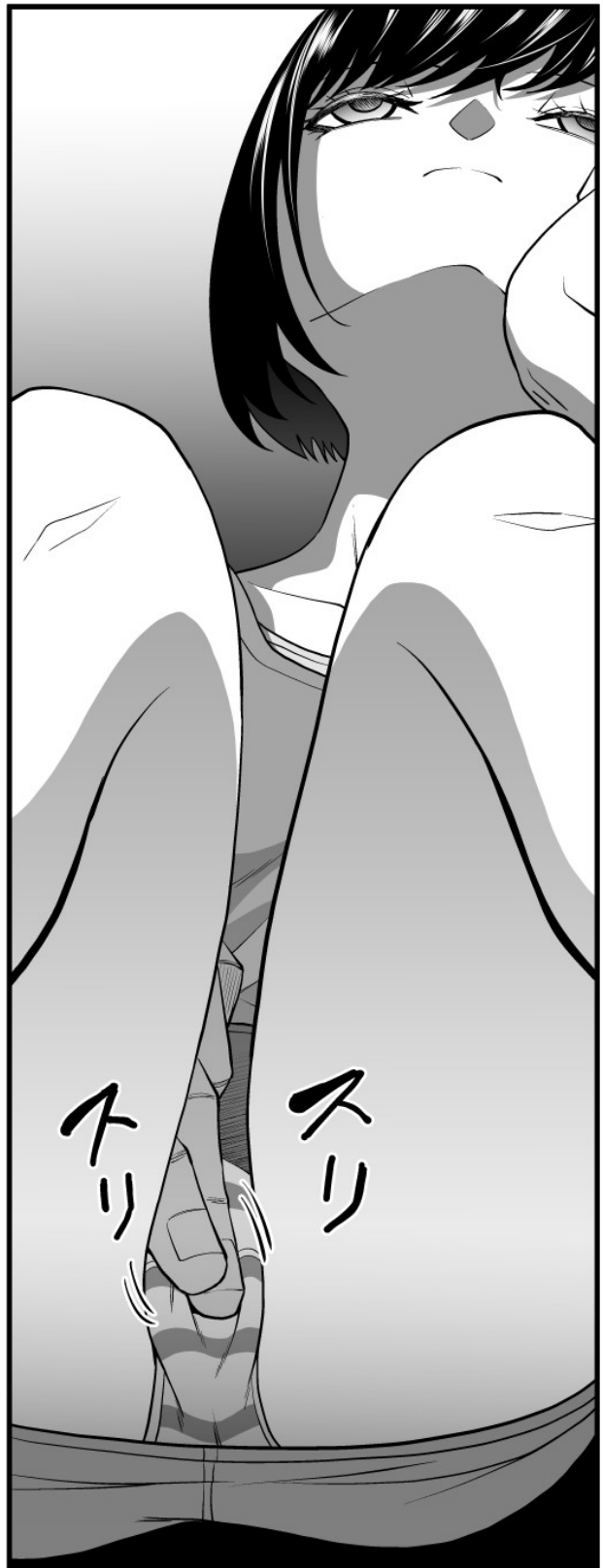


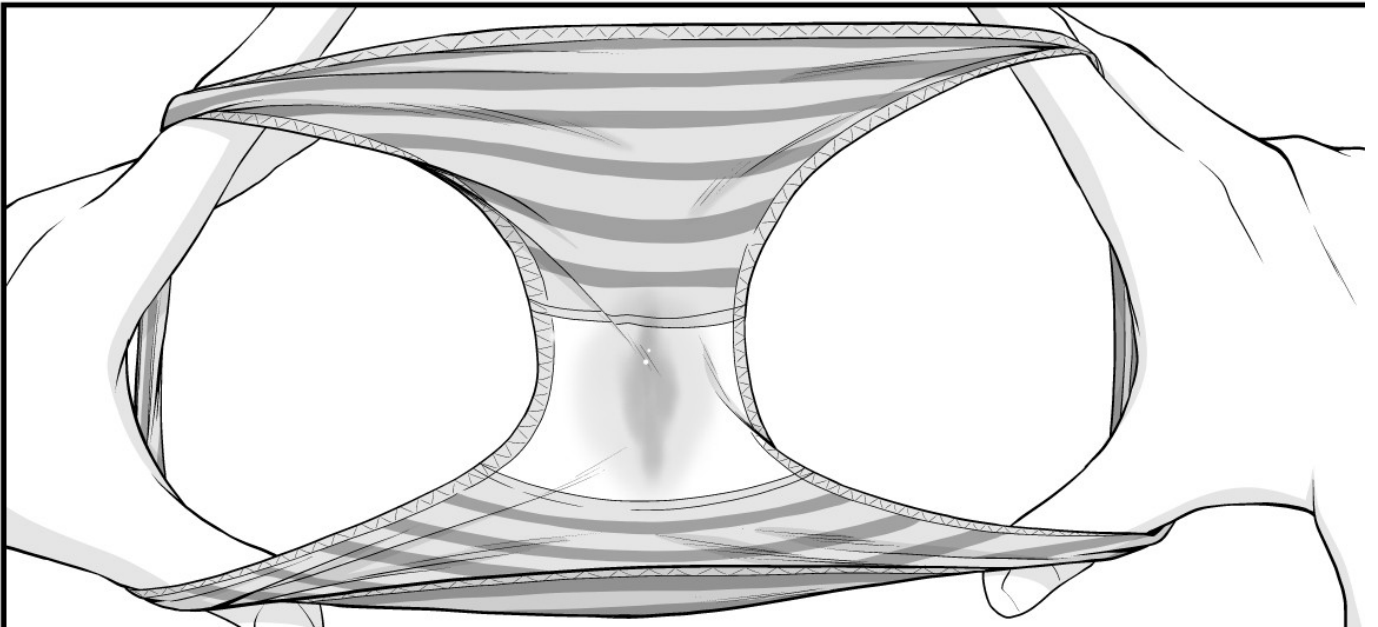
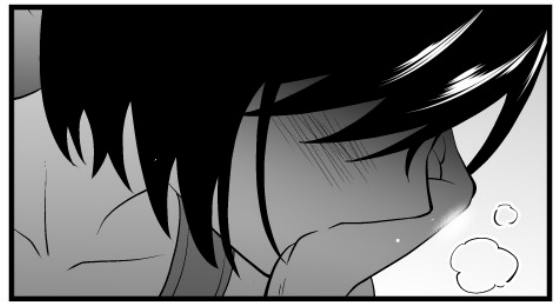
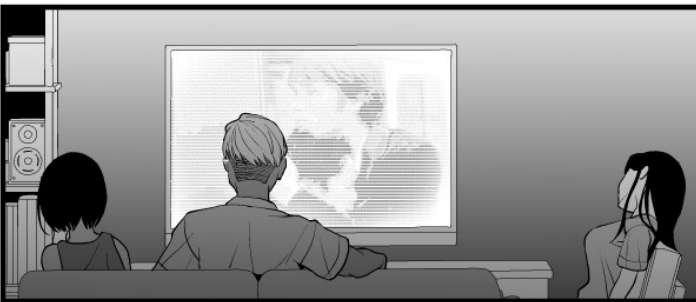
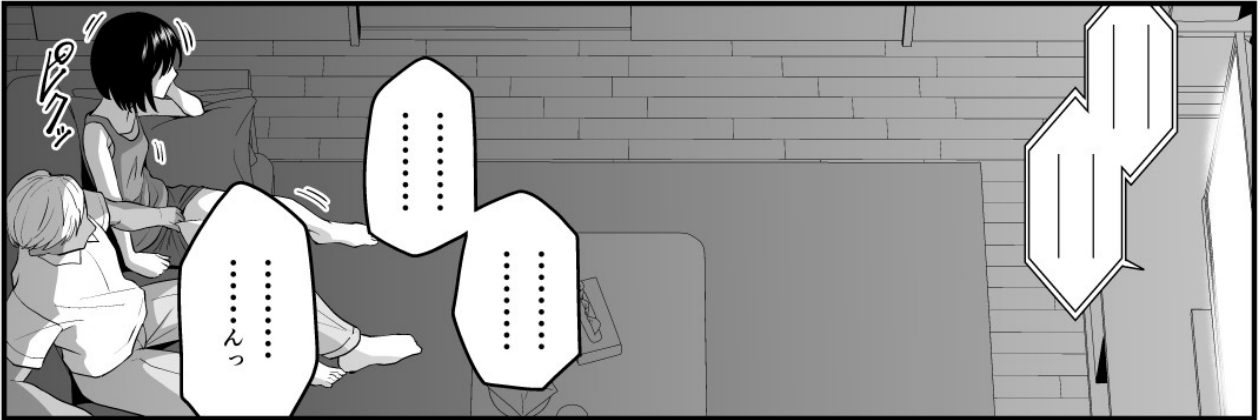




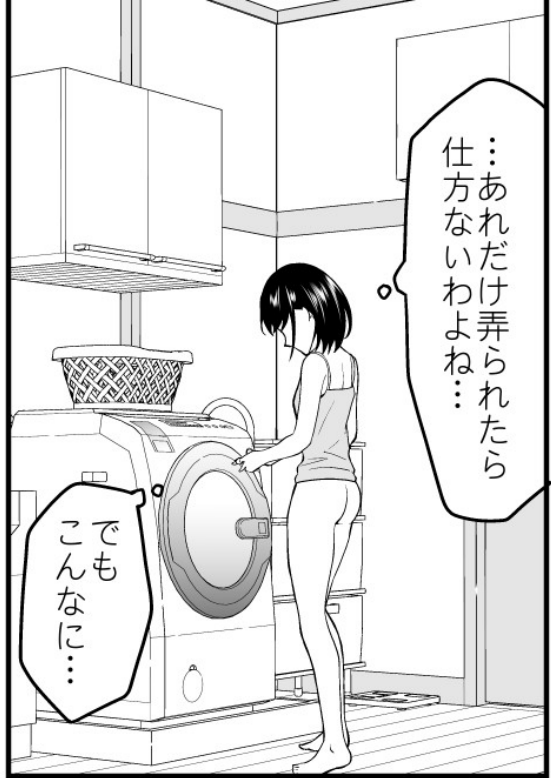








…あれだけ弄られたら
仕方ないわよね…



でも
こんなに…

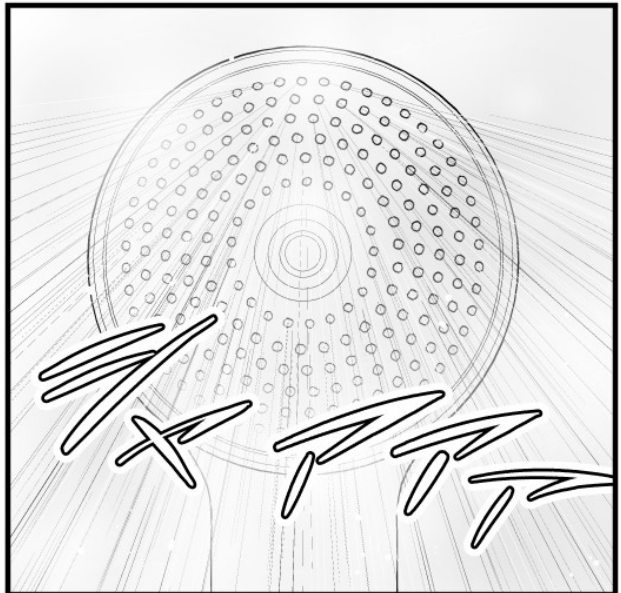
段々と身体が
濡れやすく
なってる気がする…



…くそっ



お父さんは
どんどん
大胆になってる…



今はまだ…
服の上から
触られるだけ…

でも
このままだと…





わっ
や

雪
久しぶりに
洗いっ
こしうようか



——と同時に

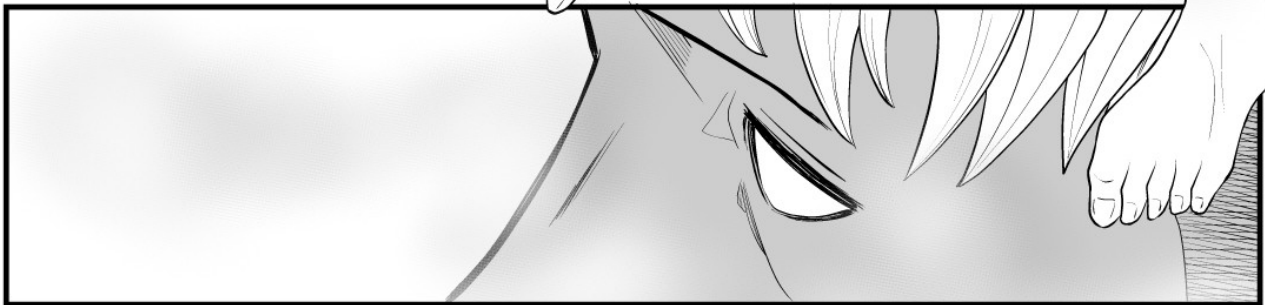
「動揺を見せたら負けだ」
——とも思った

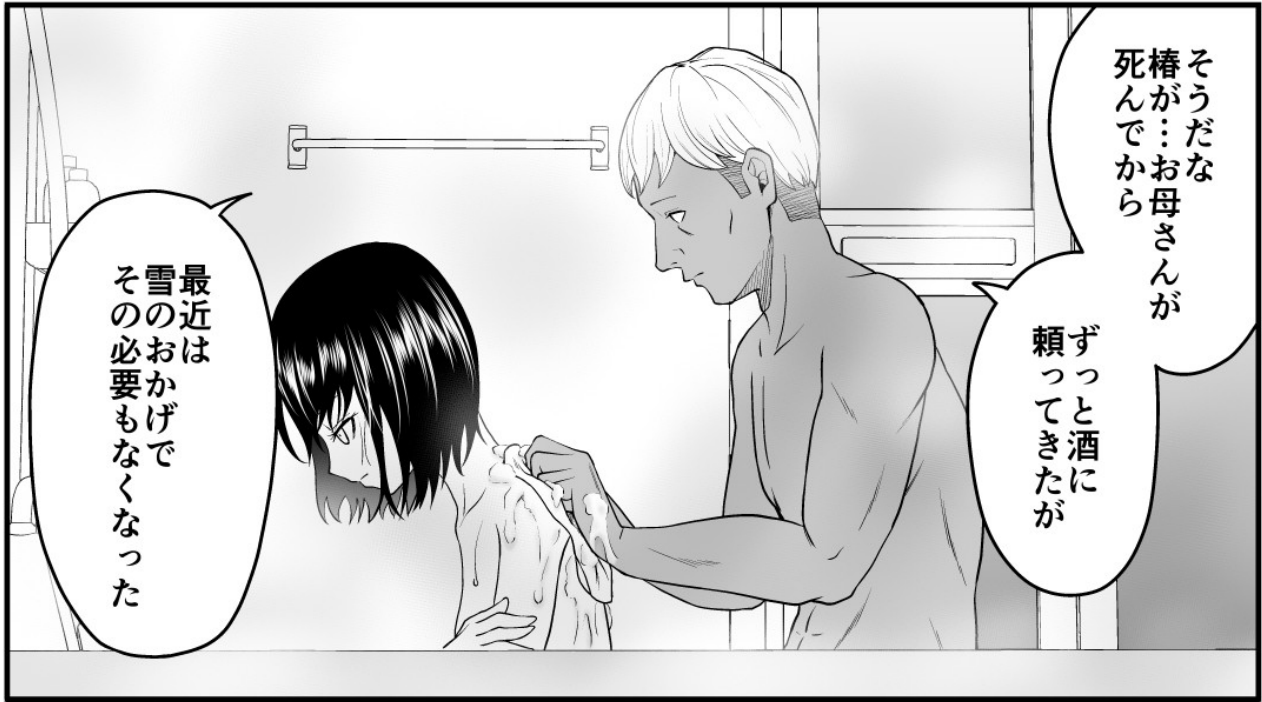


「ああ、遂に来たか」



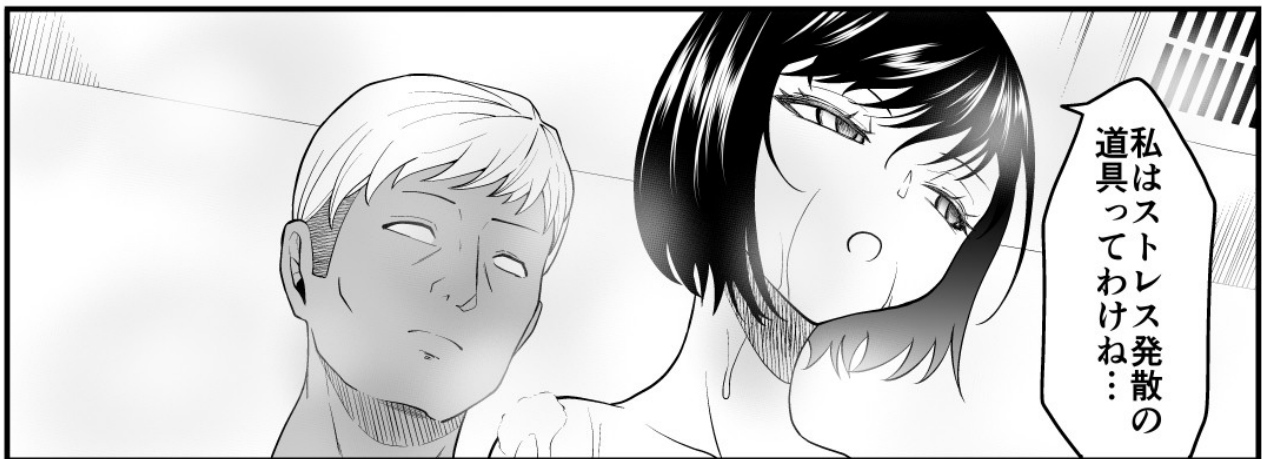
お父さん：
最近酔い潰れる事も
なくなっただわね





最近はおかげで
雪の必要もなくなった

そうだな
椿が…お母さんが
死んでから
ずっと酒に
頼ってきたが



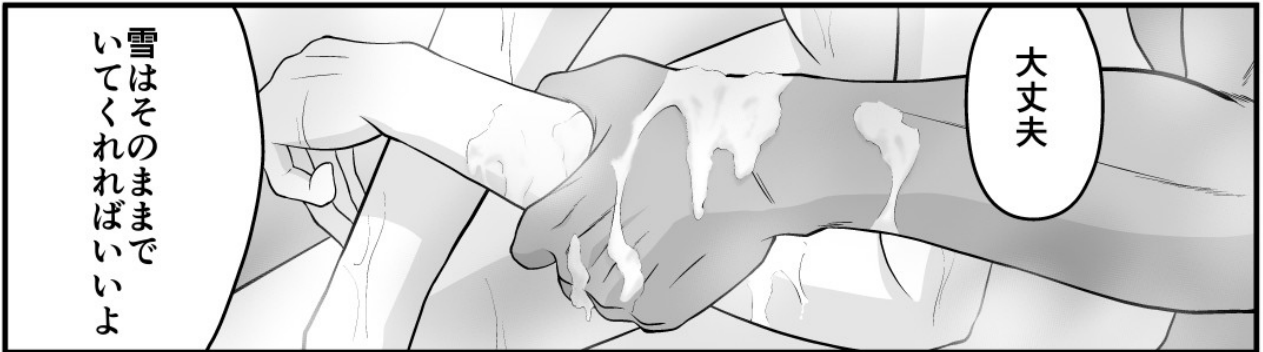
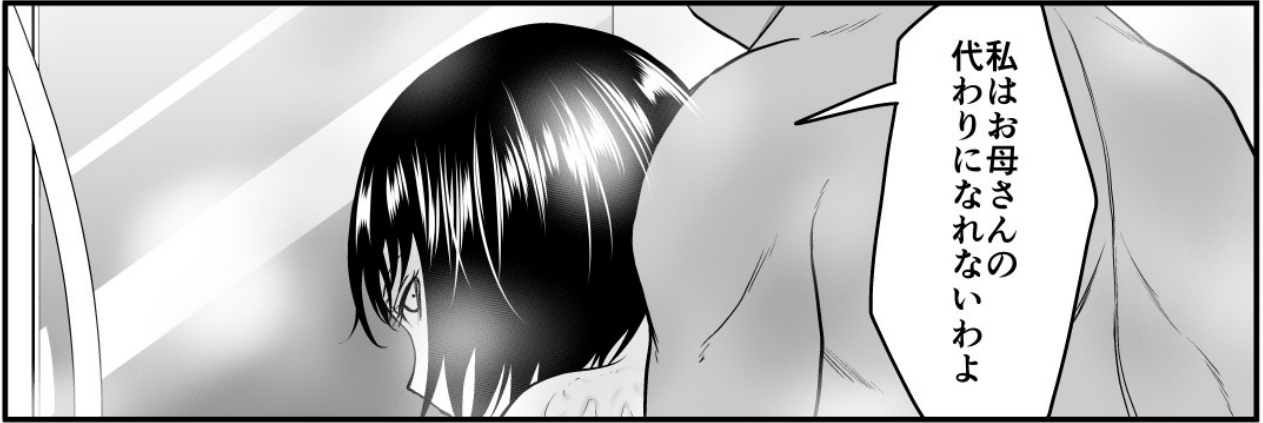
私はストレス発散の
道具ってわけね…

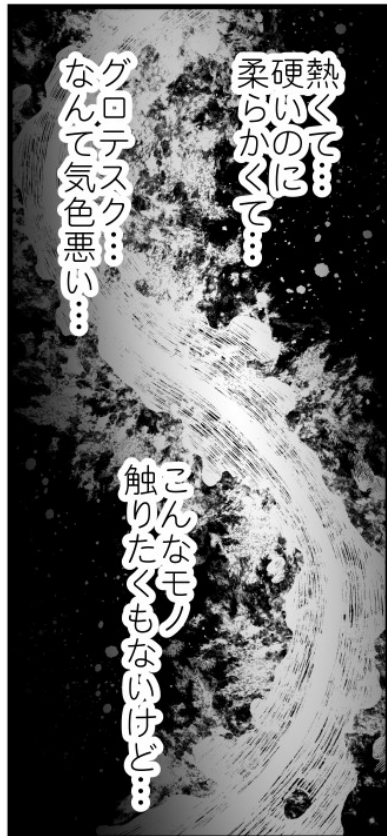


お母さんが死んで
僕の心には大きな穴が
開いてしまった

けどその穴が
ようやく埋まりそうな
気がするよ









お前はそのまま
いてくれればいいんだ



お前の性格的に
僕に大人しく
従うはずがない

それでも今
こうしているのは
…葵の為だろうか？

そういう
優しい所が
お母さんに
そっくりだよ

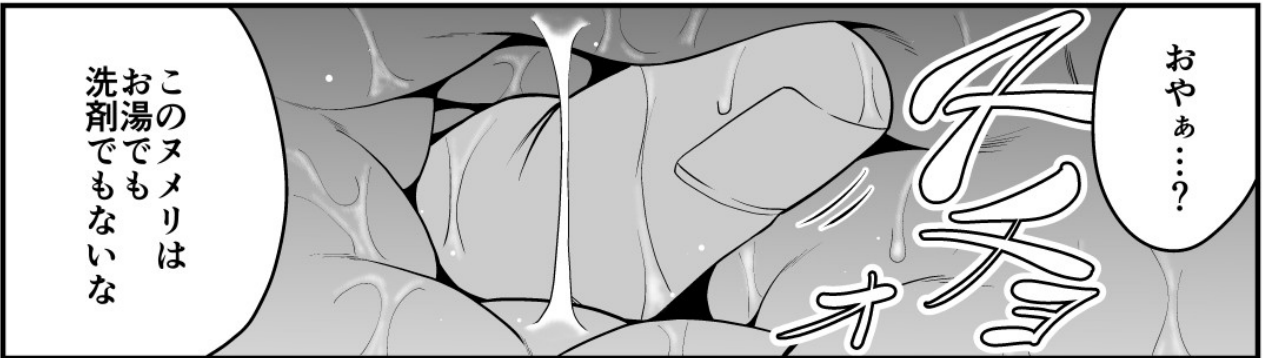
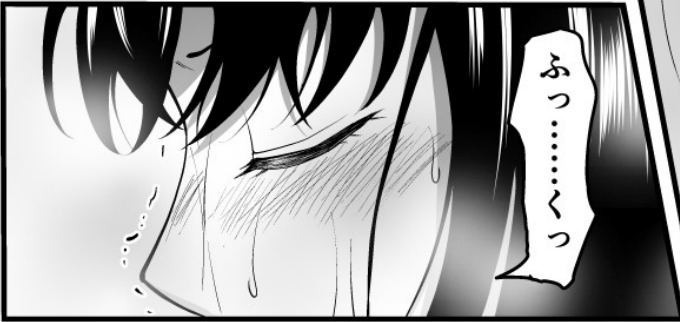
性格だけじゃない
体型も
声も髪質も…



気持ち悪い…っ
さつきから
勝手な事
ばかり言つて…



それだけで
十分なんだ





ちゃんとして動かすんだ

そら左手が疎かになつてるぞ

はっ

はっ

んっ



何度も指で曲げないで

ギョ ギョ



乳首...

クニ クニ
弄らないで



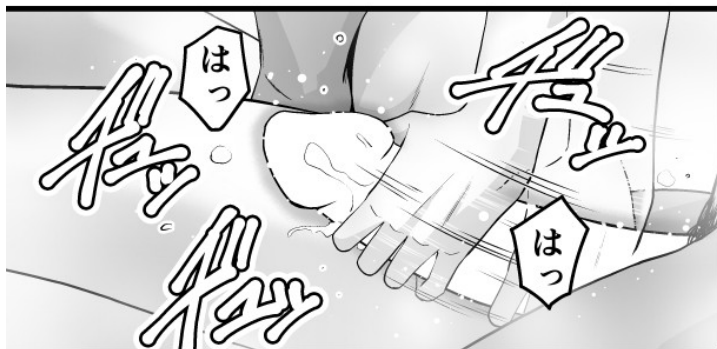
い...いやっ
そんな...

くっ

うっ

はっ

ギョ



はっ

はっ

ギョ ギョ



こ...これ...

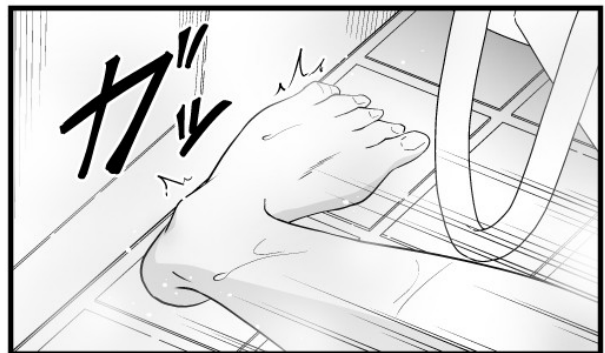
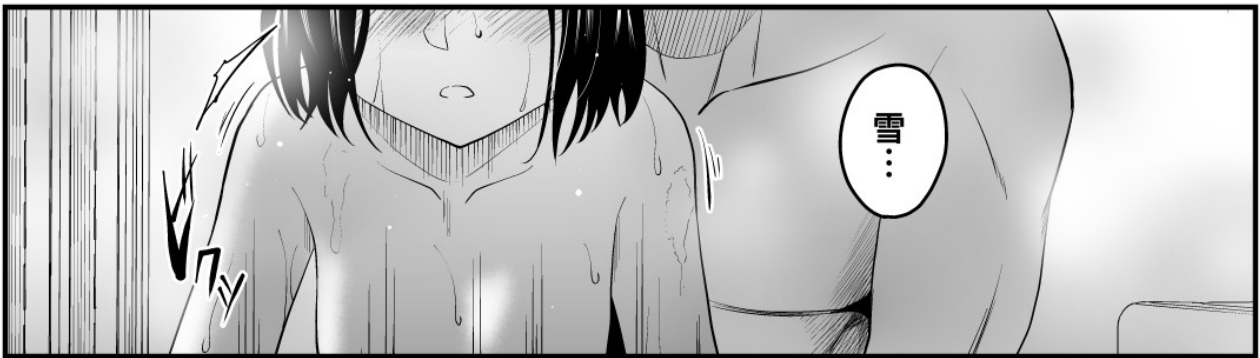
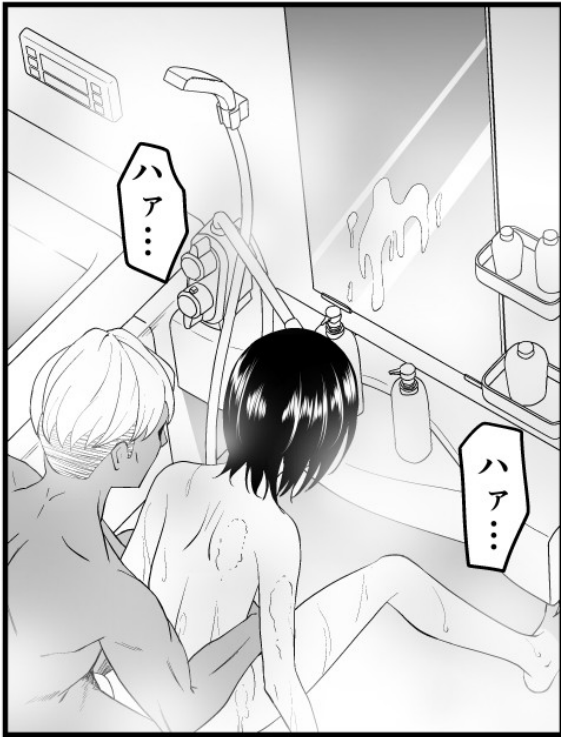
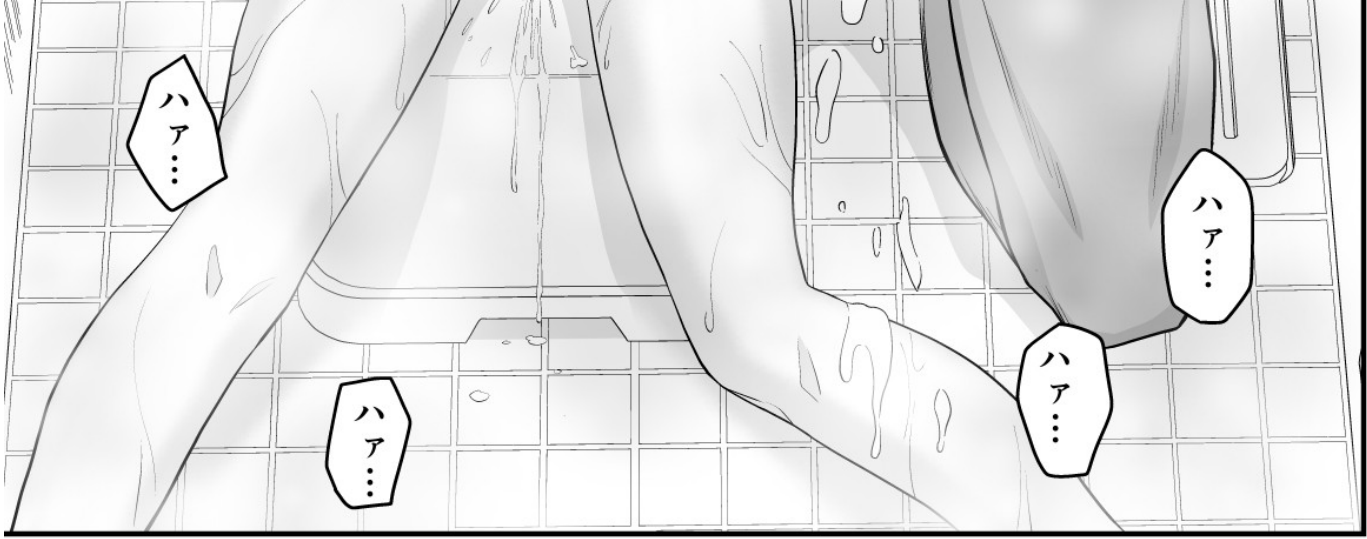
はっ

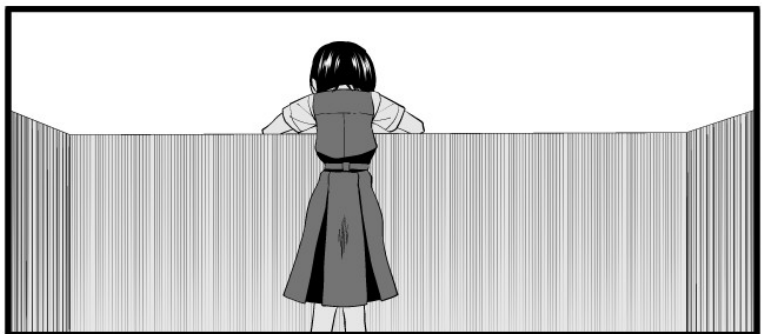
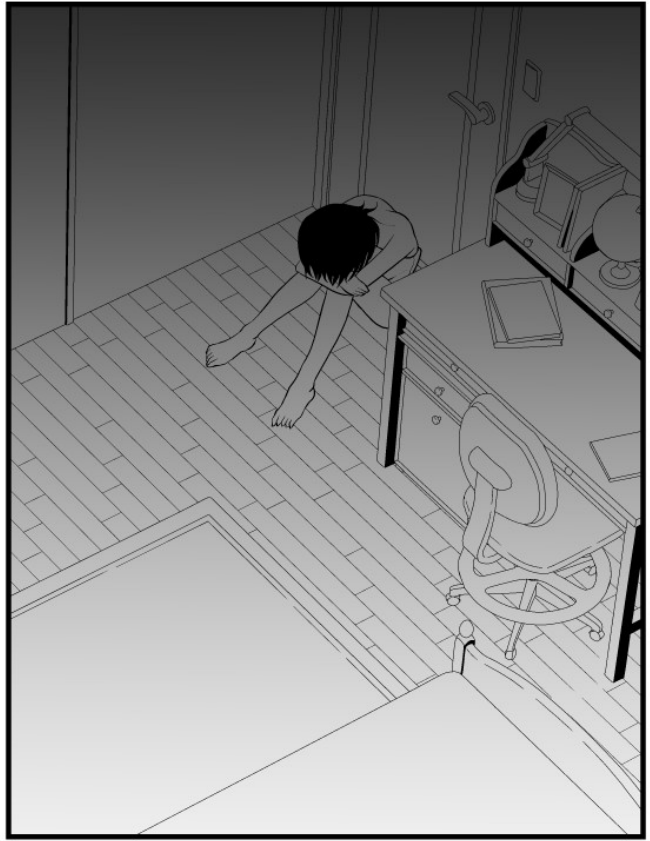
はっ

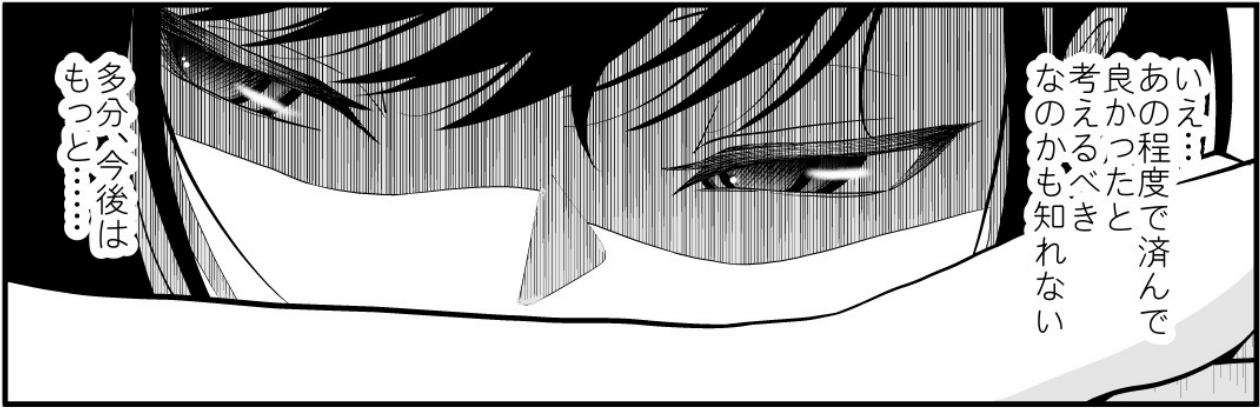
マズイ...
かも...

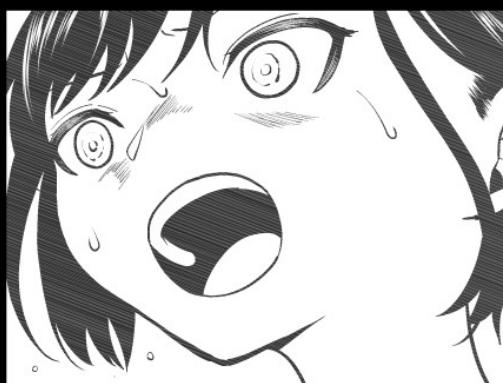
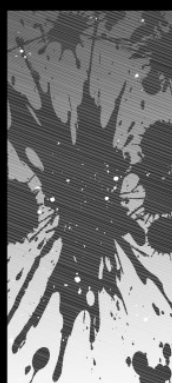
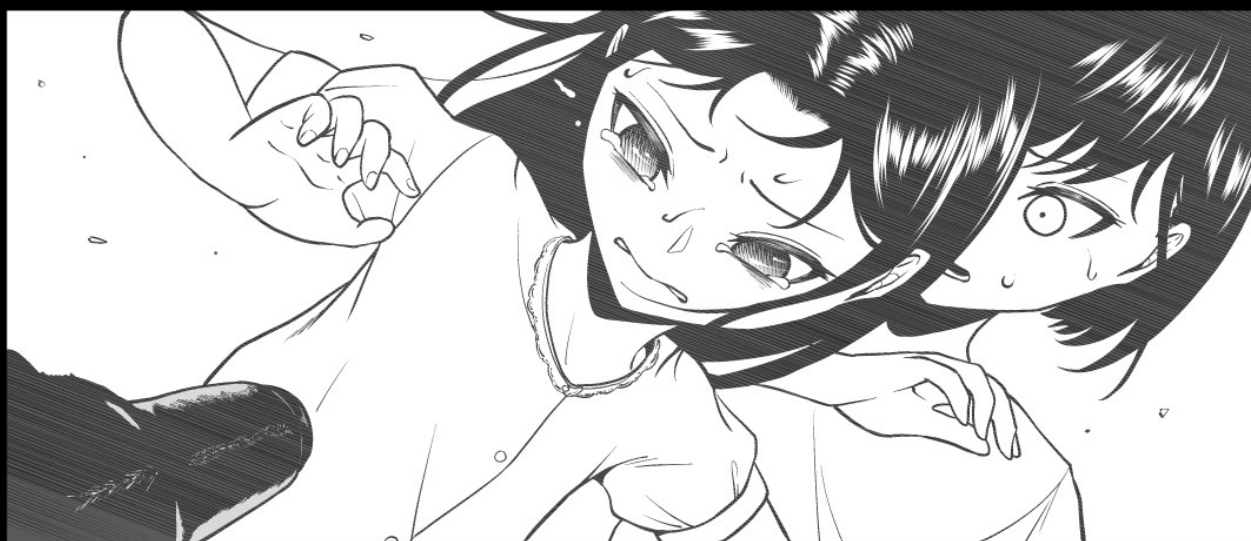
はっ

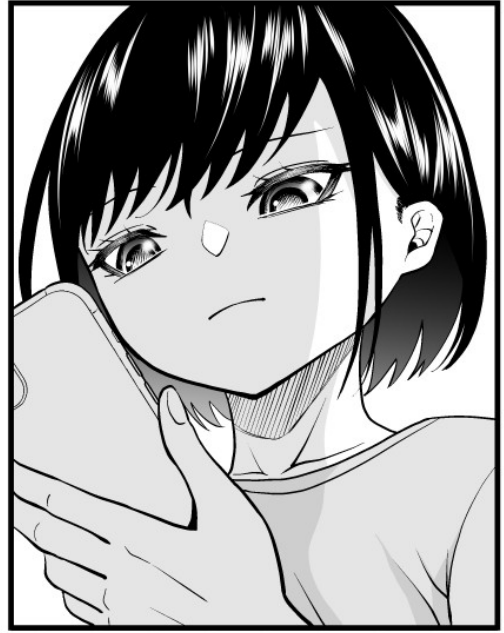
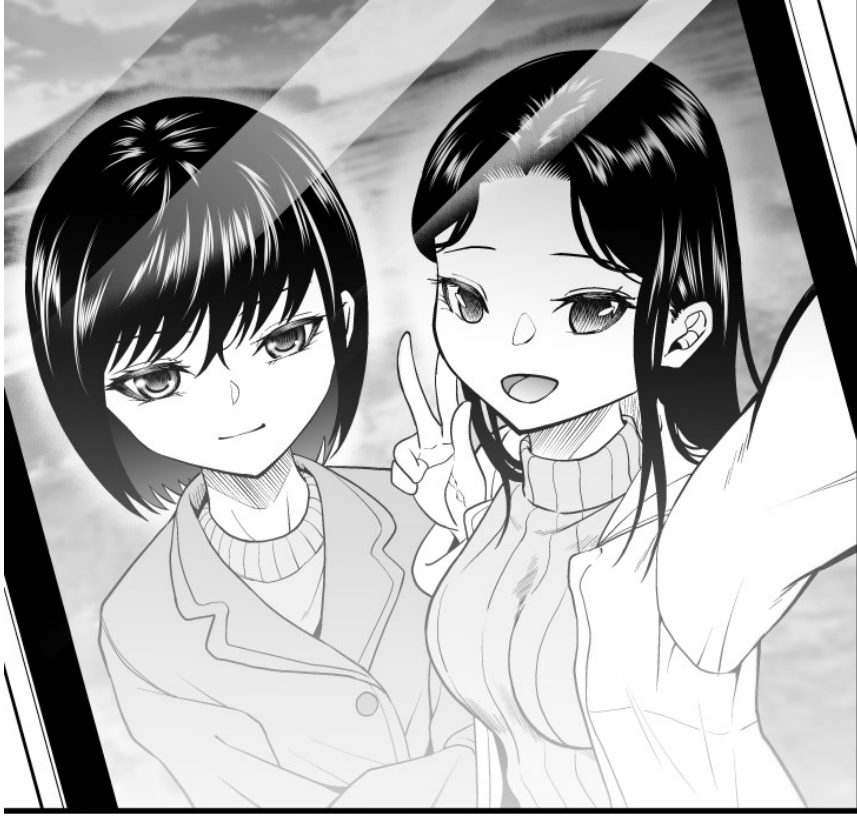














だから――

私も
葵の為なら何だって出来る



葵の為なら…我慢できる

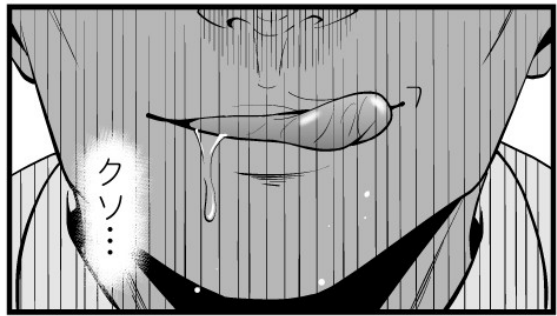
いつかこんな日が
来るとは思っていた…



それがたまたま
今日なだけ…



最悪の
ファーストキスね…

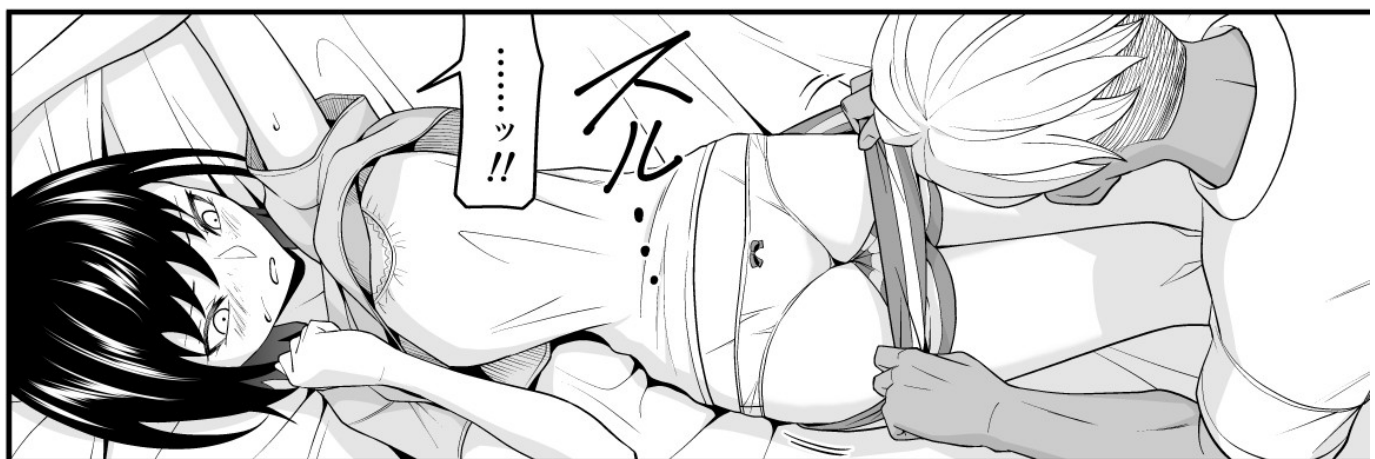


クソ…



唾液…
何度も飲まされた…

口の中…
お父さんの
匂いでいつぱい…

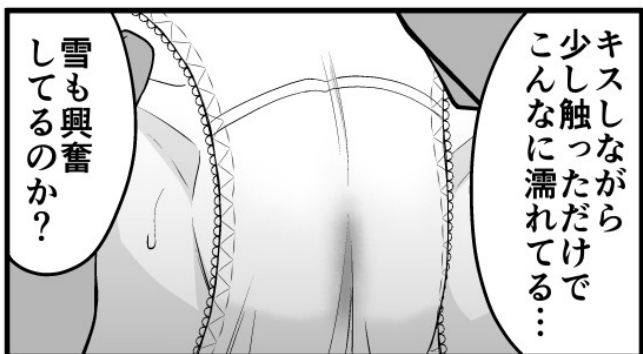


ズル…

…ツ!!

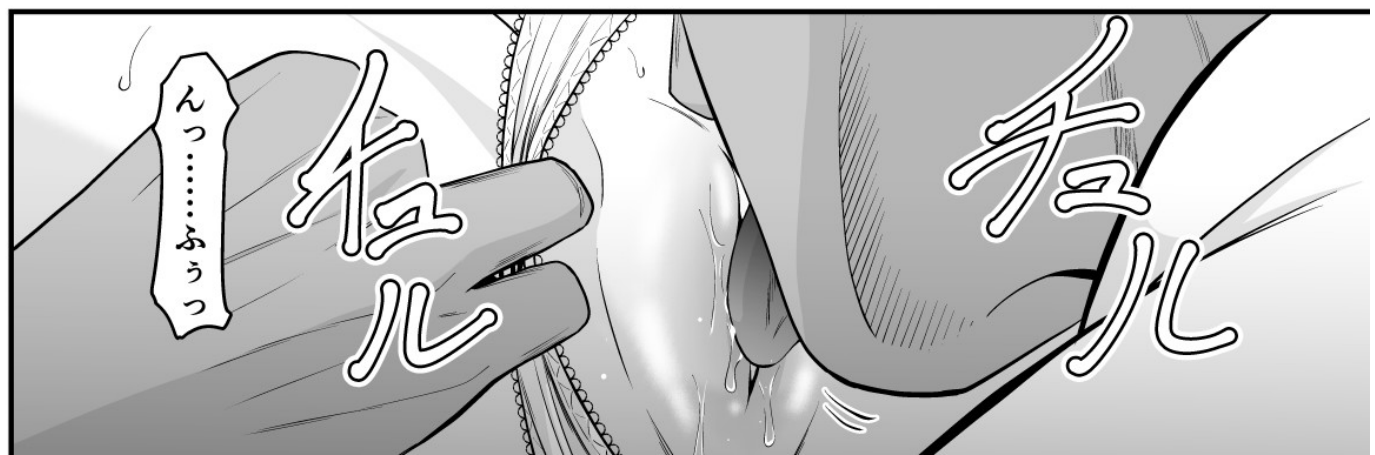


…無視!!



キスしながら
少し触っただけで
こんなに濡れてる…

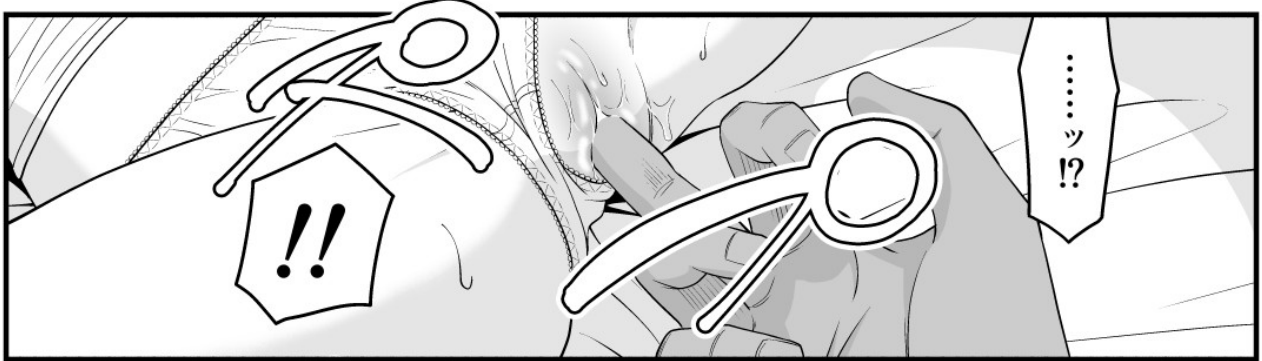
雪も興奮
してるのか?

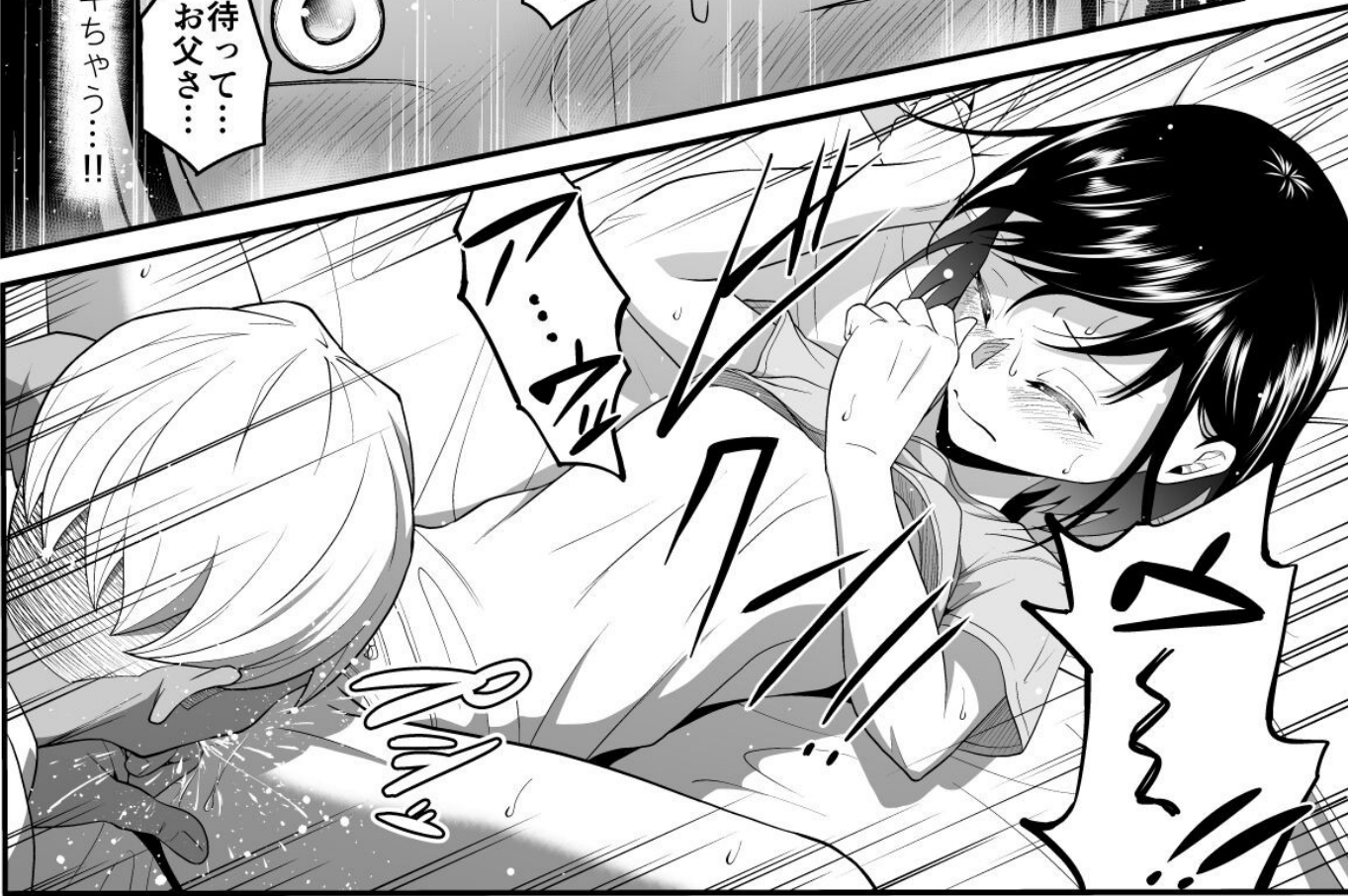
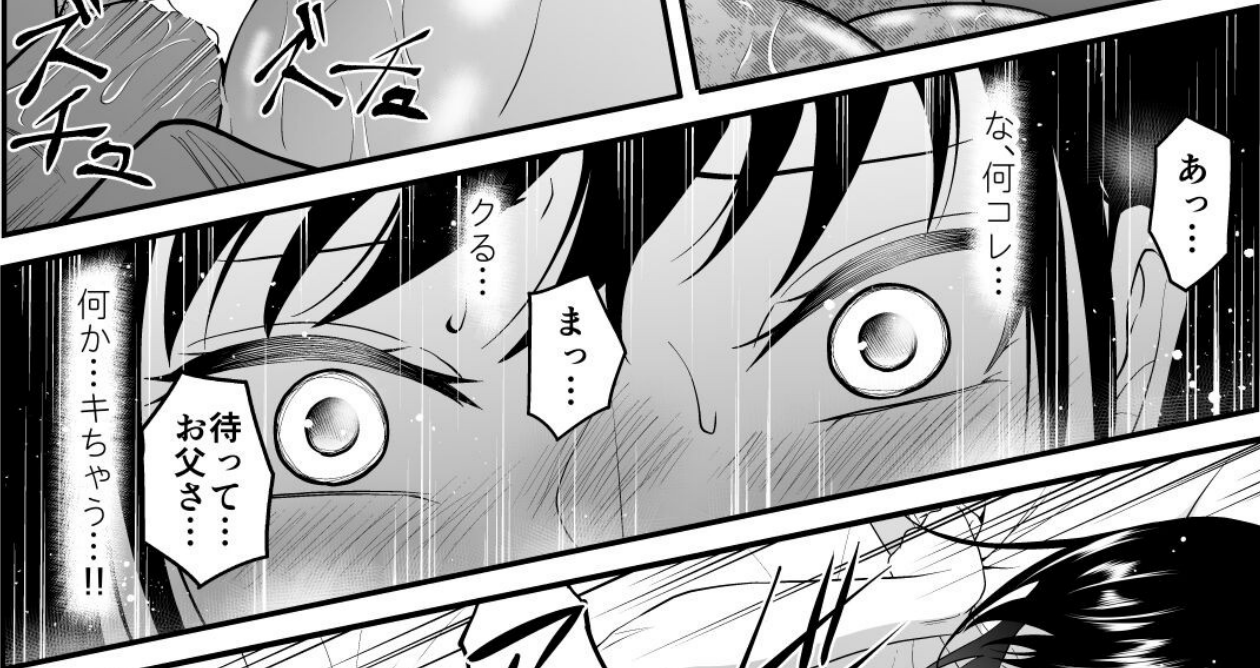
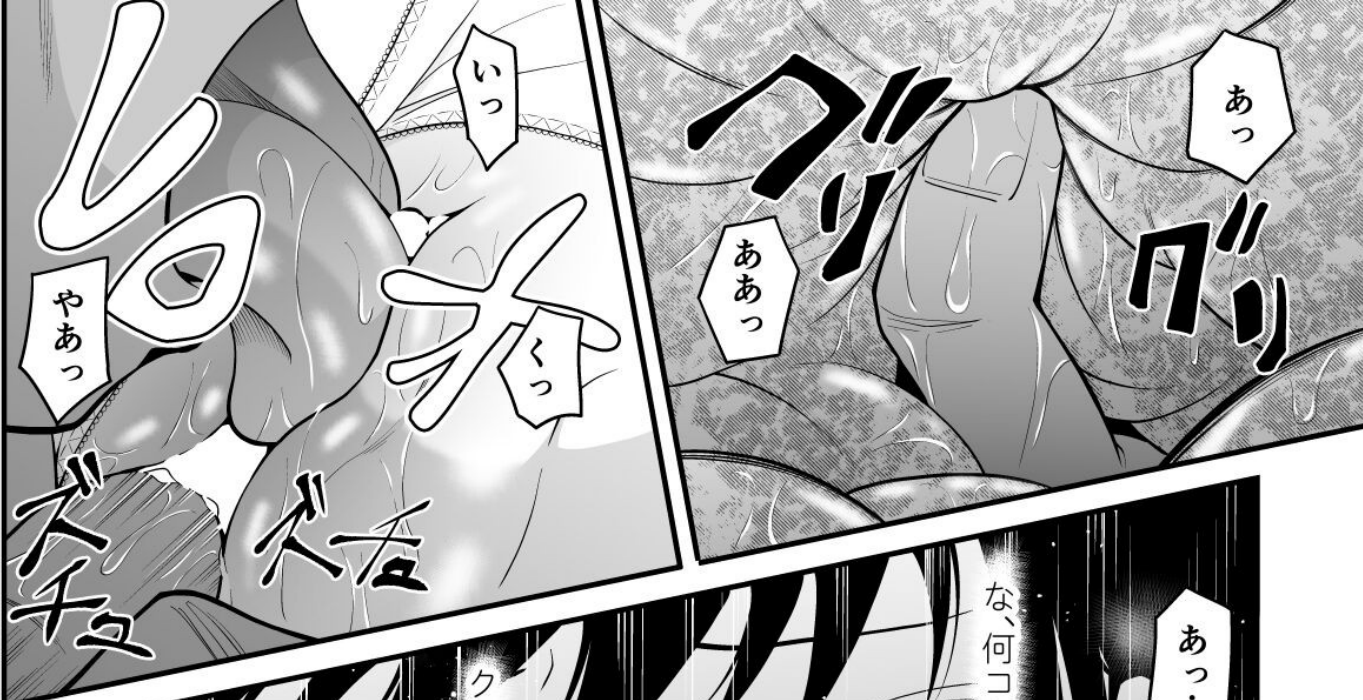


ズル

ズル

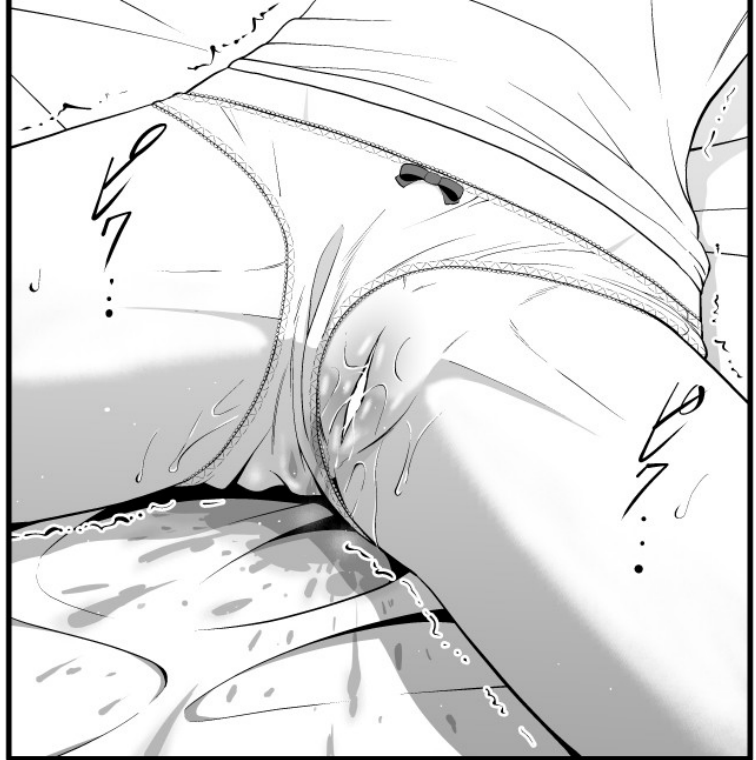
んっ…ふっ







見事な
潮吹きだったよ
雪

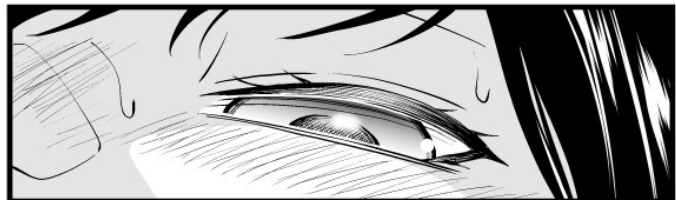


潮吹き...?
聞いた事ある...

今のが...
そうなの...?

漏らしたかと
思った...

凄かった...



これで終わりなわけ
ないわよね...



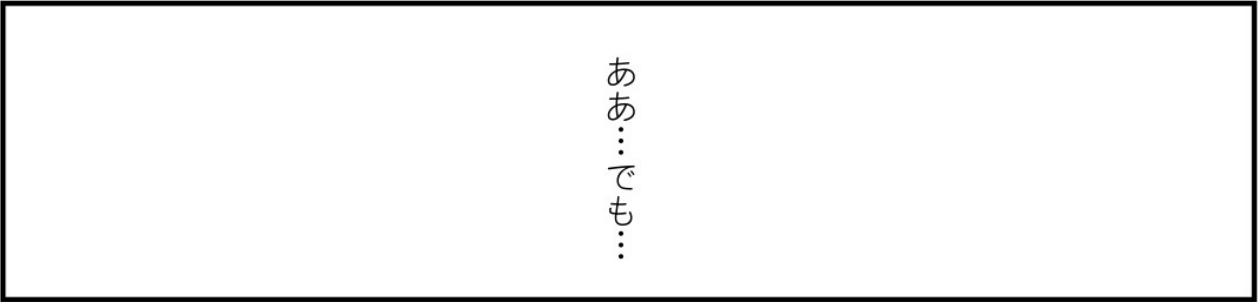
ああ...

そうよね...

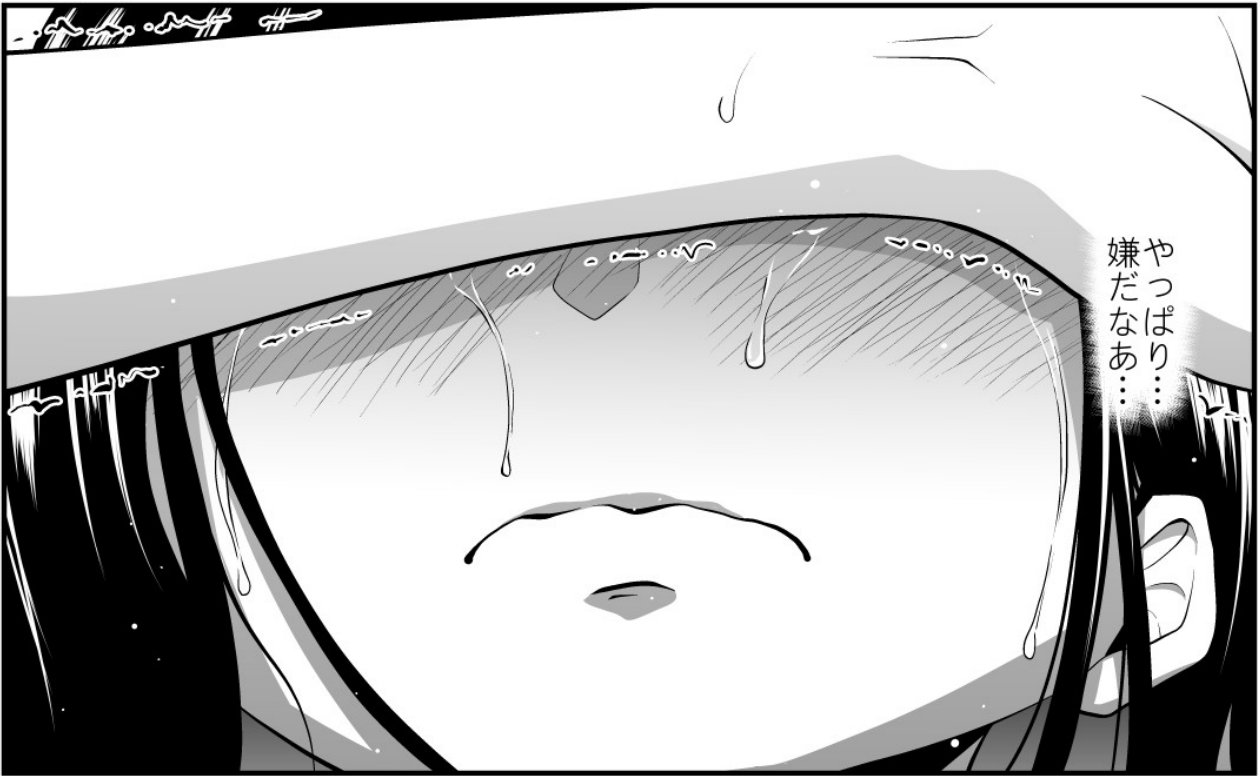


我慢できる

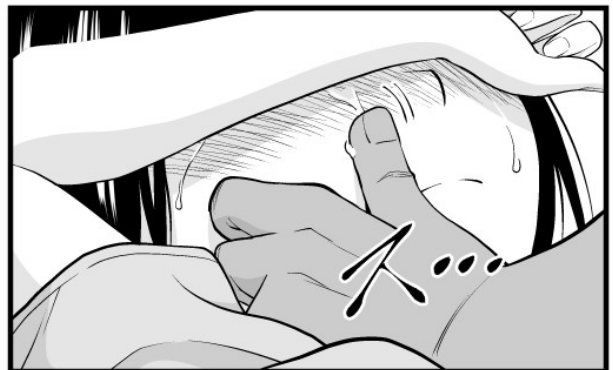
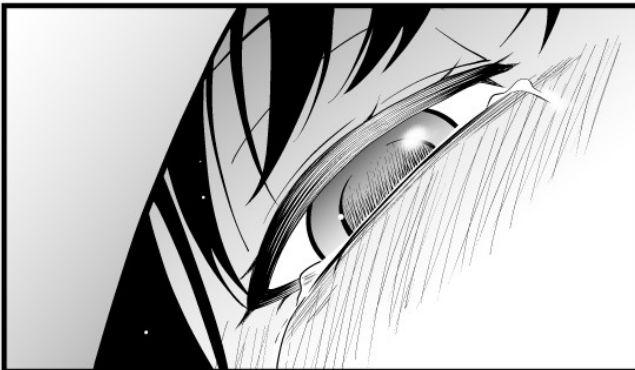
大丈夫

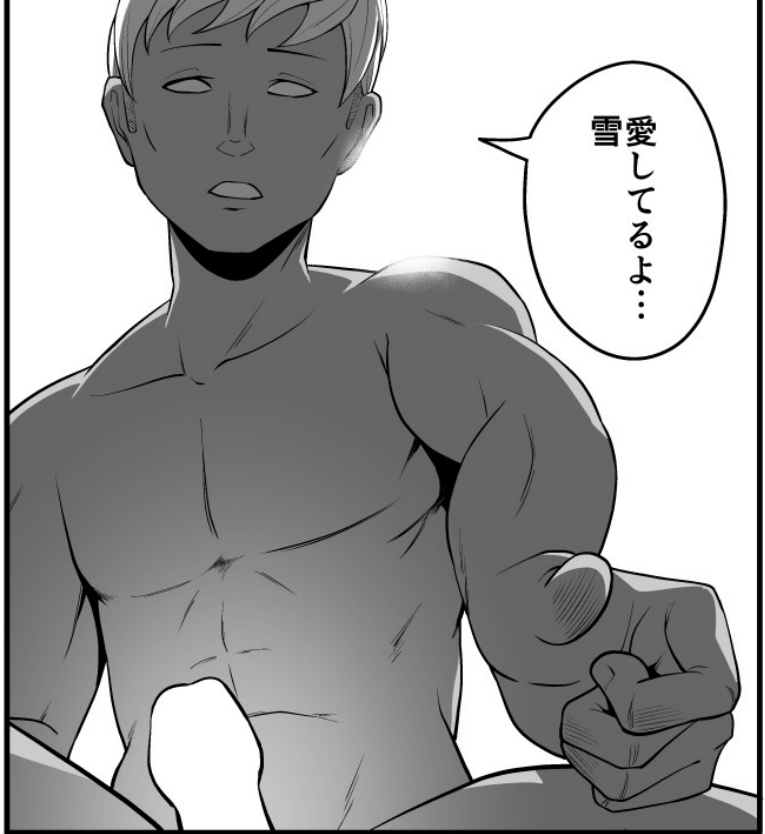


ああ…でも…



やっぱり…
嫌だなあ…

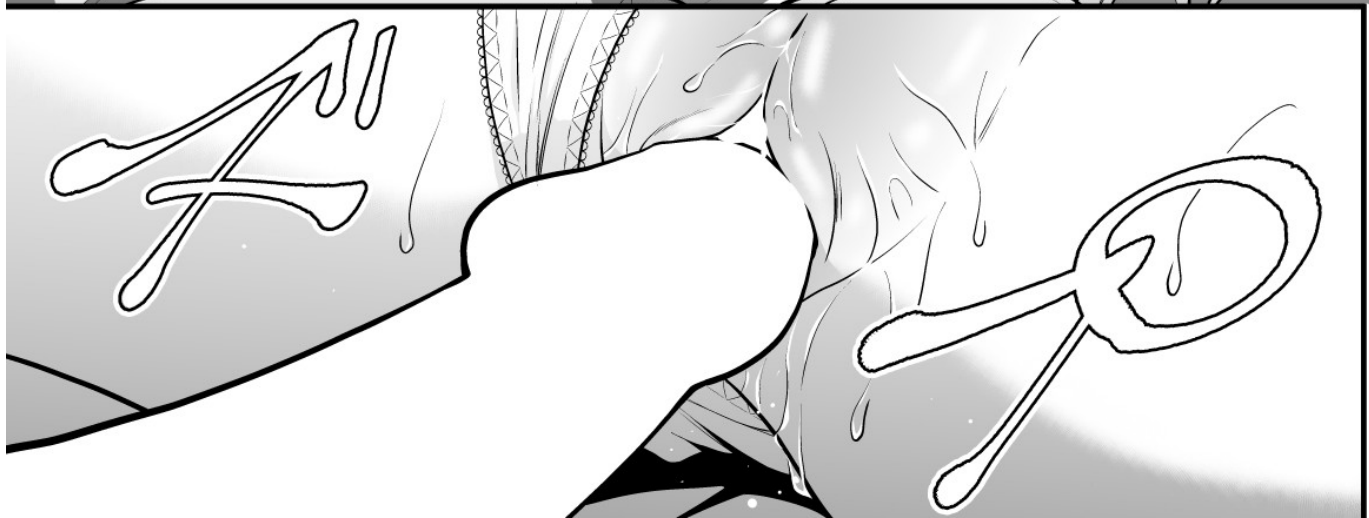




愛してるよ…



……
死ね





痛い…

苦し…

熱い…

太い…

大きい…

お腹の中を…

無理矢理
拵げられてる…っ

あっ

こっ



お
お
まだ
入る
な

雪
あと
少し
だ
頑
張
れ

嘘…
まだ…?

どこ
まで
入
るの…??



はっ

くう

あっ

残
り
は
一
気
に
い
く
ぞ…



…ほら!!

あ
あ
あ…っ!!



さすがに
キツイな…

ふっ…



雪
分かるかい？

んっ

だけど
嬉しいよ



そんな所まで
椿に似てるなんてな

んっ

キュッ

んっ

キュッ

はっ

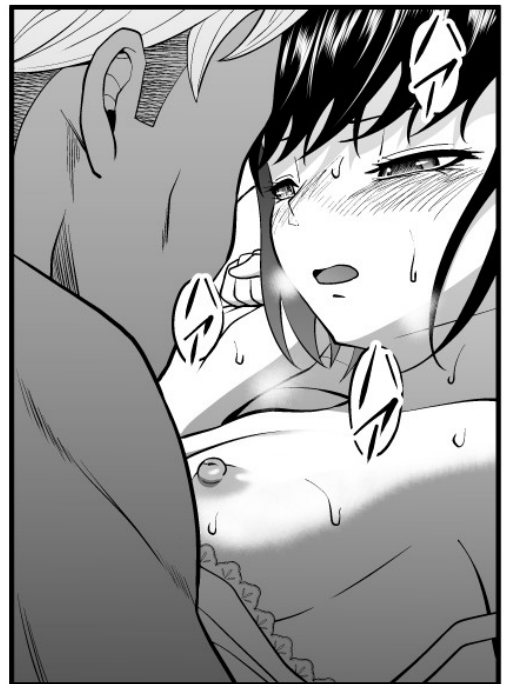
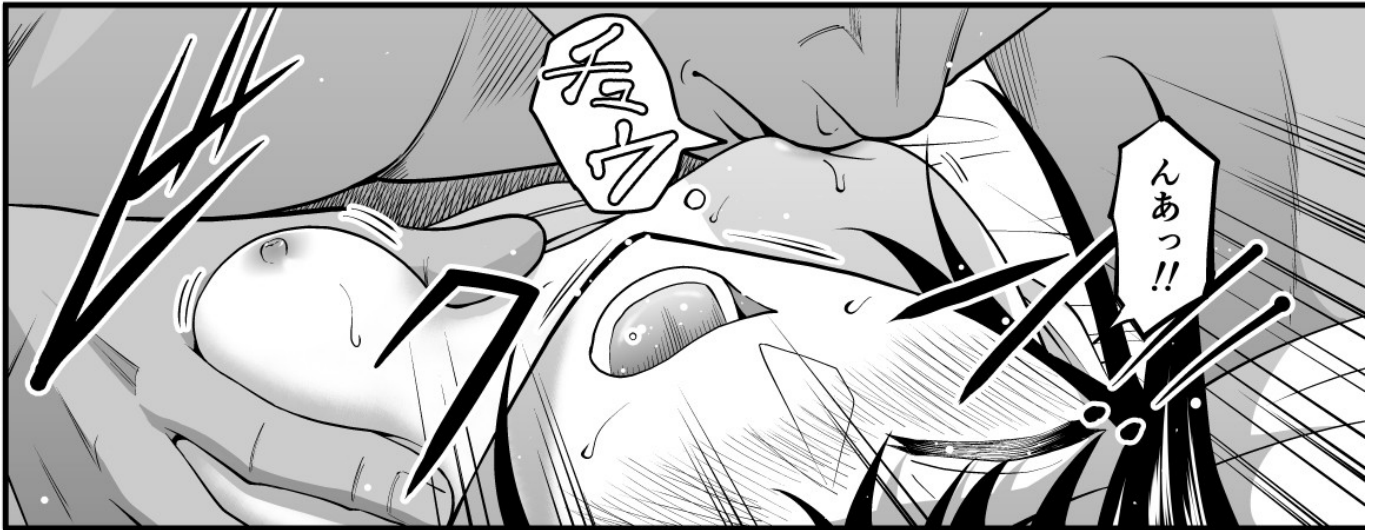
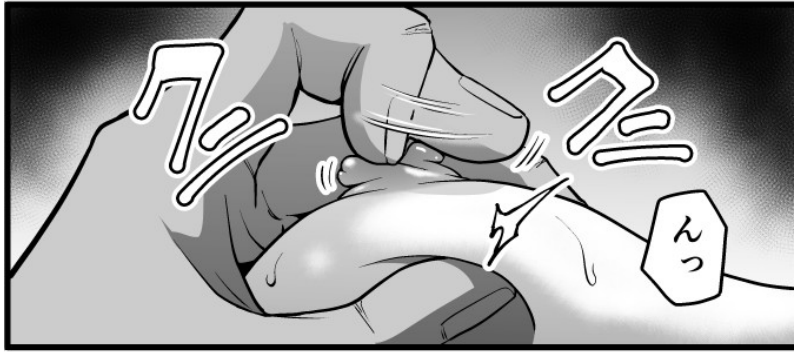
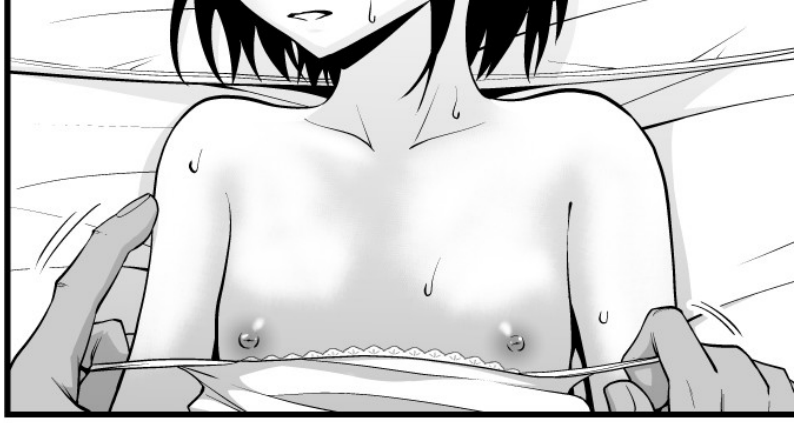


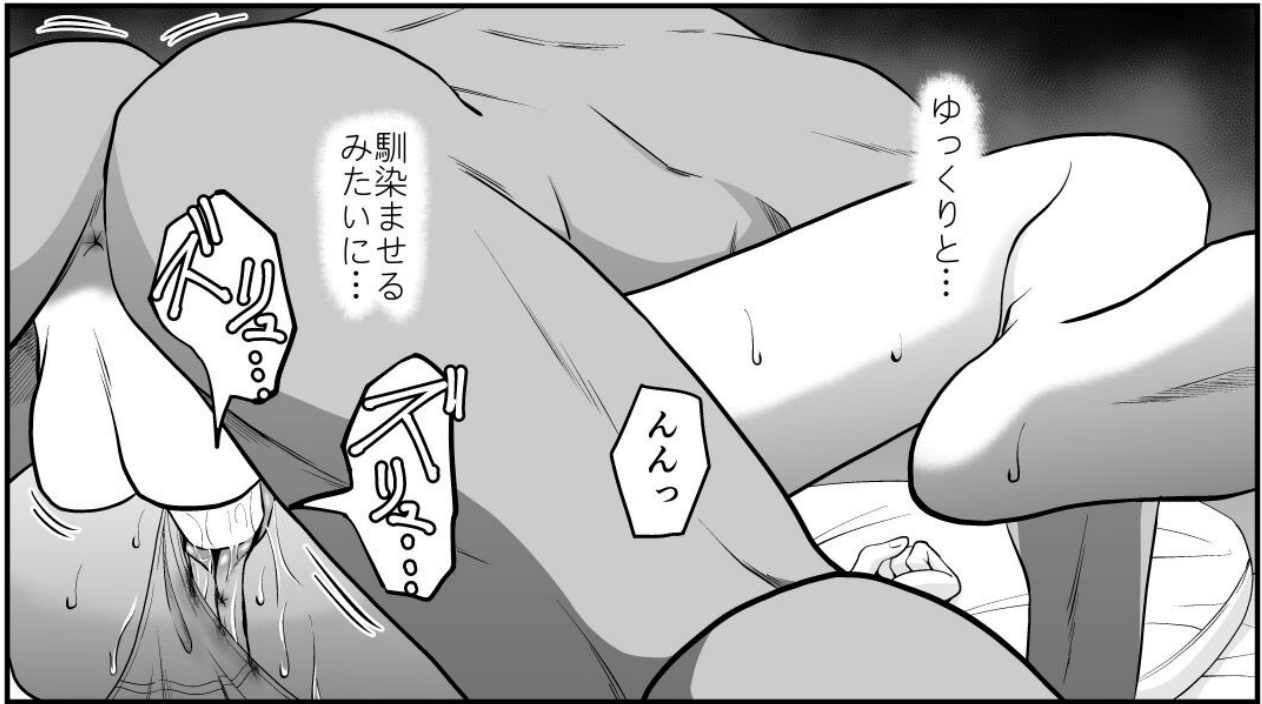
お前は
体が小さい割に
マンユはとても深い

ふっ

キュッ

んっ







おお...

いいぞ雪

あんっ

あっ

ああっ!!

あ



僕のチンポで感じてるんだろ？



普段は何をされてもツンと澄ましてたお前が...

こんなに乱れてるのは凄く興奮する



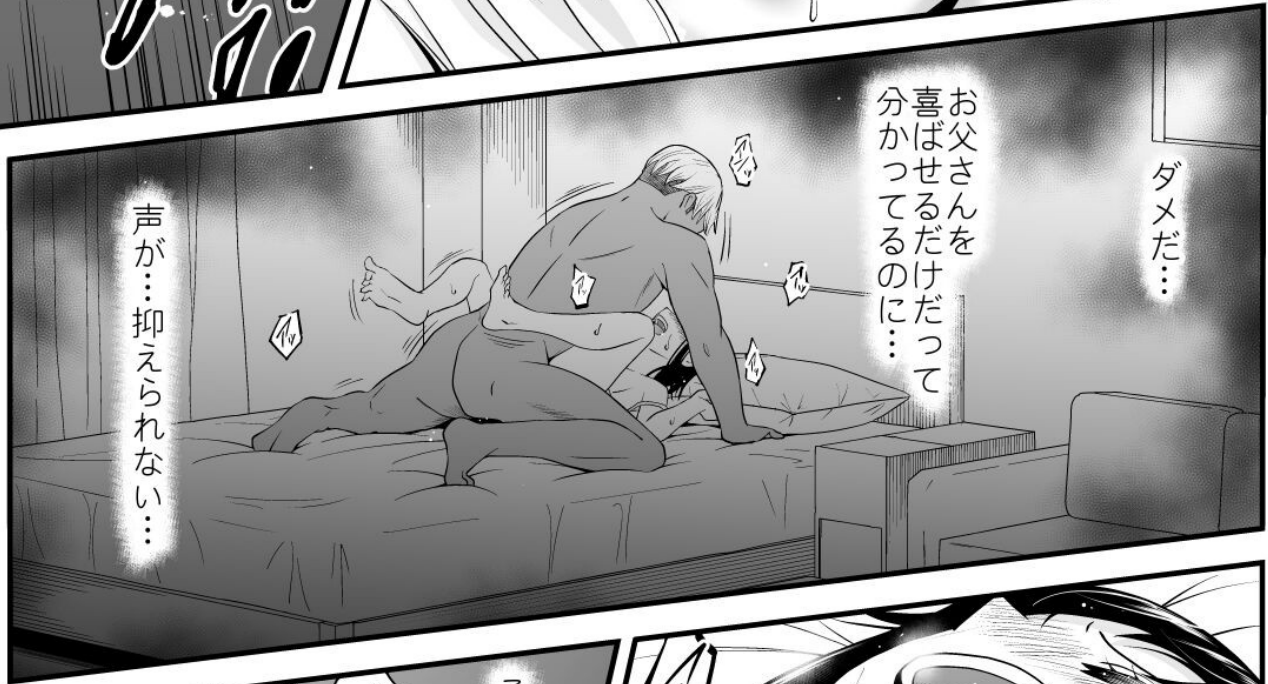
それとも普段からずっと我慢してたのか？



うんっ…んっ…

んあっ!?

黙って…っ



ダメだ…

お父さんを
喜ばせるだけだっ
分かっているのに…

声が…抑えられない…



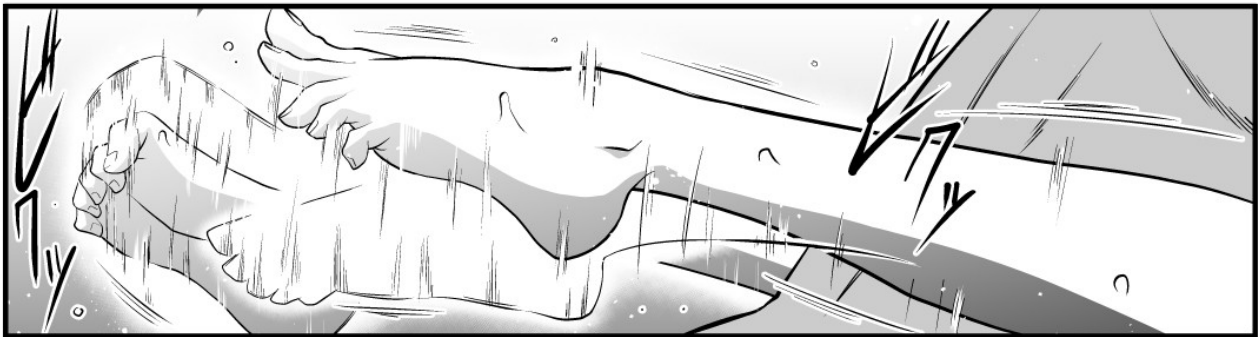
お腹を抉られて
苦しいはずなのに…

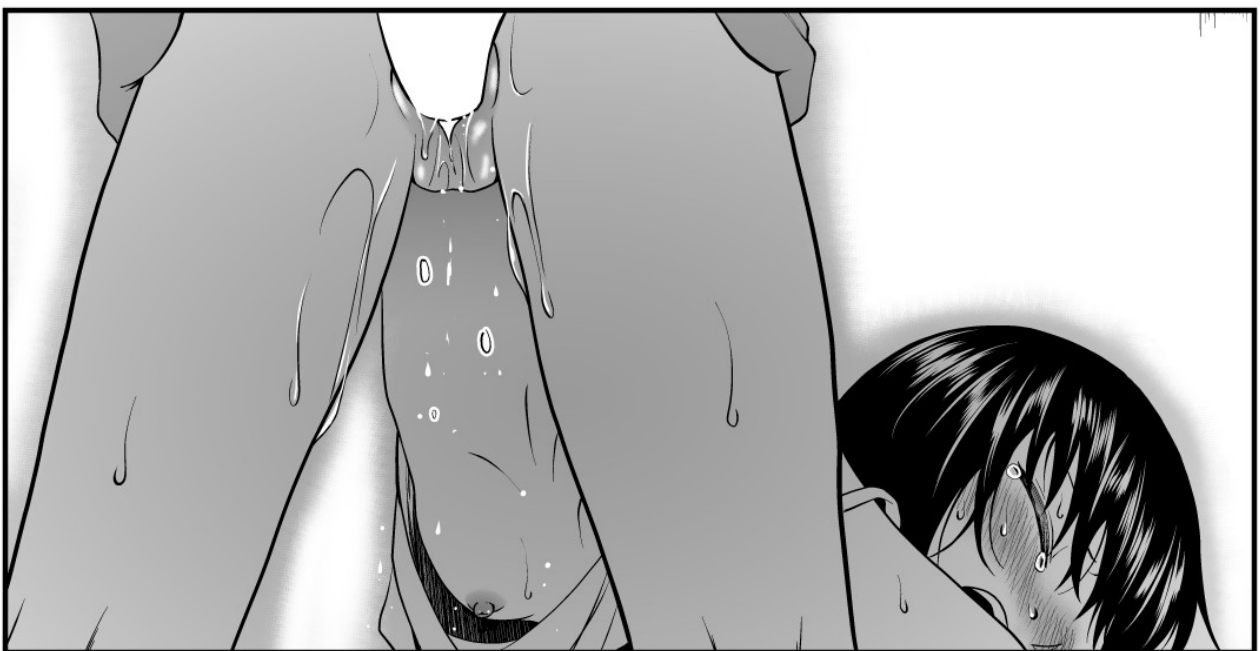
身体が…
頭が痺れる…っ

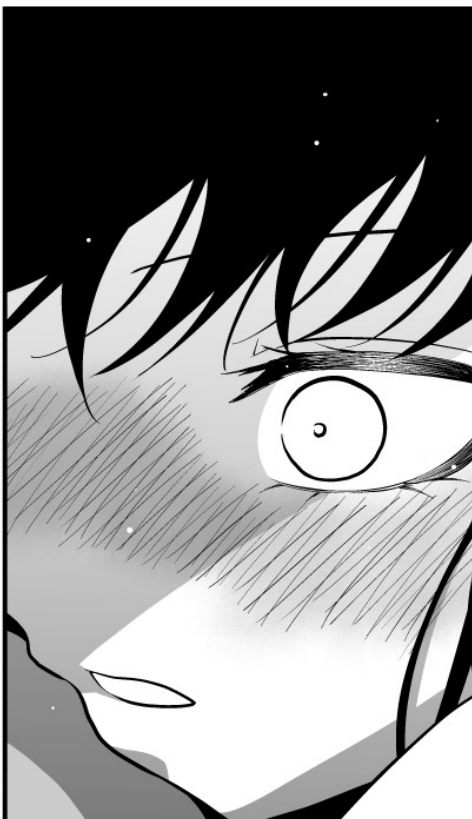
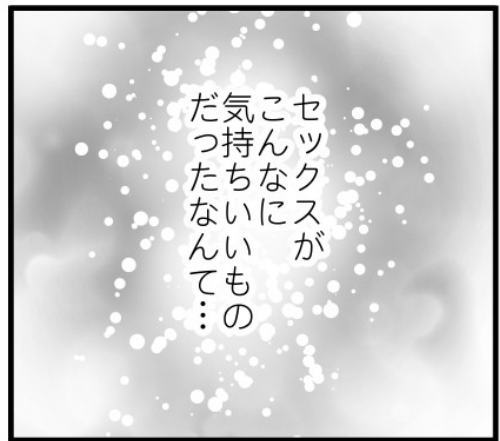
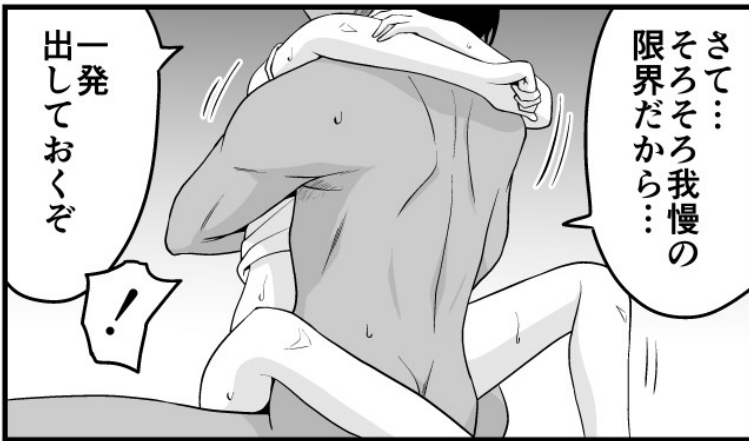
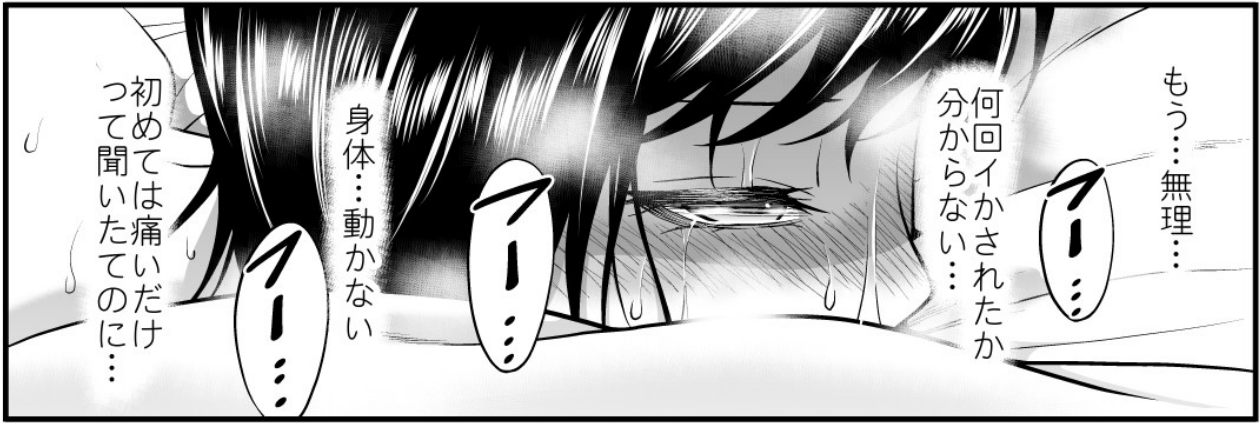
こんなの…

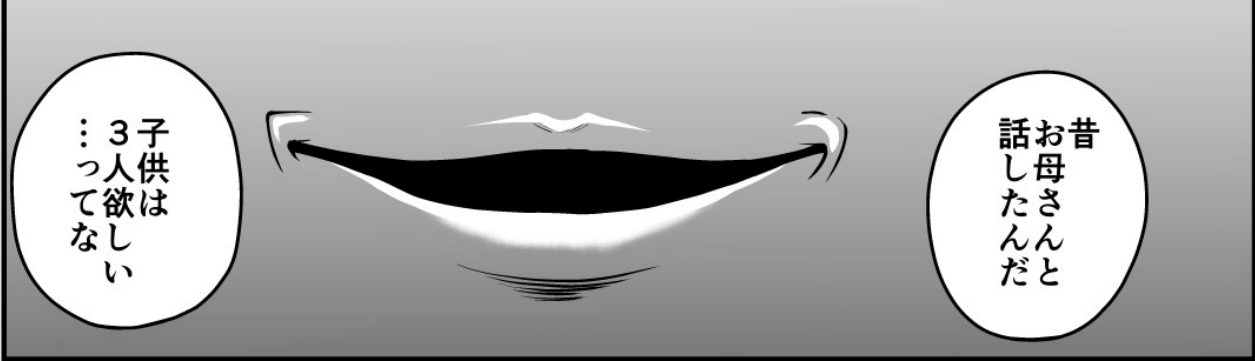
我慢できるわけ
ないっ…!!

ムッ









子供は
3人欲しい
…

昔
お母さんと
話したんだ



僕の子を
産んでくれ
雪

今日
お前を
孕ませる



お、お父…さんっ…
あっ…待ってっ…
止まって…
話を…ああっ



う、嘘よね…
正気…なの？



駄目え……っ

こや……っ

今日……

ほ、本当に……
危ない日なのっ……

お父さん……っ
お願い……!!

アレが……
お風呂場での
アレが私の中に……?

あんな凄いの
出されたら
私……



素直になれよ
雪

雪のマンコは
僕の精子を
欲しがってるぞ?

トロトロに
柔らかくなって
僕のチンポを
美味しそうに
しゃぶってるじゃないか

そ……そんなわけ
……ないっ……あっ

……ダメだ

くやしいけど
お父さんの言う通り

おマンコがキュンキュンと
おチンポを締め上げて
精子を搾り取るうとしてる

出して欲しい……!!

早く……っ

嫌でも分かってしまう……
きつとこれが
子宮が降りてるって感覚……

私の身体が……
お父さんの子を
孕みたがつてる

出して欲しい……!!

口を開けて
ザーメンが注がれるのを
待ち構えてるのが分かる……

中出し
して欲しいって
言ってる

でも……

それだけは嫌だ!!



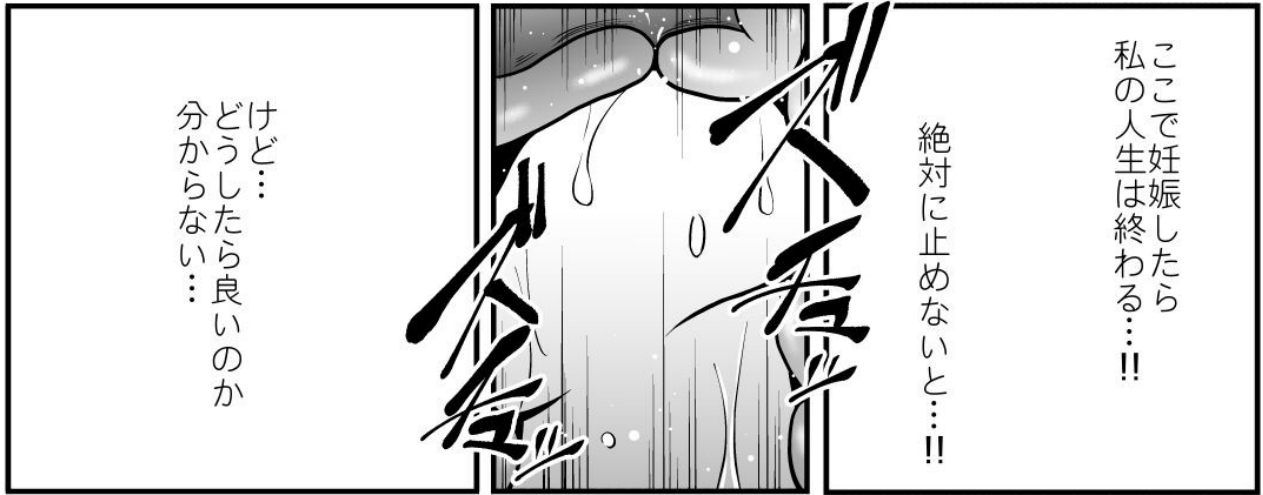
嫌だ!!

嫌だ!!

嫌だ!!

中出し...
して欲しいけど...

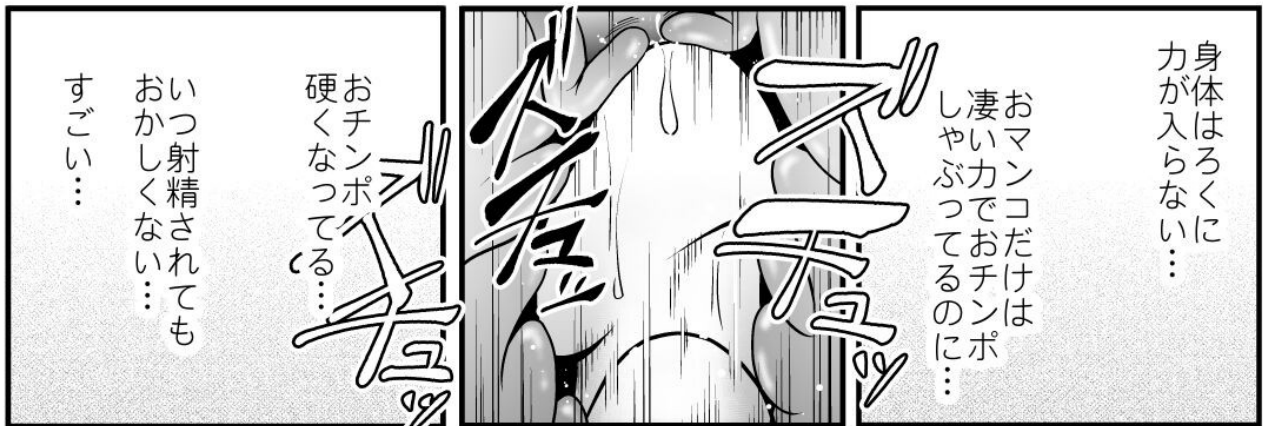
それだけは駄目...!!



ここで妊娠したら
私の人生は終わる...!!

絶対に止めないと...!!

けど...
どうしたら良いのか
分からない...



身体はろくに
力が入らない...

おマンコだけは
凄い力でおチンポ
しゃぶってるのに...

おチンポ
硬くなってる...

いつ射精されても
おかしくない...
すいこ...



おチンポすごい...!!
射精されたら
きつと
すぐく気持ちいい...

ダメだ...!!
さつきからおチンポの事しか
考えられない...



お願...い...

お、お願い...
お父さん...

おチンポ...

止ま...って!!

止ま...ってえ!!

あっ

出る...!!

出される...!!

雪イ!!

出すぞお!!

ハハハ



出された…!!

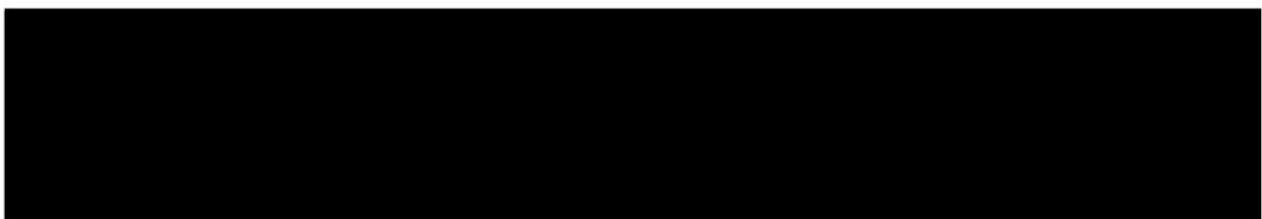
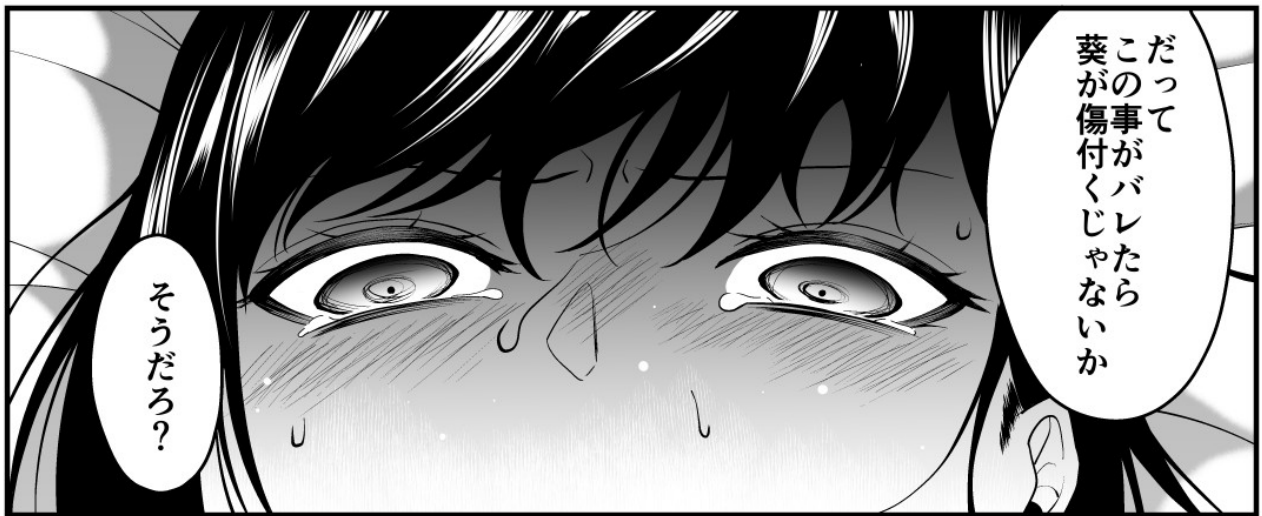
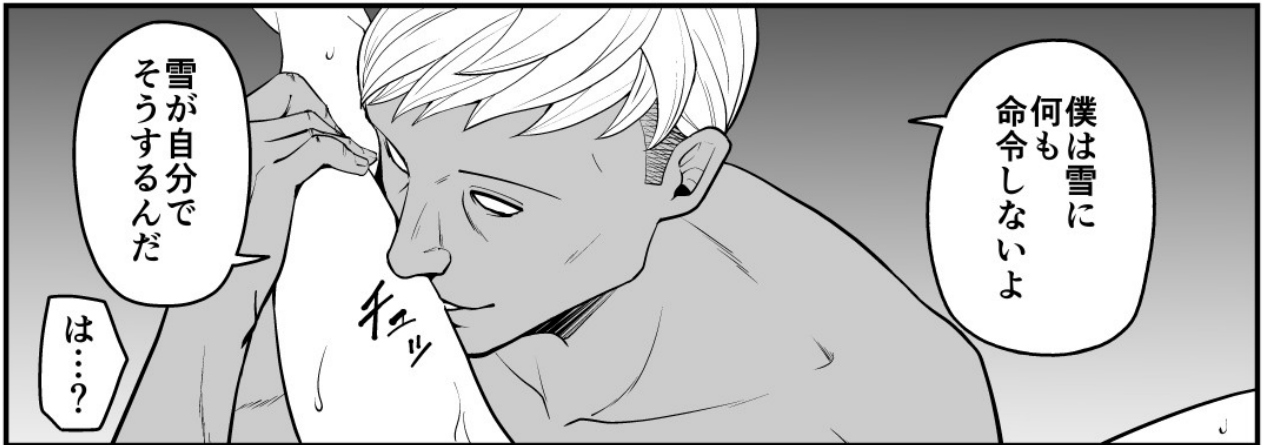
ダされた…

あ…頭…真っ白に……

イ……ク……

キモチ……イ……イ……

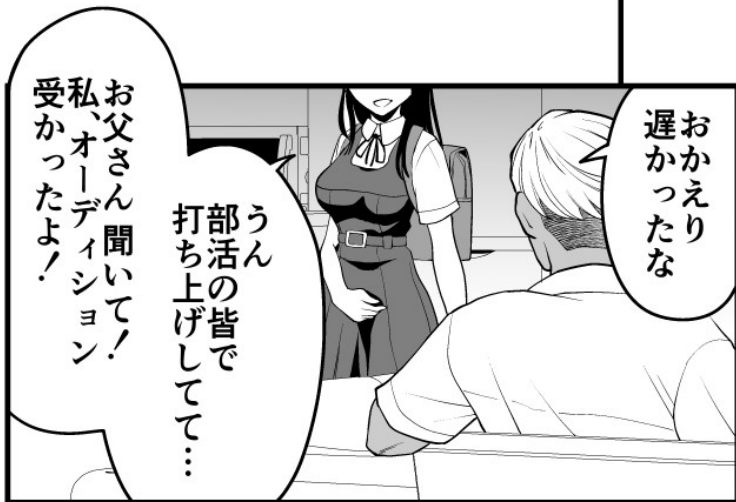






そうか
頑張ったな

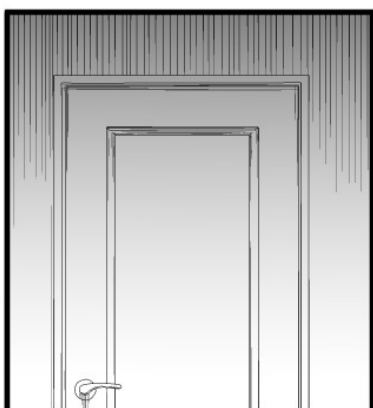
あれ?
お姉ちゃんは…?



おかえり
遅かったな

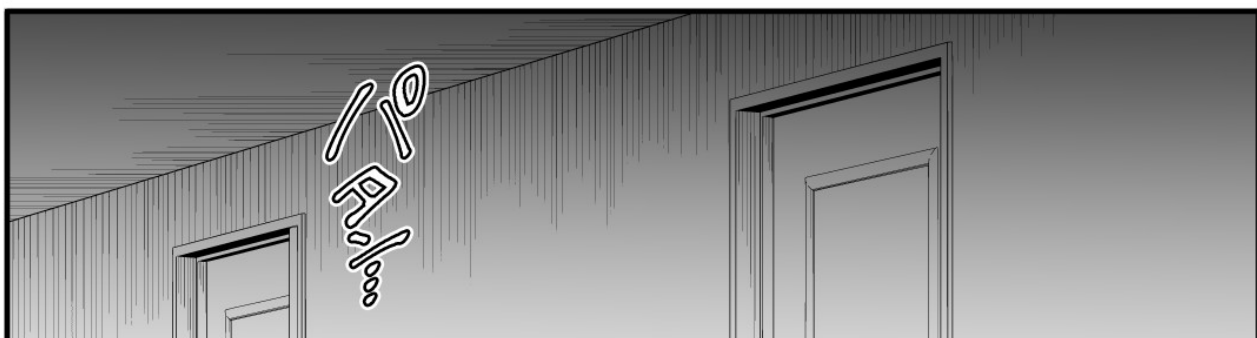
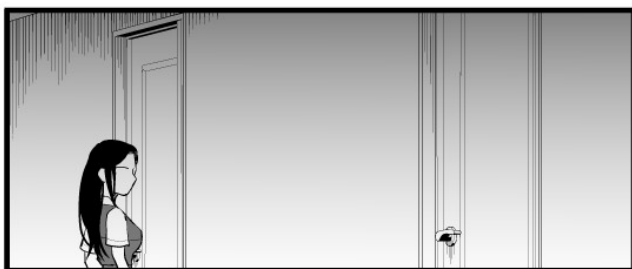
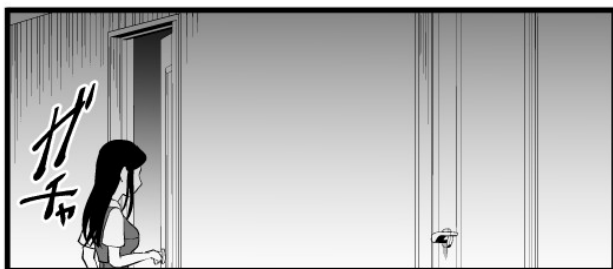
うん
部活の皆で
打ち上げしてて…

お父さん聞いて!
私、オーディション
受かったよ!



雪なら
今日は
疲れたからって
もう寝たよ

そう…



その日から

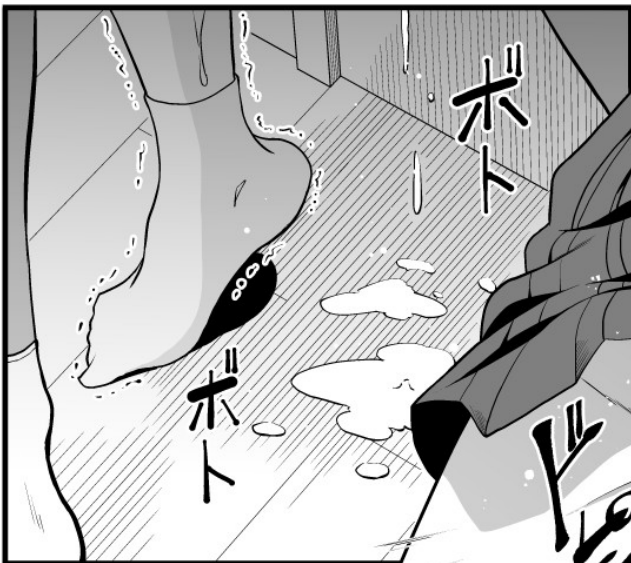
私は
毎日犯された

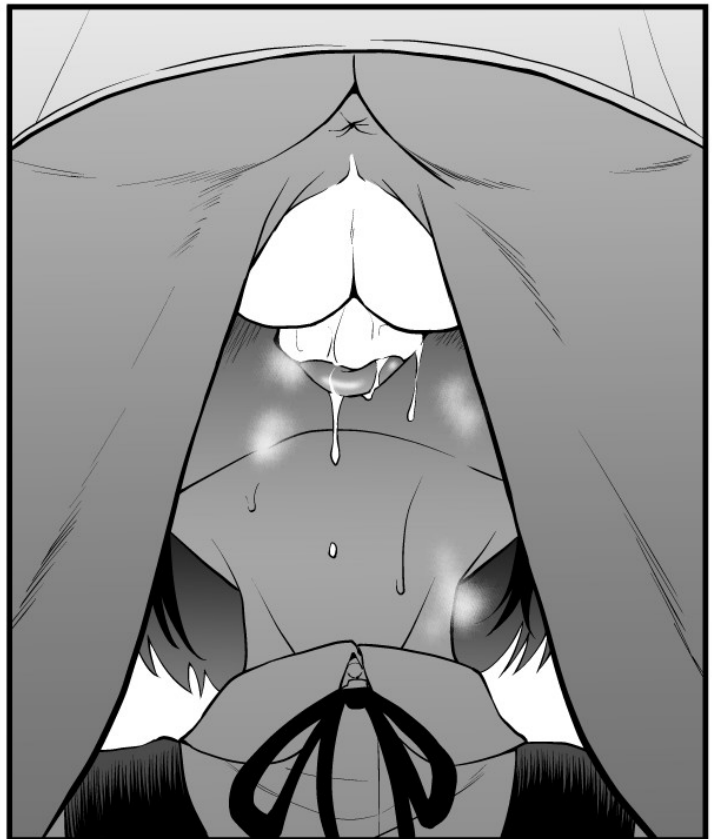
葵が家に
いない時間であれば

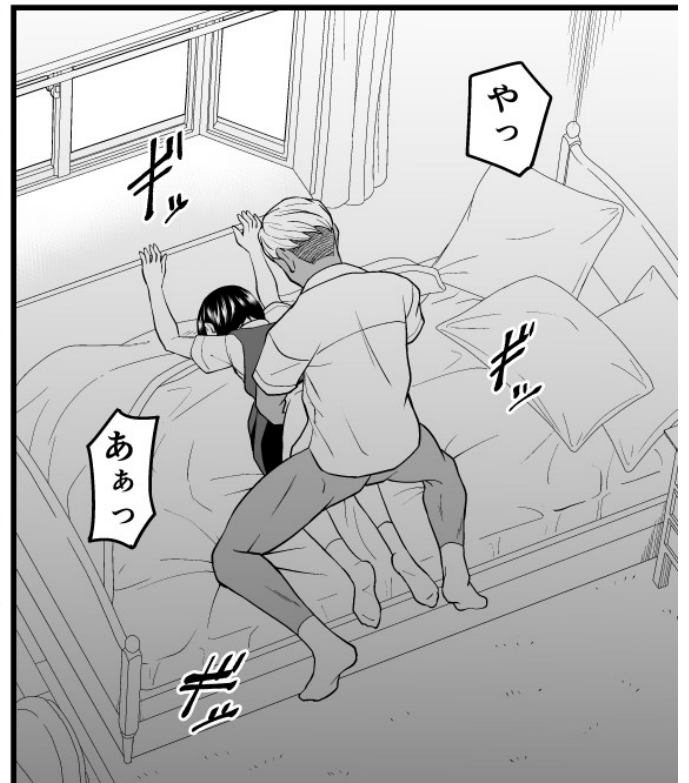
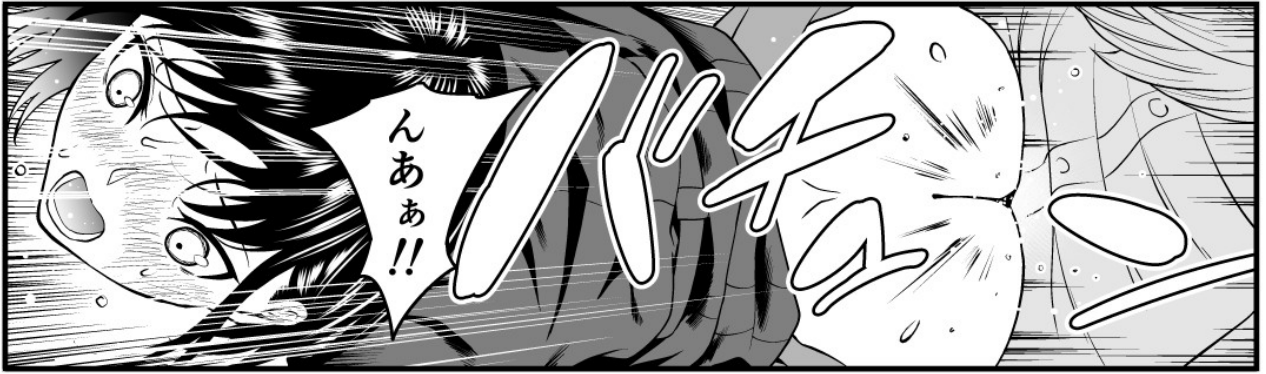
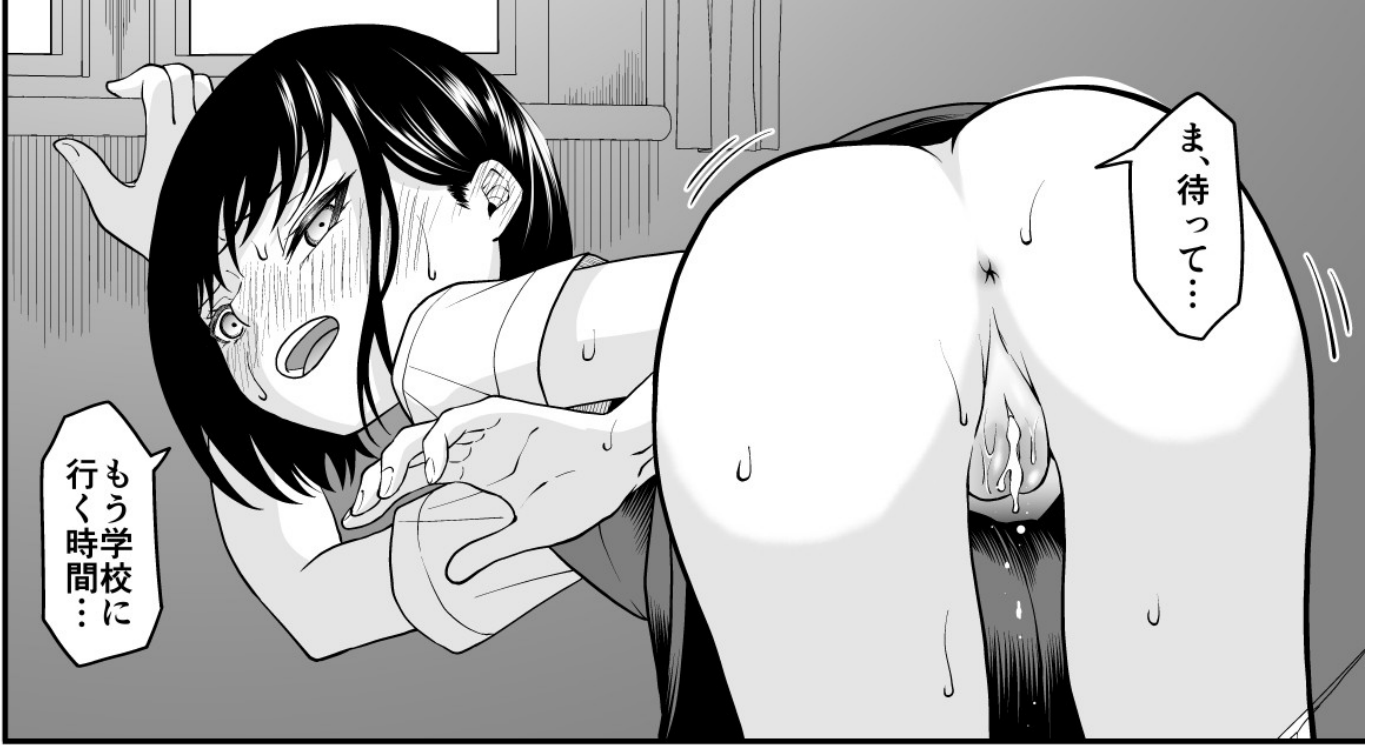
朝も夜も

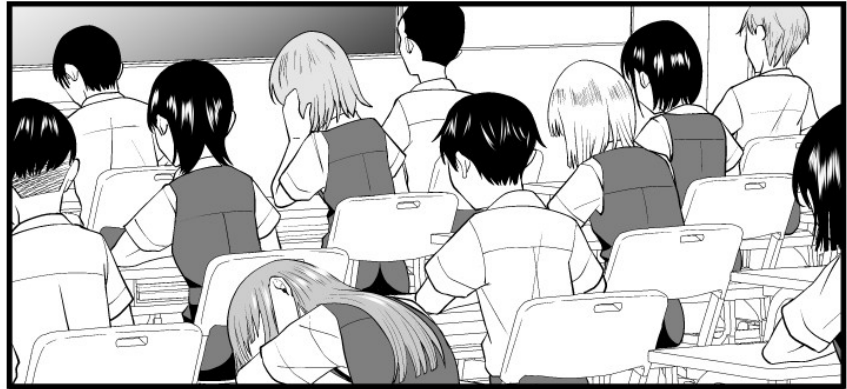
何度も何度も

精液をお腹に
流し込まれたに









アフターピルを
処方してくれる
病院を探した



お父さんに
初めて犯された
翌日

避妊効果が
表れるまで数日

どうにか
低用量ピルは
手に入れたけど

その数日間にか
その数日間にか
分からなかった

けど
諸々を含めて
高額な費用
保護者の同意

いずれかが
障害になり
諦めるしかなか
った

毎日が不安で
たまらないけど…



葵の前では必死で
『お父さんと仲直りした私』
を取り繕った



…上手く出来たか
どうかは分からない



もし
まだ妊娠していない
のなら…



そろそろ
生理がくるはず

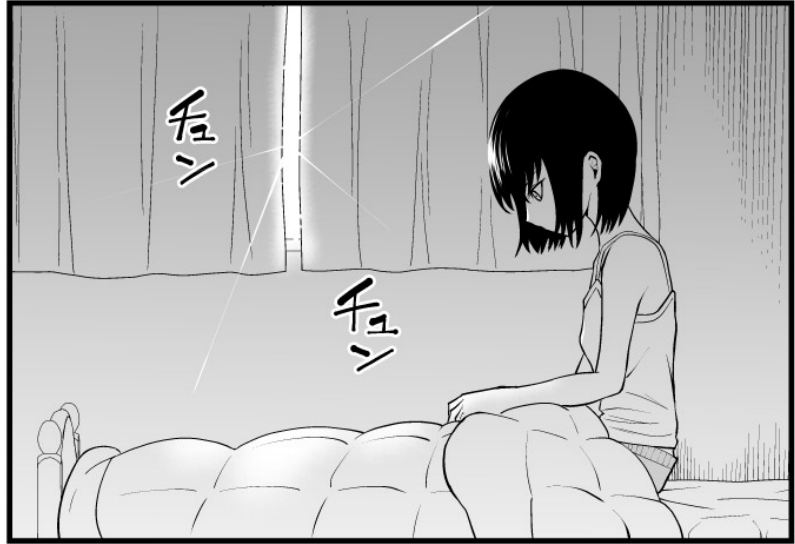
……大丈夫

いくら危険日でも
たった数日で
妊娠する
可能性は低い

だから生理も
きつとくる

——くさくさ





その日
生理がきた事を
お父さんに
伝えたけれど

残念がる
様子もなく
いっつも
犯された
様に



妊娠の心配が無くなった
安心感からか

その日のセックスは
今までで一番
気持ち良かった

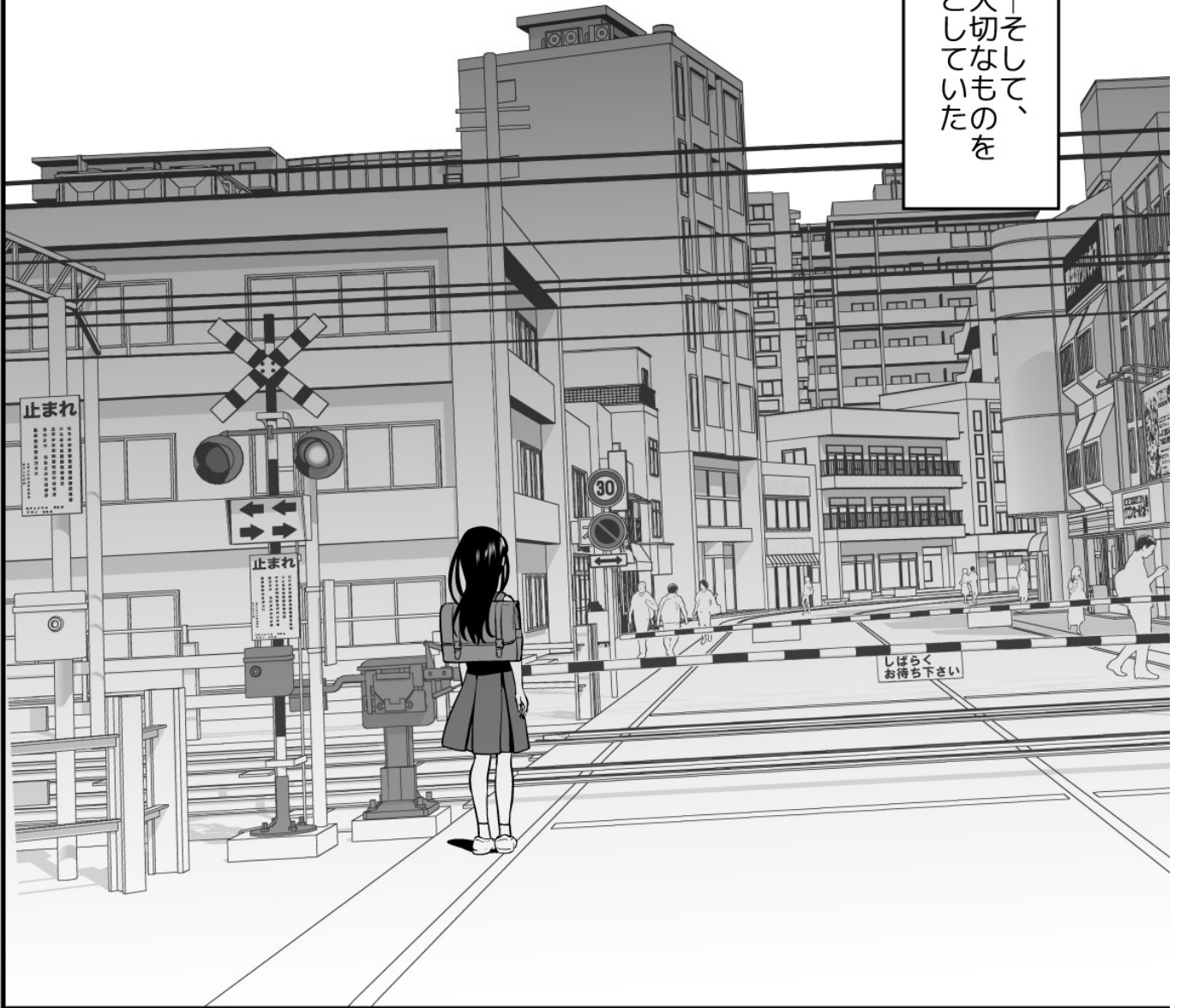


問題が解決は
ないけれど

最大の
懸念は
乗り越えた

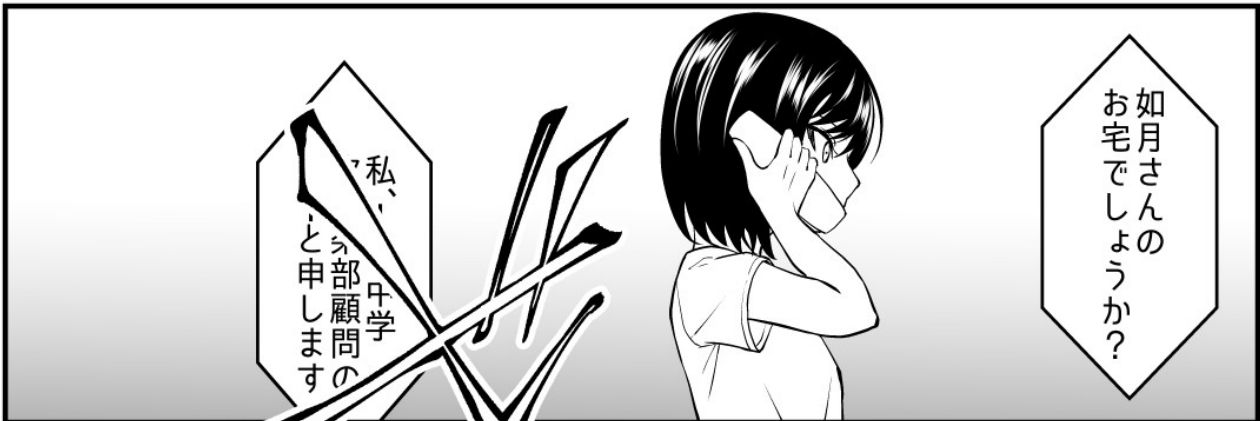
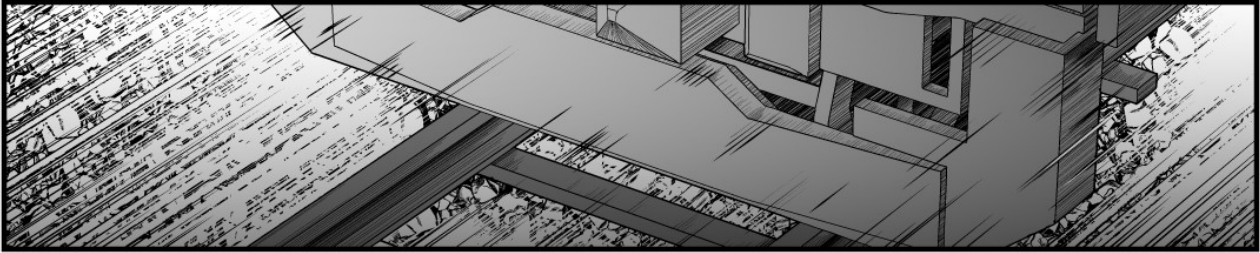
これから
何とかなる
気がした

—そして、
一番大切なものを
見落としていた



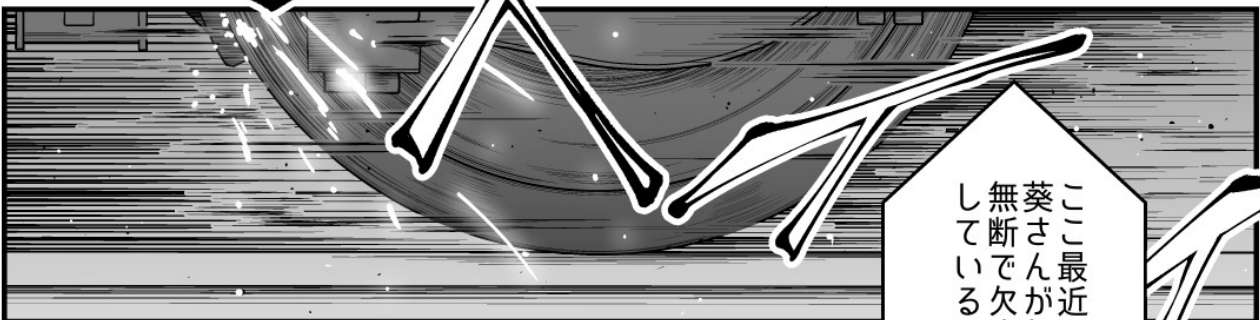


家の電話が
鳴るなんて珍しい…

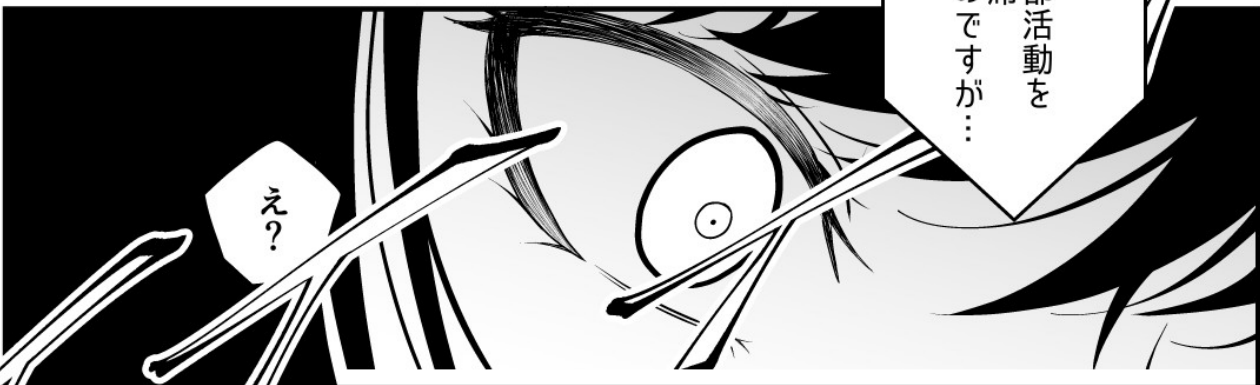


如月さんの
お宅でしょうか？

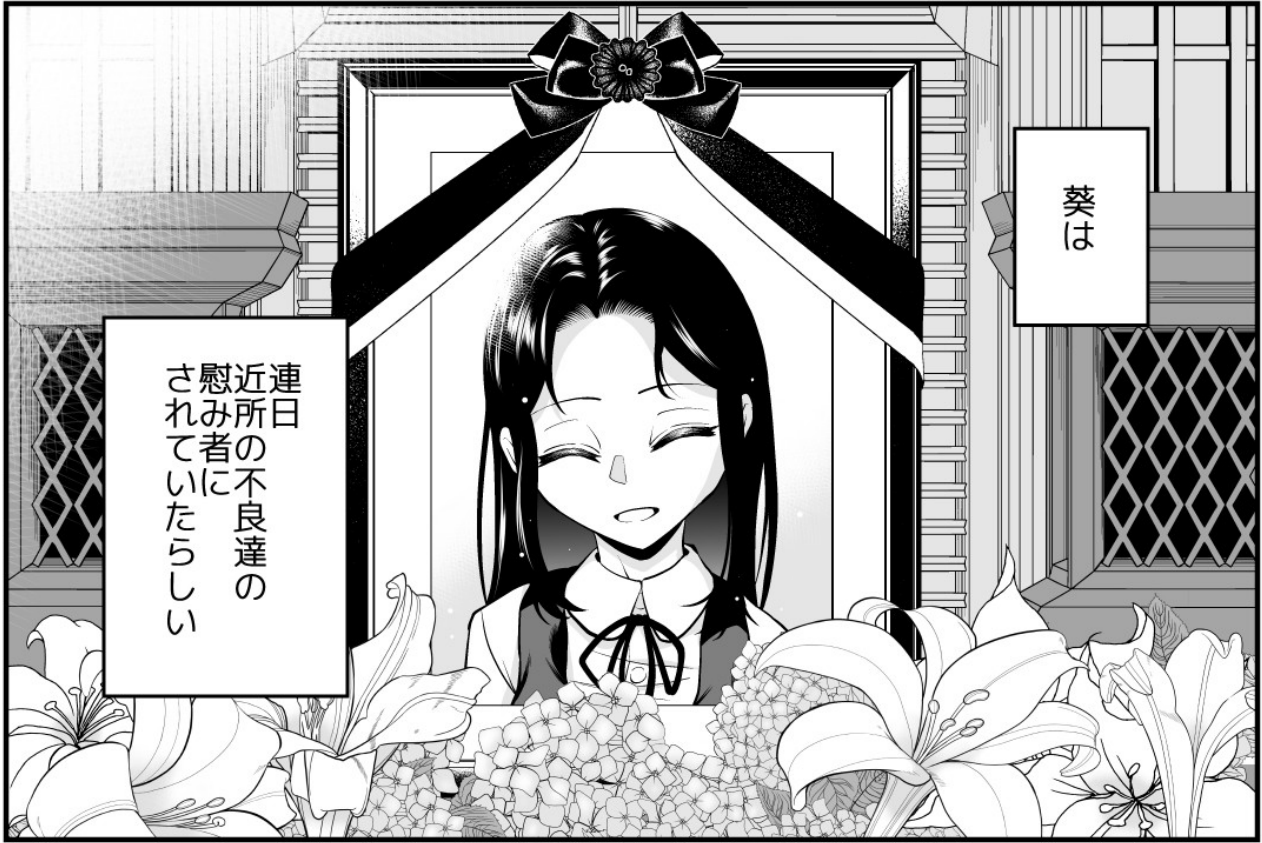
私、
中学
部顧問の
と申します



ここ最近
葵さんが部活動を
無断で欠席
しているのですが…

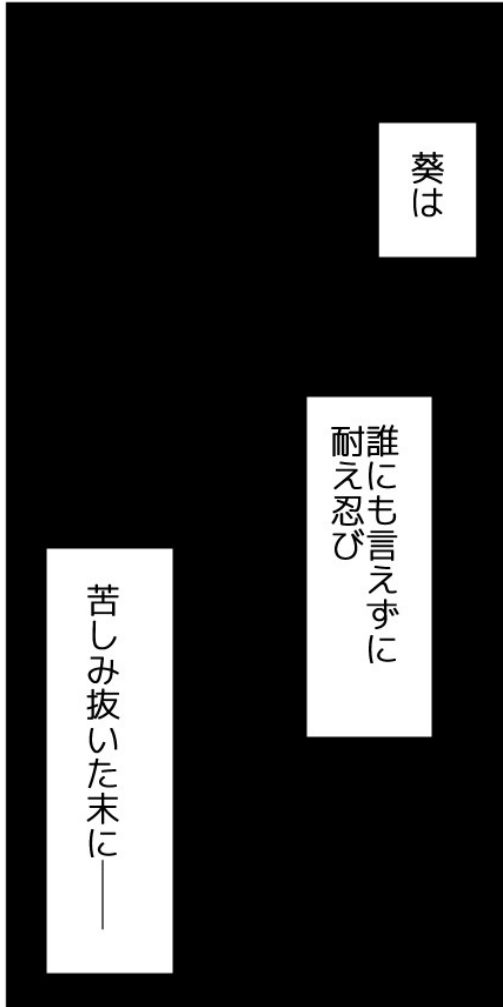


え？



葵は

連日
近所の不良達の
慰み者に
されていたらしい



葵は

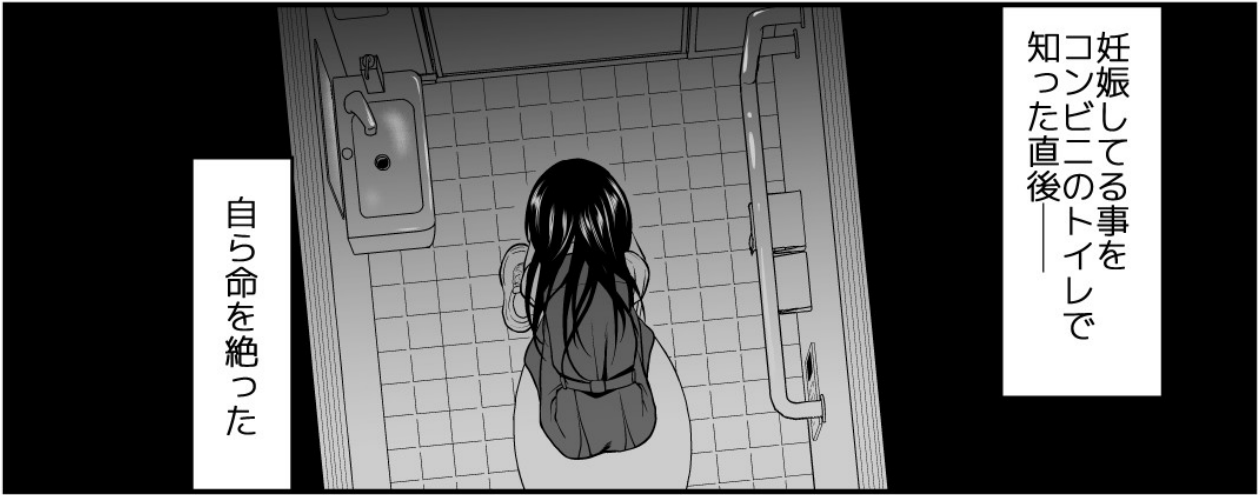
誰にも言えずに
耐え忍び

苦しみ抜いた末に——



逮捕された
男達の中には

佐藤という
名前も含まれていた



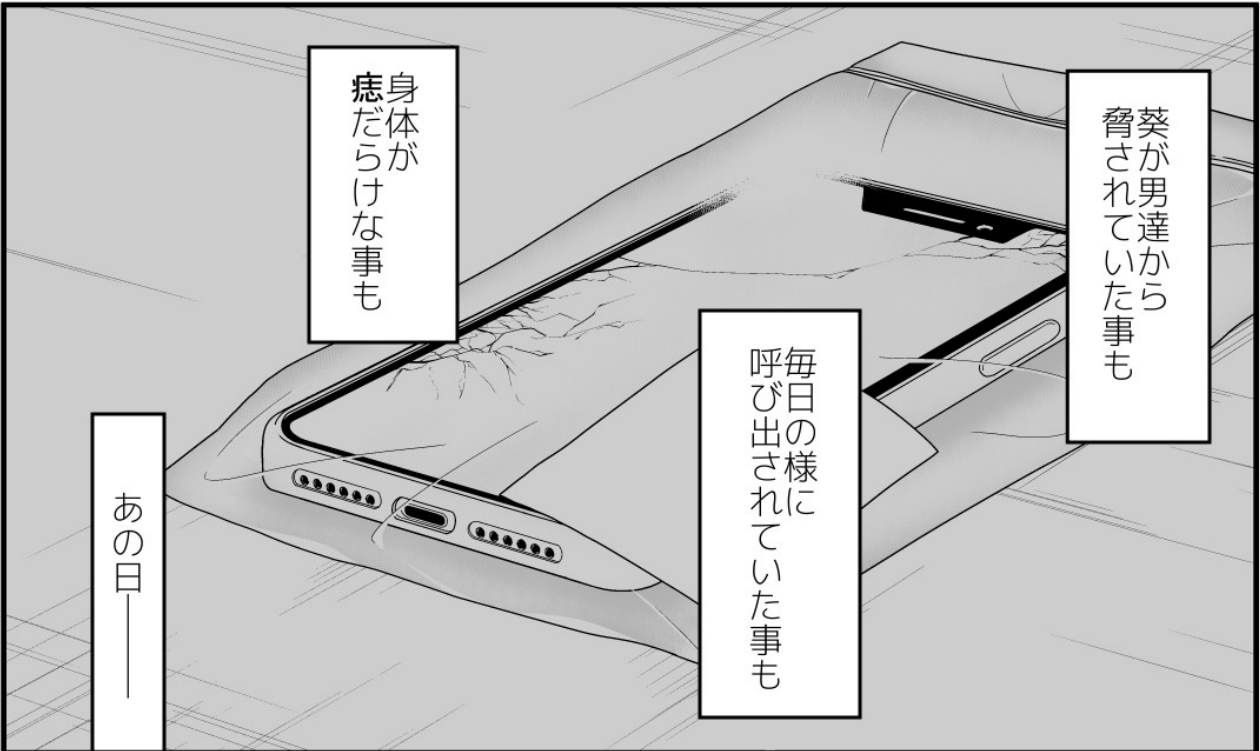
妊娠してる事を
コンビニのトイレで
知った直後——

自ら命を絶った



私は

何も
気付けなかった



葵が男達から
脅されていた事も

毎日の様に
呼び出されていた事も

身体が
痣だらけな事も

あの口——

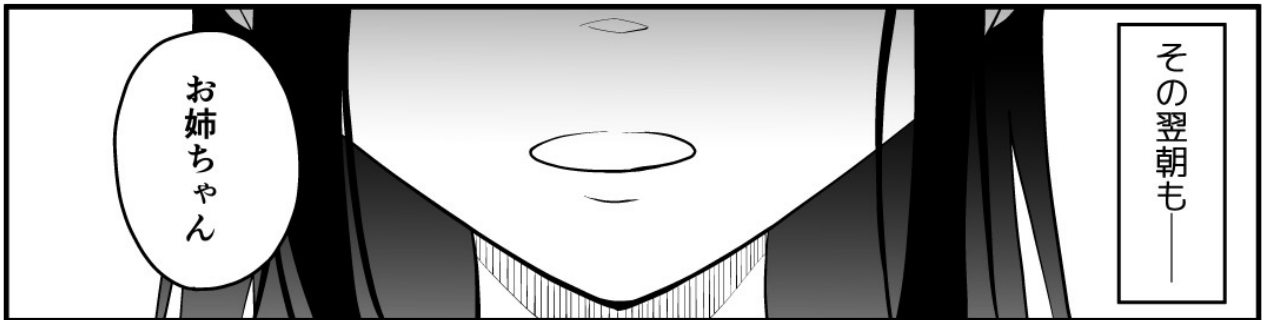


葵が部活の帰り道に
車に押し込まれ

輪姦されていた事も



私が初めて
お父さんに犯されて
ベッドで喘いでいた頃



お姉ちゃん

その翌朝も



葵の顔も
まともに見てなかった：

あの時の私には
急いで病院に向かう
急いで病にか頭になくて



ゴメン、今ちょっと
急いでるの

朝ごはんは
用意してあるから



あの日：
葵と一緒に
病院に連れて
行けてたら…

いえ
その後だって…



どうして
私は何も
気付けな
かったの…？



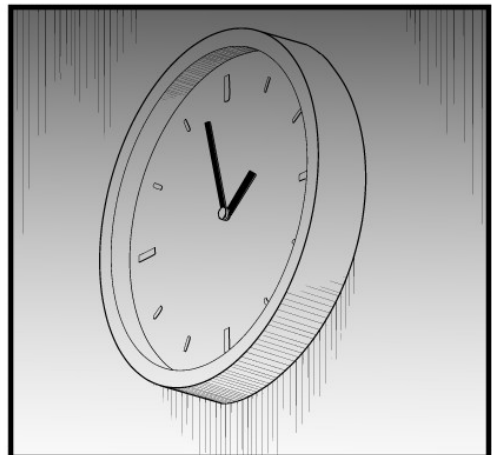
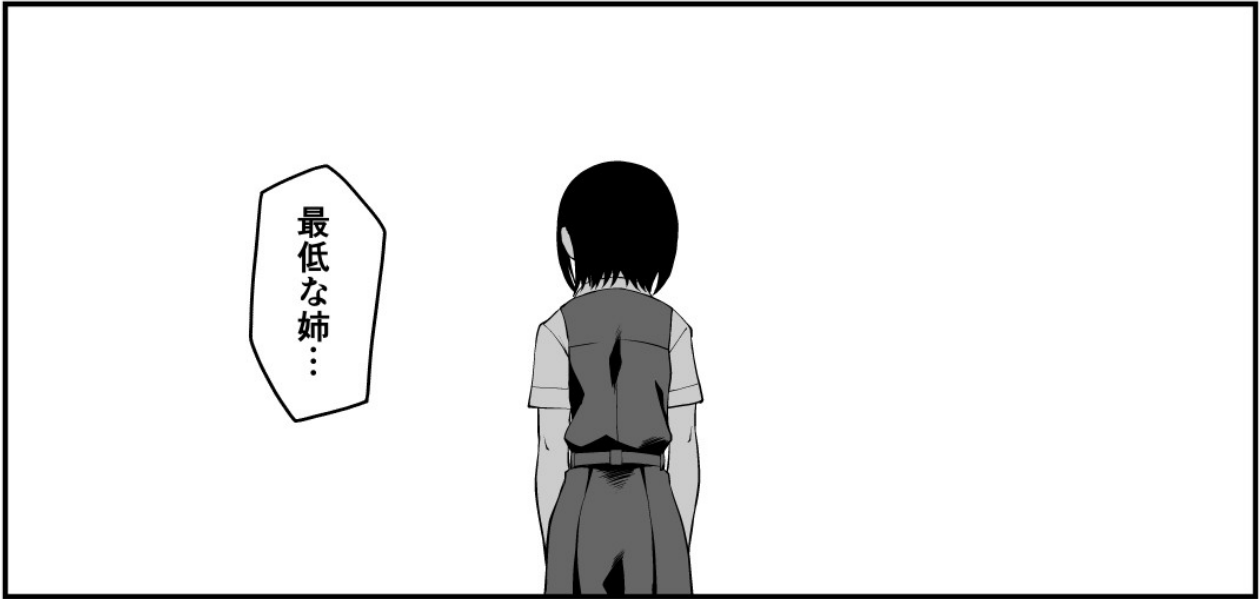
機会は
あつたは
いずらで
も…

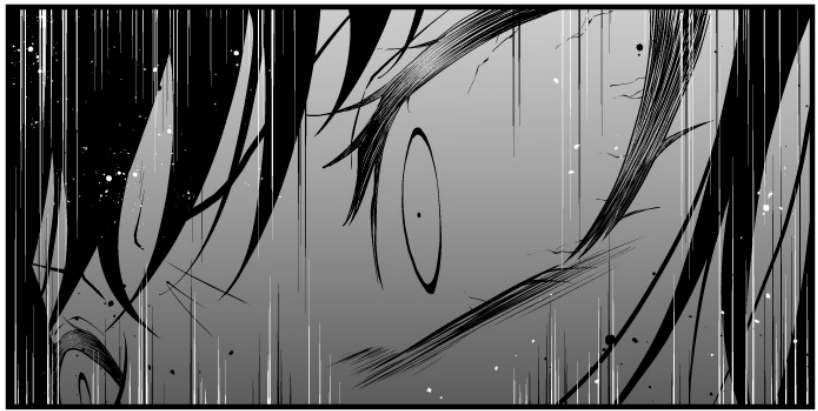
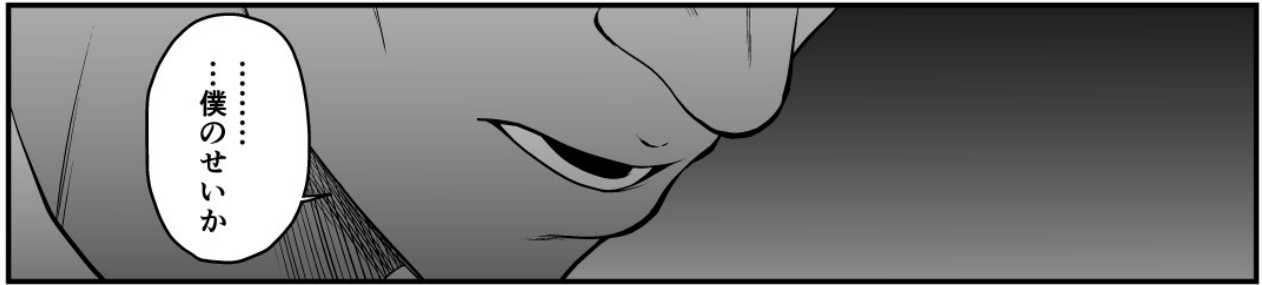
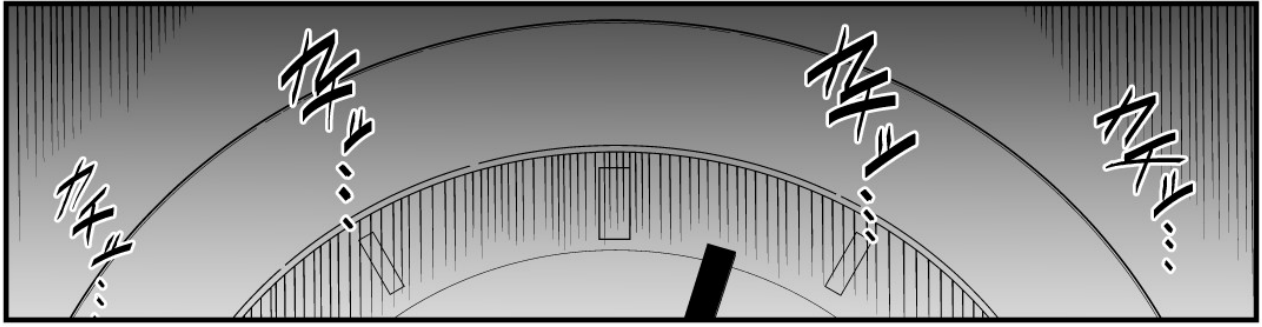


どうして…



あの頃の
私は…





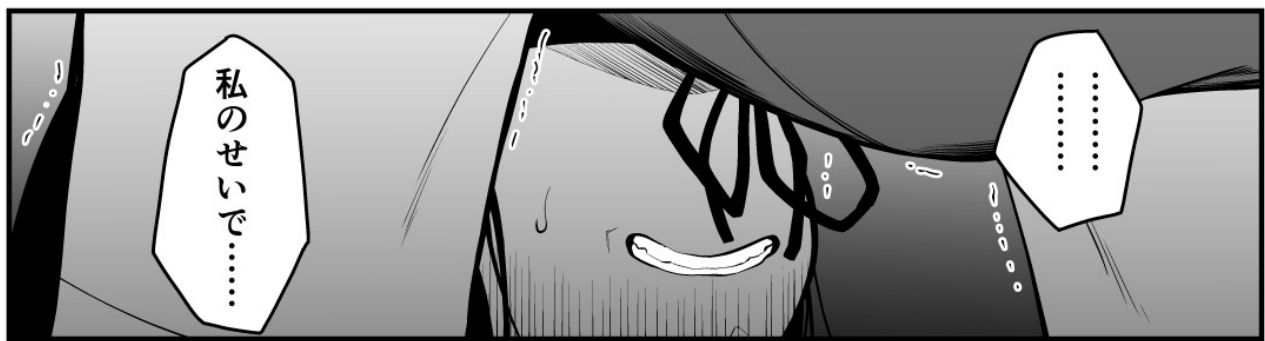




私さえ……

ぐ……

私が……

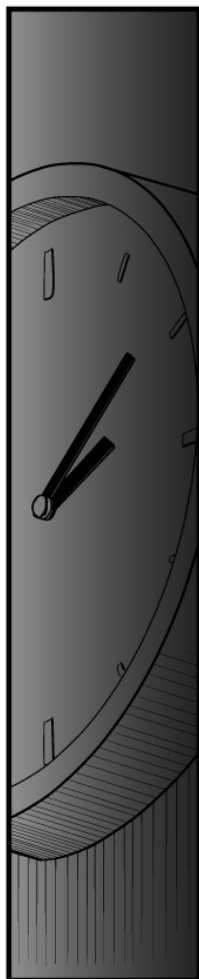


私のせい……

……



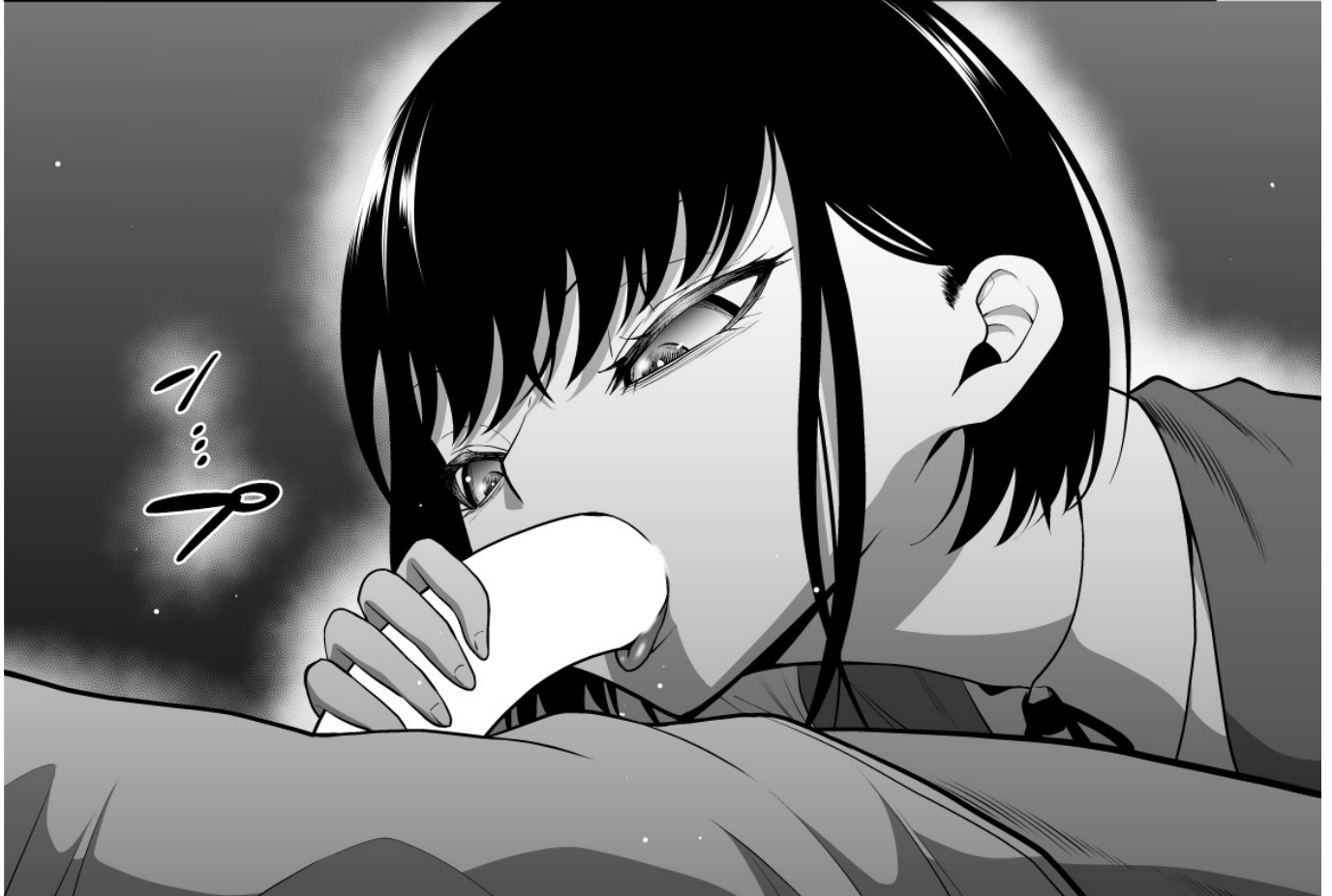
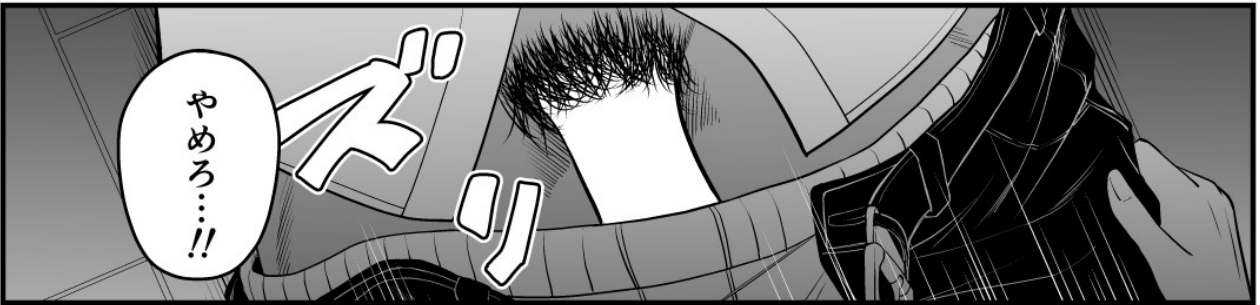
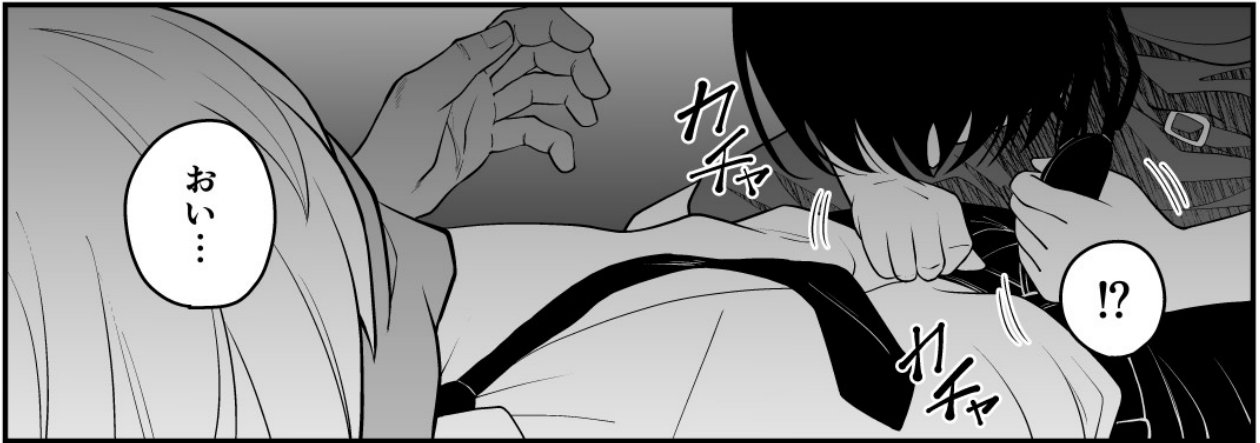
アス……

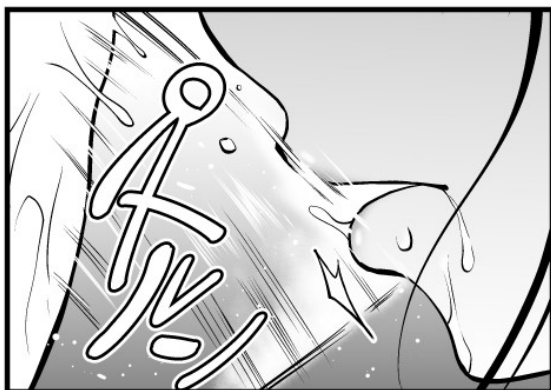
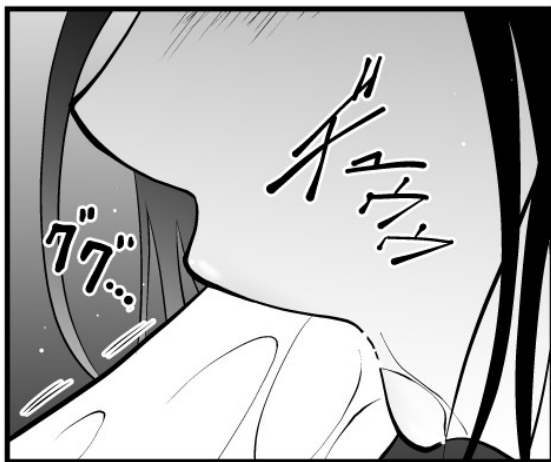
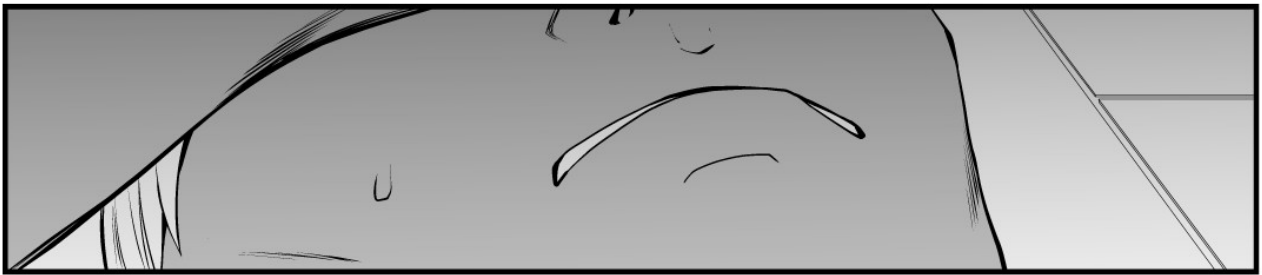


ううう
うっく……

うあぁっ

ああああ!!





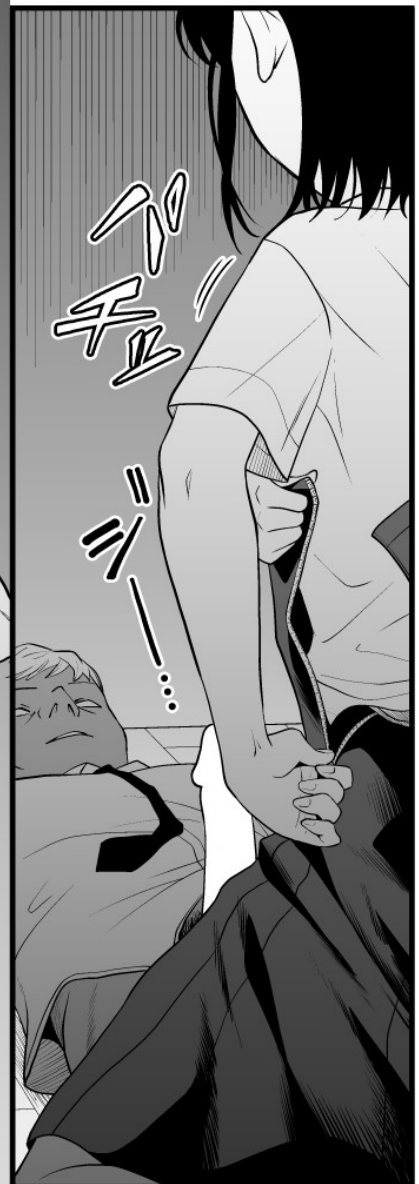


嘘つき...



抱いて...

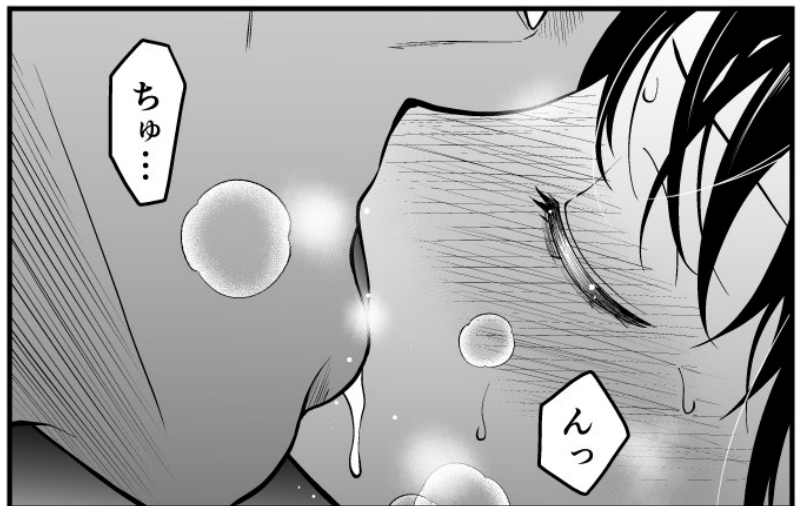
フアサ...



パ
チ
ン

グ
ー...







感じちゃ駄目…

気持ちよく
なつてはいけない…って

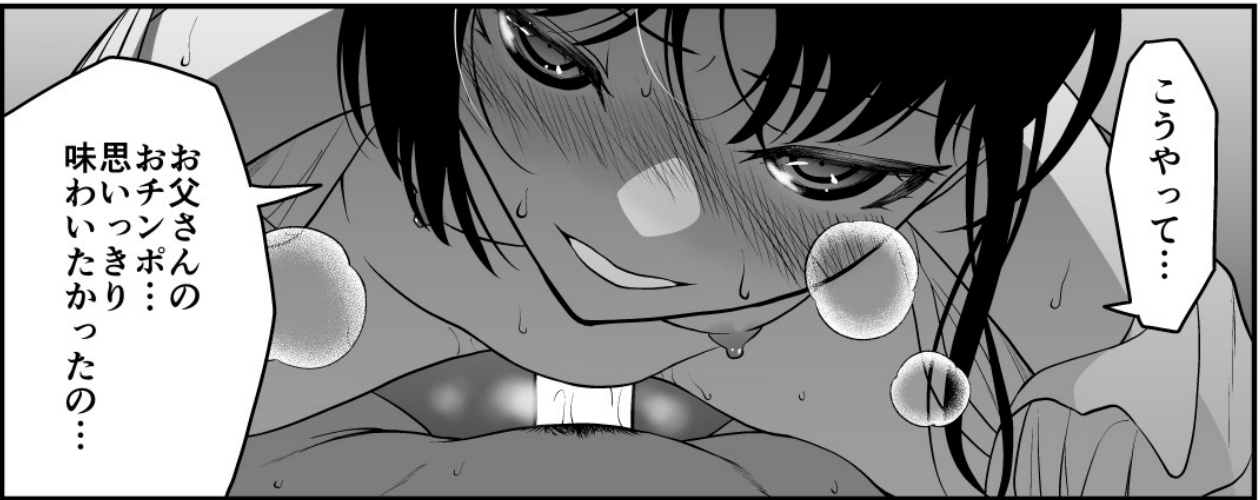
フフ…

本当は自分から
腰を振りたくて
たまらなかつた



お父さんに
貫かれる度に…

自分に
言い聞かせてた



こらやうて…

お父さんの
おチンポ…
思いっきり
味わいたかつたの…



あっ

はっ

A-ッ

アッ

んあっ



バリッ…



んはっ



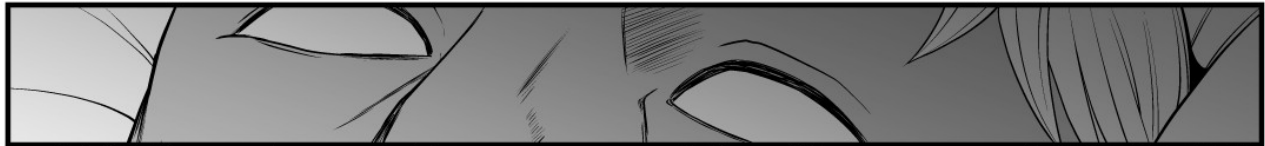
どう…?
気持ちいい?

お、お父さんは…



イイ…

す…



こんな事は
もう止めよう

雪



駄目よ

ここで止めたら
お父さんを一生
許さないから



僕が言えた義理
ではないけど
黙って

……
お父さんでないと
駄目なの

本当は……
お母さんが
いれば良かったけど……

でも……

私とお父さんの
間に出来た
子供なら……

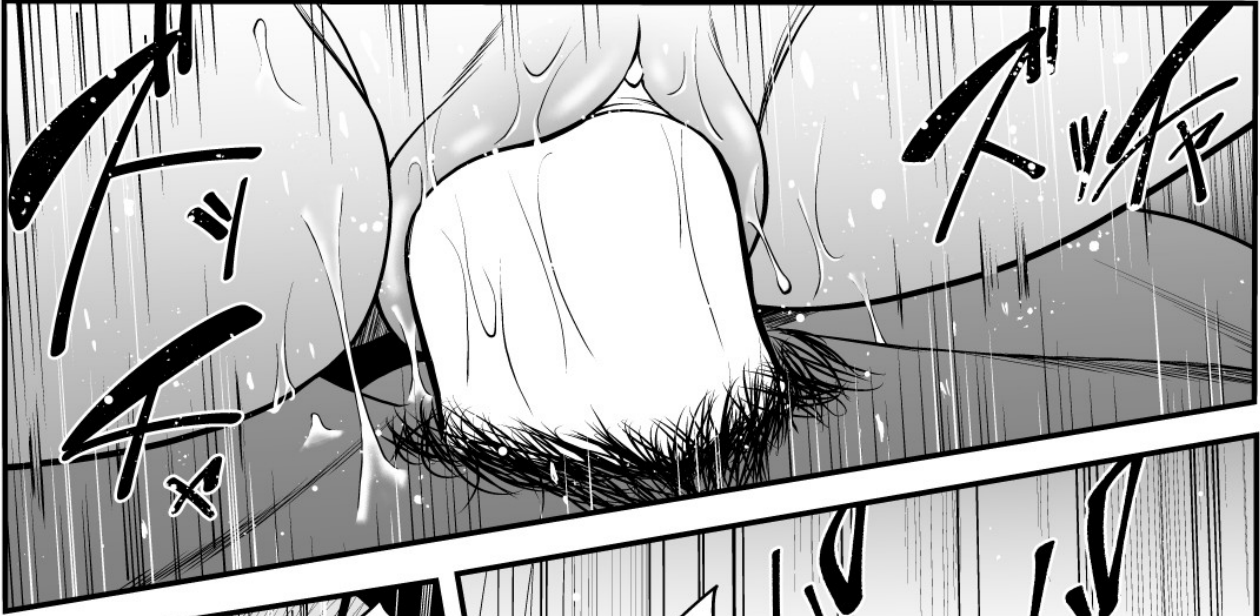
それはもう……
殆ど葵と
同一人物でしょう？

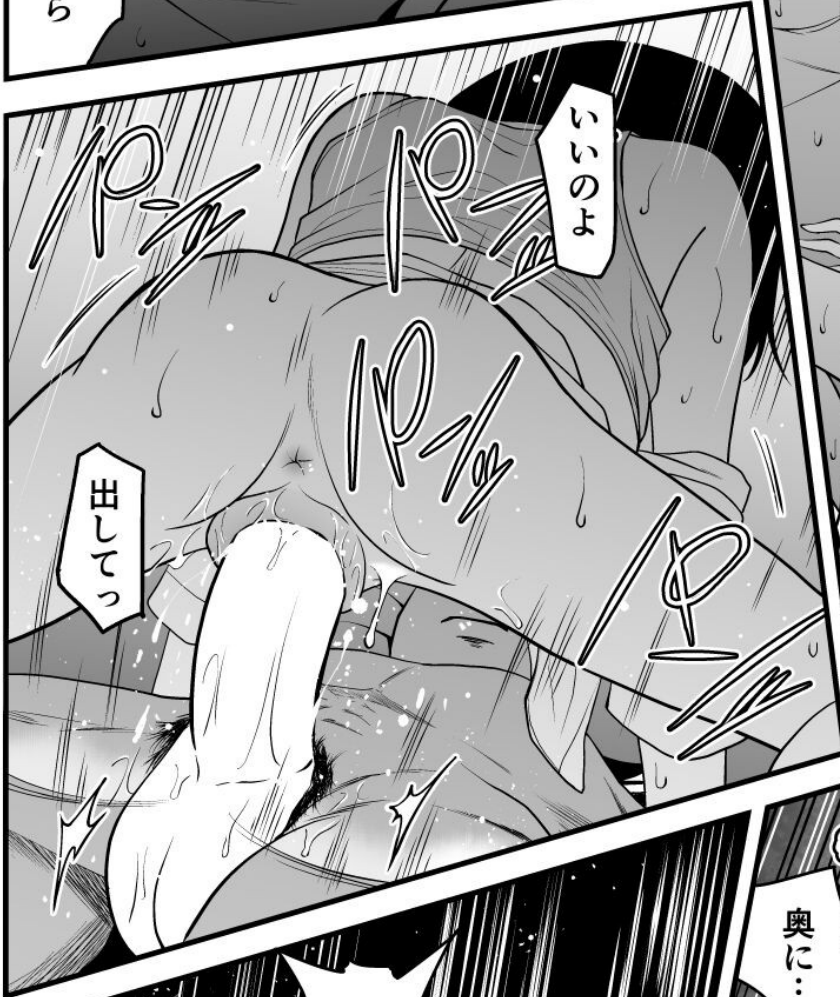
だから毎日
絶対に
臍内^{なか}に出して

私を孕ませて

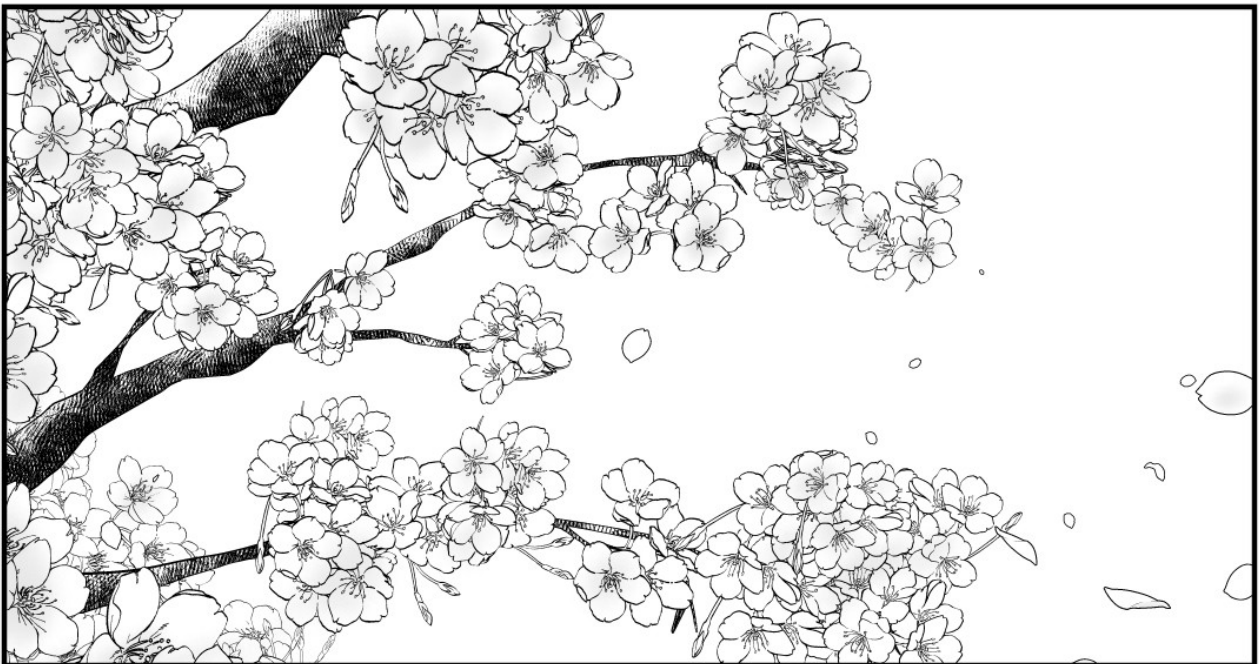
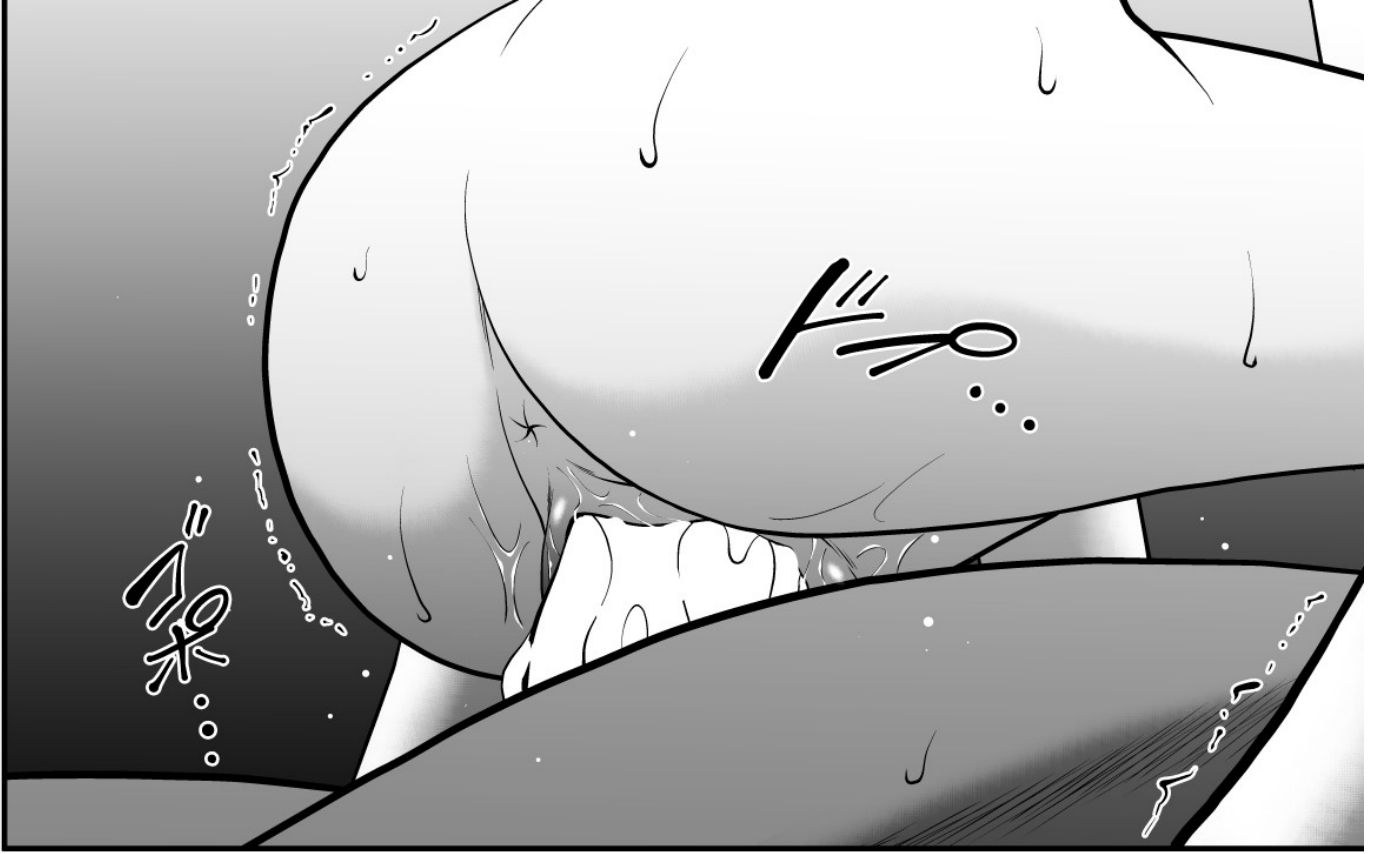
私を……

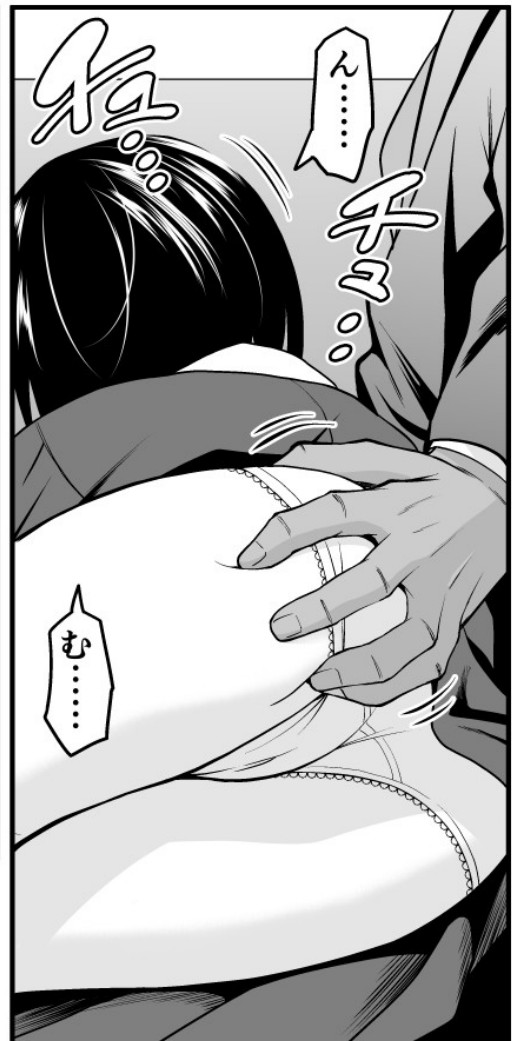
私をもう一度
葵に会わせて





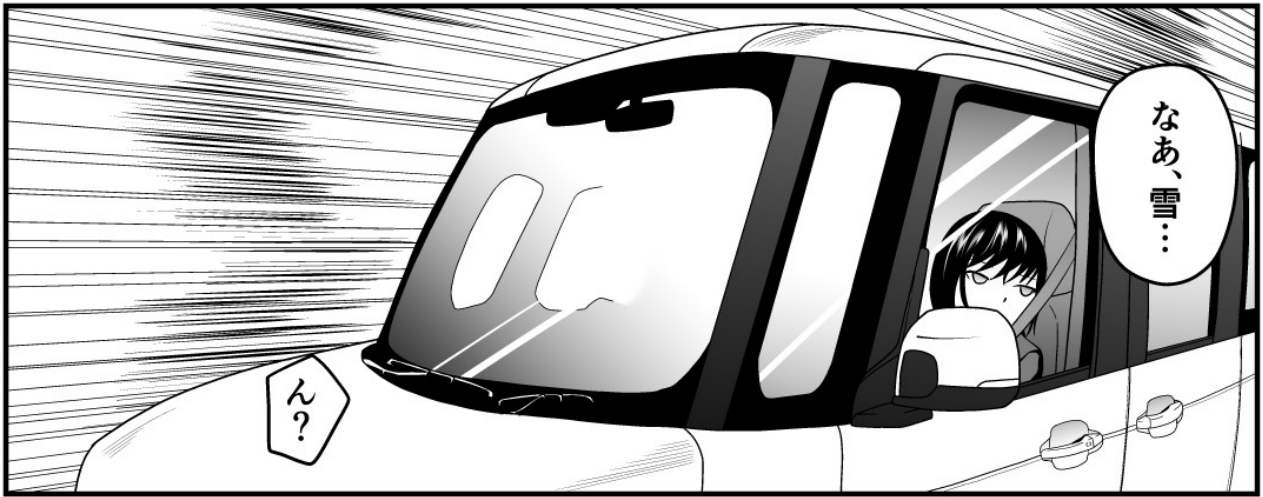














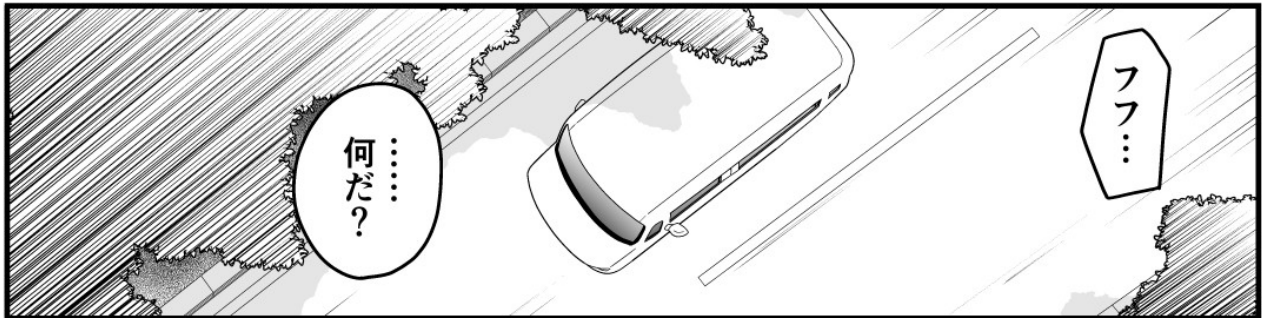
あの日
お父さんに散々
説得されたからね

自分みたい
なるな…って



安心して

もうこの子を
葵の代わりとは
思っていないから



…
…
…
何だ？

フフ…



勘弁してくれ…

あの時
お父さんの顔
涙と鼻水で
グシャグシャだったから…

ごめんさいよ
思い出し笑いよ

